

諏訪湖チャリティー・ウォーク

ANNUAL SUWAKO CHARITY WALK



平成 20 年 2 月御神渡り 桜をバックにゴミひろい
石影公園 チャリティー・ウォークの参加者

平成 27 年 (2015 年) 3 月

J A L T (全国語学教育学会) 信州支部

諏訪湖クラブ

目 次

- | | | |
|-----|--------------------------|--------------|
| 1. | 諏訪湖チャリティー・ウォークを支えてくれた人たち | … p 4 - p 5 |
| 2. | 諏訪湖チャリティー・ウォークを始めた経緯 | … p 6 - p 10 |
| 3. | 諏訪湖チャリティー・ウォークの思い出 | … p 11- p 26 |
| 4. | 諏訪湖チャリティー・ウォーク 25年のあゆみ | … p 27- p 33 |
| 5. | 第1回～第25回までの実施状況 | … p 34- p 70 |
| 6. | 諏訪湖に関するクイズ | … p 71- p 79 |
| 7. | 諏訪湖チャリティー・ウォークのコースの紹介 | … p 80- p 82 |
| 8. | 20周年記念植 | … p 83 |
| 9. | 諏訪湖周辺の話 | … p 84-p85 |
| 10. | 諏訪湖に関する出来事 | … p 86 |
| 11. | ブルー諏訪湖 | … p 87 |
| 12. | あとがき | … p 88 |



懐かしいスナップ写真です



最後となった開会式会場（2014年）



インドの先生 Anjali Sing さん（前列右から2人目）も一緒に（1997年）



開会式に貼られた諏訪湖のポスター（2007年）



まず、諏訪湖に近づいて見ましょう（2007年）



上川大橋 北アルプスの穂高連峰が遠望できます（2013年）



渋崎なぎさ付近です（2007年）



諏訪湖釜口水門で野外音楽会 (2005年)



五味孝司さんのアコーディオン伴奏で合唱会 (2005年)



岡谷港です、後方には帰りの船がやって来ました (2010年)



諏訪湖の船に乗れてよかったね (2010年)



花里教授、宮原教授と研究室のみなさん(2005年)



諏訪湖の水辺整備の象徴 石彫公園 (2013年)

諏訪湖チャリティー・ウォークを支えてくれた人たち

実際に自分の足で歩き、自分の目で確かめるから諏訪湖浄化を考えようと、諏訪湖チャリティー・ウォークは、平成2年（1990年）から始められました。諏訪湖の現状を見ることにより、環境問題に対する啓発、意識の向上を図ることが目的で、主催：JALT（全国語学教育学会・信州支部）共催：諏訪湖クラブ（元「諏訪環境まちづくり懇談会」）により開催されました。チャリティーという名称は、当初、参加者は歩いた距離に比例して環境基金の寄付を行ったことによりますが、その後は自由意思による寄付のみで開催してきています。

ウォーキングの内容は、湖周を半周しての観察、船上から（帰途は遊覧船で横断）の観察、諏訪湖に係るフォーラム（昼食後）の開催の三本立てで行って来ました。

このウォークの特徴は、住民、行政一体（一般市民、信州大学教員・学生・院生、諏訪建設事務所職員、JALT会員）で全てをボランティアとして行われてきたことにあります。また、外国人との国際交流も趣旨の一つであり、JALT外国人会員や他の外国人の参加も呼びかけたことから、開会式等、プログラム展開はできるだけ日英のバイリンガルで行われました。

初期の目的である環境意識も向上し、多くの団体、個人によるウォーキング活動の日常化にも繋がったことから、当会の活動は平成26年（2014年）第25回をもって閉じることにしました。

主催： 全国語学教育学会（JALT）信州支部（1999年に諏訪支部より信州支部に名称変更）

共催： 諏訪環境まちづくり懇談会（2007年発展的解散：諏訪湖クラブ設立）
諏訪湖クラブ（第19回より）

趣旨： 国際交流と環境問題への意識の高揚をめざす（諏訪湖周を歩いて観察）

協力： 長野県諏訪建設事務所
信州大学山岳科学総合研究所（元臨湖実験所）

後援： 市民新聞グループ（7紙）（第1回より） 諏訪6市町村（第1回）
信濃毎日新聞社（第10回より）
ANPIE（長野県国際交流推進協会）
諏訪市教育委員会（第15回より）
岡谷市教育委員会（第17回より）
下諏訪町教育委員会（同上）
諏訪東京理科大学（第17回より）
岡谷市下浜区（第19回より）

チャリティー・ウォークを支えてくれた人たちの紹介

【共催】

○「諏訪環境まちづくり懇談会」

第1回（平成2年）～第14回（平成15年）

歴代会長 藤原 正男、飯田 実、有賀 裕、沖野 外輝夫各氏

1989年5月に諏訪市で開かれた「日独環境まちづくりセミナー」がきっかけで発足した。諏訪湖の浄化を中心に取り組み、街づくり地図の作成、自然環境や都市環境の改善に関する取り組みを行って来ました。沖野外輝夫氏が平成7年（1997年）に自治大臣賞、環境庁の水環境賞を受賞しました。

「諏訪湖クラブ」

第18回（平成19年）～

会長 沖野外輝夫（信州大学名誉教授）を中心に、「信州ネットSUWA」に参加するなど、諏訪湖周辺の環境・自然エネルギーに関わる問題などに取り組んでいます。

設立趣旨

諏訪圏域には、地域の環境保全を指向する沢山の団体が、それぞれの特性を活かした活動を行い、様々な試みがなされています。その結果、諏訪湖の浄化も未だ十分とは言えませんが、以前と比べれば目に見える形で進行しています。

これら多くの団体の活動を大きな力として結集し、それぞれの活動内容を相互に情報交換する場を創出し、諏訪湖を核とする諏訪圏域の環境保全をさらにより良い形で推進・維持していくこと—環境を保全した持続的な経済的発展が可能な地域づくり—をめざす、シンク・アンド・ドゥを実践する団体として『諏訪湖クラブ』を設立しました。

【協力】

○沖野 外輝夫（理学博士）

信州大学 名誉教授（元理学部長） 応用生態工学会長野 会長、環境科学会 名誉会員、日本陸水学会 名誉会員、長野県内水面漁場管理委員会前会長

専門は、生態学、陸水学、環境科学

平成15年～諏訪環境まちづくり懇談会第3・5代会長、平成19年～諏訪湖クラブ会長、平成23年～信州ネットSUWA 運営委員長、平成23年～諏訪市環境審議会 会長

○信州大学山岳科学総合研究所（旧信州大学理学部附属諏訪臨湖実験所）

沖野外輝夫、花里孝幸、宮原裕一先生及び学部学生、院生、研究生が参加者に普段取り組んでいるテーマの紹介や専門的な質問に答えるなどして学習の場を提供しています。

花里孝幸教授

湖沼の微小動物の個体群動態、水生生物群集の構造と機能、生物間相互作用、生物多様性、有害化学物質の生態系影響評価、バイオマニピュレーション、環境ストレス（温暖化などの生態系影響）などをテーマに取り組んでいます。

宮原裕一教授

大気・水圏における自然現象や人間活動の影響を研究対象としており、化学物質の挙動と生物作用に関して、野外調査と室内実験を行い、その解明を試みています。最近はいけちウガイによる淡水真珠養殖を目的とした基礎研究にも取り組んでいます。

○長野県諏訪建設事務所

諏訪湖の管理者としての立場から、釜口水門の管理を通して、諏訪湖の治水や、周辺の環境に配慮した諏訪湖のなぎさ整備など行っています。チャリティー・ウォークに対しては、会場などの相談を受けたり、事前の調整など行いました。また、歴代建設事務所長が参加し、あいさつや、諏訪湖の浄化の取り組みなどの紹介を行ってきました。



Earth Day Activities

4/17/90 (Y)

TOKYO AREA

OKU MUSASHI ENVIRONMENT WATCHING/BUS HIKE: Leaves Iruma Station at 9 a.m. Tsurumaki (0429) 36-2354, Yamashita (0429) 64-6255, Kawano (0429) 54-6457, all in Saitama-ken.

EARTH DAY—YUMENOSHIMA FESTIVAL: Children's playground and performances, international Ecological Village, garbage tours, photo exhibits and more at Yumenoshima Park. (03) 522-0616.

THE PACIFIC DOES NOT NEED A WALL FORUM AND PEACE MARCH: Sponsored by Demilitarization of the Seas! International Action in Yokosuka. Forum to begin at 1:30 p.m. and march at 4:30 p.m. Yokohama (044) 63-5101, Tokyo (03) 498-6195.

NARADA DAM PROJECT SYMPOSIUM: Scheduled for April 21 and sponsored by Friends of the Earth Japan. Call Earth Day English Hotline (afternoons) (03) 770-5387.

ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT SYMPOSIUM: April 21, 11 a.m.-7 p.m. at Aoyama Gakuin, Building 9, 4th floor, room 904. Tokyo (03) 409-8111 or Entropy Society at (03) 292-8831. → 池田の(東京湾)水道橋

AROUND JAPAN

SHIZUOKA EARTH DAY FESTIVAL: April 21-22 at Miho, Shizuoka-ken. Workshops, coastal clean-up, sunset meditation, bazaar, puppets, displays and more. Contact Jane Ueda at (0543) 52-5190.

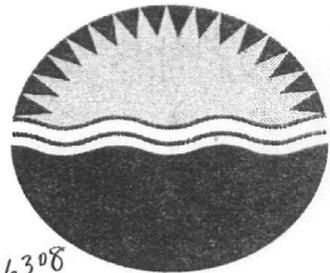
EARTH DAY CONCERT: at Komatsu Community Center Hall in Komatsu, Ishikawa-ken. (0761) 44-2508.

KAMO RIVER CLEAN-UP: clean up 1-4 p.m. (meet at Sanjo) followed by picnic and concert 4:30-7:30 p.m. Kyoto (075) 252-0737.

CLEAN-UP OF WAJIRO TIDAL LANDS: Fukuoka (092) 606-2256.

(All activities scheduled for April 22 unless otherwise indicated. Information is subject to change. Contact respective organizations for details. For additional Earth Day information call Nagoya (052) 703-1501, Gifu (0577) 34-5673, or Tokyo YMCA Asia Youth Center (03) 233-0611.)

EARTH DAY 20



6308

April 22, 1990

EARTH FACTS

Wildlife

Many species are endangered due to pollution:



- Three species a day are becoming extinct
- 20% of Earth's species could be lost forever by the year 2000
- African elephants will be gone by 2010 if hunting persists
- Eight million fewer ducks flew south in 1988 in the U.S.
- 37% of double-crested cormorant nests had plastic debris woven into them on remote islands off the coast of Maine

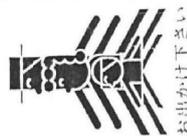
Source: The Earth-Works Group

4/02/90

KRTN Infographic

諏訪湖チャリティーウォークに

参加しましょう



お出かけ下さい

平成2年5月14日
諏訪環境まちづくり懇談会
会長 藤原正男

去る5月6日の「諏訪湖周ウォッチング」は、晴天にめぐまれ盛会のうちに多くの成果をあげて無事終了いたしました。

引き続きJALIT（全国語学教育学会）主催の「諏訪湖チャリティーウォーク」に、ご参加下さい。（詳細は同封の新聞記事を参照）

当日集める予定の募金は、JALITより諏訪環境まちづくり懇談会に寄付して下さいとの事です。

まち懇会員 多数の参加を期待します。

記

- 1, 日 時 5月27日(日) 雨天決行
集 合 午前8時
スタート 午前8時30分
- 2, 集合場所 ヨットハーバーグラウンド 諏訪市高島3丁目
- 3, 持ち物 昼食・ごみを入れる袋
- 4, 募金方法 1キロメートル当たり20円
- 5, 問い合わせ 岡谷市長地 有賀メア리さん
TEL 27-3894

Your each and every effort will help our planet Earth

Event: Suwako Charity Walk

Date: Sunday, May 27th (rain or shine)

Starting time: 8:00am. (A later start is possible; however, all checkpoints will close at 3:00pm.)

Starting point: Suwa Yacht Harbor

We, the Suwa Chapter of the Japan Association of Language Teachers (JALT), wish to bring the people to a closer relationship with Lake Suwa and, at the same time, to raise funds for the Town and Environment Discussion Group, a citizens' group researching environmental issues in this area. Surrounded by the Japan Alps and just a two-hour and forty-minute train ride from Shinjuku, Lake Suwa is at first glance very beautiful, yet the quality of the water still leaves much to be desired. After walking on a course around the lake, participants will collect specified amount(s) to be donated by sponsors (friends, family, co-workers, or themselves, etc.) for each kilometer walked. The total distance is approximately 16 km., or a five-hour walk at a leisurely pace.

Solar-powered lights, a newly opened museum of Naive art, hot springs baths, a second world-class geyser, work for shore protection underway and other places of interest can be seen along the way.

For more information and sponsorship forms, please contact Mary Aruga, tel. (0266) 27-3894; fax. (0266) 28-0911, address: 4656 Osachi, Okaya-shi, Nagano-ken 394

まち懇の提言について

まち懇は前回懇談会の決議に基づき、企画研究部会が提言の原案を作成し、去る1月14日に役員会に諮って必要な修正を加え、以下のような提言を2月中旬に各関係機関に提出することになりました。なお内容の一部は、提出先によって多少変更を加えています。

平成5年2月

諏訪環境まちづくり懇談会
会長 藤原正男

諏訪環境まちづくり懇談会の提言について

～におかれましては、日頃から諏訪地方の発展と市民の福祉のために努力され心から感謝申し上げます。
さて、諏訪環境まちづくり懇談会は、平成元年度の提言に引き続き、ここに諏訪地方の環境まちづくりに関する本会の意見を集約し、各関係行政機関と6市町村議会および同胞市民の皆さんに提言することになりました。
～におかれましては、何卒私たちの真剣な意図と考え方を理解され、それぞれ提言に対し、迅速適切な措置を講じられましますよう、心からお願ひ申し上げる次第です。なお、一部前回の提言と重複するところもございませうが、ご了承下さい。

- 1, 長野オリンピックの年々では泳げる諏訪湖に
諏訪湖は地元住民にとってはもとよりのこと、外部から見ても諏訪地方全体のシンボルであり、地域景観の中心的な要素です。度重なる住民アンケートの結果を見ても、諏訪湖の水質浄化をもとめる声は群を抜いて多いことがわかります。諏訪湖浄化とその周辺の修景なしには、諏訪地方の景観や生活の質の上は望めないといっても過言ではありません。
こうした地元住民の要望に応え、県においても、最近、水質改善調査委員会を設けたり、新たな水質保全計画を諮問したり、県関係機関による意見交換会を開くなど、前向きな取り組みが示され、更に諏訪建設事務所によって下諏訪町に人工なぎさ試験地の作業が開始されていることは、私たち住民に大きな希望と期待を抱かせるものがあります。
県が諏訪湖流域下水道事業に着手した昭和46年から数えても、はや22年以上の歳月が過ぎました。しかし、供用開始当時は著しい効果があったものの残念ながらその後水質改善においては、さほどはかばかしい進捗がありません。上のような動きが出てきたのを機に、計画全体の抜本的見直しを行い、水質改

善計画を加速化し、冬季長野オリンピックが開催される1998年までに、COD基準値の3PPMに近付けるとともに、今後さらには湖岸や河岸の再自然化などを推進することを、国、県および諏訪広域圏6市町村の重点目標とし、年次計画により徹底した施策を実施するよう提言します。特に、
1) 広域下水道の普及率（現在約68%）を5年以内に85%以上に高めると共に、各市町村において下水道への接続率100%達成を目指すこと。その際、一定期間内に接続しない家庭には一種の環境税を課する、といった対策も考えられよう。なお、下水道のない地域、特に計画区域外の場合は、最近開発が著しいといわれる合併浄化槽の設置を一層促進すること。
2) 磷、窒素を除去するための高度処理システムを1日も早く完成すること。
3) 計画区域外とされている新住宅地域を計画区域内外へ早期に取り込むこと。
4) 雨水の浄化や酸性雨対策にも出来るだけ早く取り組むこと。

5) 抜本的なゴミの対策と、ゴミを出さない啓発運動を積極的に推進すること。
6) 湖周地域の市町議会においては、すでに数年前から諏訪湖の禁猟区化が決議されているにもかかわらず、いまだに実現していない。冬季の白鳥が諏訪湖の貴重な風物詩となり呼び物となっている一方で、沖合では猟銃を撃っている。一日も早く禁猟を実現すること。

諏訪湖を泳げるまでに浄化することにより、どのようなメリットが期待できるのでしょうか。まず諏訪地方住民の生活環境・生活の質は格段に向上し、加えて諏訪（および長野県）のイメージが飛躍的にアップすることは確実です。それをもたらす経済効果はもとよりのこと、住民や外来客の心を与える安らぎと楽しみは計り知れないものがあります。またもし浄化が実現すれば日本で前例のない快挙となり、環境問題が人類的な課題となりつつある折りから、広く世間（世界）の注目を浴びるでしょう。いろいろな困難を伴うことは十分予想されますが、広域圏があげて取り組めば、必ずそれだけの効果が上がり、長野県人、諏訪人の高い見識を天下に示すことにもなります。さらにもまた、なかなか足並みの揃わないといわれる諏訪地方が、この共通課題と取り組むことにより、たとえ市町村合併が近未来に実現しなくても、必要があればこの様な高度に先進的・人類的な目標に向けて、一丸となって協力出来ることを証明することにもなるでしょう。

2, 湖岸と河岸の再自然化

最近、湖岸と河岸の再自然化への認識が高まり、特に県の関係機関によって自然工法が推進されることは大変喜ばしいことです。再自然化は景観、安全性、水質浄化、生態系の維持などの点から是非必要な施策だと考えられるからです。治水と再自然化を同時的に達成する上で、諏訪地方の河川・用水路・湖に最適な護岸工法を一日も早く開発し、既設のコンクリート護岸の逐次的修復を更に積極的に推進するよう提案します。特に、河川、用水路のコンクリート化・直線化は流水の速度と温度に悪影響を及ぼし、圏域での総合的水管理上多くの問題を来していると考えられます。

〈諏訪湖畔の主な見所〉

Places of Interest around Lake Suwa

⑦ 下諏訪町立博物館
諏訪湖の漁具やスケートの資料などの諏訪の歴史に関する多くの資料がある。
(高校生以上 200円、中学生以下 100円)
Town of Shimosuwa Museum.
Artifacts relating to the history of Shimosuwa; fishing gear and skating equipment among others (high school and over, ¥200; junior high and under, ¥100)

⑧ ハーモ美術館
素材画を集めた美術館。開館したばかり。
(大人 600円、小・中学生 400円)
Harmo Art Museum.
A newly-opened museum of naive art

⑨ 岡谷温泉スタンド
料金 200円 100円
300円 150円
(現金でなくメカで購入)
Okaya Hot Springs Station.
Here you can "fill'er up" with hot spring water. (metal tokens, not cash, are used to pay)
Rates: ¥100 200 liters ¥150 300 liters

⑩ 釜口水門
Kamaguchi Watergate
水門の仕組みと諏訪湖全体についての説明がある。
Water Museum
Here can be found an explanation of the watergate system and Lake Suwa as a whole.

⑪ 小口太郎記念碑
琵琶湖開航の歌の作者小口太郎氏を記念して銅像と歌詞の碑 (江崎玲奈氏筆) がある。
Memorial Statue of Taro Oguchi.
Commemorates this composer who wrote the song "Biwako Shuko". The lyrics can be read from a tablet written by Leona Ezaki.

⑫ 精水護岸工事
この辺りて護岸工事が行なわれている。
Work for shore protection underway here.

⑬ 小坂観音 Osaka Kannon
⑭ 諏訪湖流域下水道豊田終末処理場
Lake Suwa Basin Toyoda Final Sewage Treatment Plant.
⑮ カリン並木
Quince tree-lined street.

⑯ 下諏訪駅
Shimosuwa Station
下諏訪駅
Shimosuwa Station
下諏訪駅
Shimosuwa Station
下諏訪駅
Shimosuwa Station

⑰ 水上バス乗り場
Water Bus Landing
水上バス (岡谷-諏訪)
Water Bus Schedule
7:50, 8:30, 10:00
12:00, 14:00, 15:00
16:00, 17:00, 18:00
13min from Okaya to Suwa
乗船時間 13分
大人235円、小人125円
Adults Children

⑱ チェックポイント
Check Point
天竜公園
Tenryu Park
(岡谷駅から徒歩15分)
Watch out for traffic.
車に注意

⑲ チェックポイント
Check Point
みずべ公園
Mizube Park
(下諏訪駅から徒歩20分)
遊覧船のりば
Sight seeing Boat Landing
スタート・ゴール
Start・Goal
ヨット・ハーバー
Yacht Harbor
(上諏訪駅から徒歩20分)
20 min. walk from Okaya Station
みやがわ橋
Miyagawa Br.

⑳ 片倉館
Has an immense pebble-strewn bath.
(大人 500円、小人 300円)
Katakurakan.
World's 2nd largest pebble bath.
(¥500, adults, ¥300, children)

㉑ 諏訪湖開穴センター
世界第2位の開穴泉(高さ50m)を利用しているセンター。
'90年4月15日オープン。温泉プール、展望ラウンジ等あり。
(大人 500円、小人 300円)
Lake Suwa Geysier Center.
Employs a second world-class geyser which spouts 50 meters high. Opened on April 15, 1990. Has a hot spring pool and lookout lounge.

㉒ 北澤美術館
ガラス工芸品や、現代日本画家の作品が展示されている。
(大人 600円、小・中学生 300円)
Kitazawa Museum of Art.
Works of glass, modern Japanese paintings (¥600, adults; ¥300, children)

㉓ 諏訪市温泉植物園
上諏訪の温泉と蒸気を利用して熱帯性植物(洋ラン、バナナなど)とチヨウワなどを5つの温室で育てられている。省エネルギー植物園。(大人 410円、小人 210円)
Suwa City Hot Springs Botanical Gardens.
Consists of five hot houses making use of hot springs and steam to raise tropical plants (such as orchids, bananas) and butterflies. Energy-conserving.
(¥410, adults; ¥210, children)

㉔ 太陽電池利用の街灯
Solar-powered street lamps here.

このパンフレットは再生紙を使用しています。
This pamphlet is made of recycled paper.

諏訪湖チャリティー・ウォークの思い出

継続は力&宝なり	諏訪市	金子 田美	…p12
ウォーキング事始め-諏訪湖チャリティー・ウォーク	諏訪市	沖野 外輝夫	…p13
第1回諏訪湖チャリティー・ウォークから	伊那市	田畑 静夫	…p14
新たな意識へ	岡谷市	有賀 メアリー	…p15
みなさんありがとう	岡谷市	小林 茂	…p16
諏訪湖チャリティー・ウォークに参加して	松本市	フレッド・カルース	…p17
泳げる諏訪湖をめざして	長野市	平澤 幸雄	…p18
諏訪湖チャリティー・ウォークの思い出	伊那市	北原 正義	…p21
諏訪湖チャリティー・ウォークの思い出	諏訪市	八幡 義雄	…p23
チャリティー・ウォークと諏訪湖の思い出	諏訪市	河西 明彦	…p24
諏訪湖チャリティー・ウォークに参加して	諏訪市	田代 幸雄	…p25
チャリティー・ウォークの思い出	越谷市	榊沼 綾乃	…p26



諏訪湖湖畔の散策路（岡谷市）

「継続は力&宝なり」

J A L T 信州 諏訪湖チャリティー・ウォーク委員
諏訪湖クラブ副会長
諏訪市 金子 田美

諏訪湖チャリティー・ウォークの開催計画をたてた時、J A L T 本部は反対しました。この行事は J A L T 本来の趣旨に反する、語学教育団体がなぜ諏訪湖浄化や環境問題に関わる必要があるのか、そんな行事に多額の費用支出を認めることはできないと。最終的には納得してもらえたわけですが、説得には結構大変だった印象があります。

今でこそ英語の教科書の内容に環境問題を取り上げることは必須となっています。でも 25 年前は皆無でした。そんな中、J A L T 信州（当時は J A L T 諏訪）は子供たちへの環境教育の大切さにいち早く着目。それが諏訪湖チャリティー・ウォークを 25 回継続するまでの原動力だったのだと思います。実際、J A L T 会員や皆様のご理解とご協力で、家族ぐるみの参加が増え、子供たちの姿が年々多く見られるようになり私たちが喜ばせてくれました。

「官民産学」が一致協力してできた行事として諏訪湖チャリティー・ウォークはかなり画期的なものだと思います。市民新聞前社長故薩摩 正様やまち懇初代会長の故藤原 正男様たちが大賛成をしてくださったことに始まり、信州大学理学部附属諏訪臨湖実験所(現山岳科学総合研究所)所長の沖野 外輝夫先生(現信州大学名誉教授)が当初から講師をしてくださり、歴代の諏訪建設事務所長様たちも共働者として入っていただけにきました。小さな湧き水がいつか大きな裾野に広がっていくように共働者の繋がりが広がっていきました。25 年の流れの中でどれほどの方々が関わり、協力してきてくださったことでしょうか。何千人もの人が集まるような派手な行事ではありませんが、毎回、人々の善意で成り立ってきた手づくりの行事だったと思います。恒例としてくださっていた参加者を始め、数え切れない方々が物心両面でボランティアで協力してきてくださったお陰です。主催者の一人として「感謝」の一言につきます。

期せずして四半世紀の歴史をつづった諏訪湖チャリティー・ウォーク、あらためて「継続は力なり」を実感します。そして多くの人々との繋がり、それは今の私にとって宝となっています。まさに「継続は力のみならず宝なり」です。

ウォーキング事始め—諏訪湖チャリティー・ウォーク

諏訪市 沖野 外輝夫

最近の諏訪湖周はずいぶんと歩きやすくなりました。事実、歩いている人を多く見かける風景は今の諏訪湖にとっては当たり前の景色となっています。これは諏訪湖チャリティー・ウォーク25年のソフト面での成果と言って良いのではないのでしょうか。

私が昭和48年に信州大学理学部附属諏訪臨湖実験所に赴任した当時は湖周を歩こうと考える人はほとんど居ませんでした。と言うよりも歩ける状態には無かったと言っても過言では無かったでしょう。何しろ当時の諏訪湖は日本一汚染している湖として有名でしたから、地元ですら漁業を生業としている人以外はわざわざ諏訪湖に足を運ぶことはありませんでした。観光船は運航していましたが、岸から眺めている人は抹茶の中を緑の波を蹴立てて進む姿にびっくりしていました。

それでも諏訪湖浄化対策が行政の手で徐々に進行し、環境に対する住民の関心もようやく高まり始めたのが昭和の終わりから年号の変わった平成の時代にかけてです。当時環境庁では「親水」という用語の浸透に環境改善への手がかりをつけようと取り組んでいました。まずは周囲にある環境を直接観察し、全国的に「環境地図作り」が進められたのもこの頃でした。地図を作るには伊能忠敬ではありませんが自ら歩いて足下を観察し、周辺の有り様を観察することが必要です。ウォーキングよりもまずはウォッチングです。諏訪湖浄化も湖周を歩いて初めて諏訪湖の実情を知り、何が必要かを考えることができます。その結果をもとにして住民が希望する工事を行政に提言し、実現するよう要望することが環境改善には必要です。

諏訪湖浄化を目指して活動をしていた「諏訪環境まちづくり懇談会」ではその手始めとして「諏訪湖周ウォッチング」を企画しました。平成2年5月6日(日)の開催で、集合時間は午前10時、集合場所は諏訪湖畔石彫公園 D51 機関車前でした。予定コースは諏訪湖畔公園→下諏訪湖畔ジョギング道路→赤砂→徒歩の人はここから遊覧船で上諏訪へ。自転車の方はさらに諏訪湖を一周、12時頃に諏訪湖畔野外劇場に集合し、昼食と話し合い、13時半解散、というスケジュールでした。ウォッチングの目標は参加者それぞれが「砂浜をどこに造るか考えよう、湖畔の良い景観、良くない景観を発見しよう、そんな景観をカメラに収めよう」を実践することでした。当時は下諏訪高木地区に唯一のジョギング・ロードがあるだけで、参加者は自動車道路を歩いたり、湖畔から離れて迂回したり、危険と隣り合わせのウォーキング事始めでした。もちろん今のように各所にトイレは無く、湖畔には日よけになる木立も少なく、炎天下の難行だったことを思い出します。

このことがきっかけとなり、四半世紀も続く諏訪湖チャリティー・ウォークにつながったこと、今ではトイレも日陰もある諏訪湖周道路が多くの人に快適に利用されていることを思うと感無量です。最初のウォッチングの実行委員長を務められた有賀 裕氏も草場の陰でさぞや驚いているのではないのでしょうか。また、実際に工事を担当された行政関係の方々にとってはやっかいな活動でもあったのではないのでしょうか。それにもかかわらずできあがった諏訪湖の湖畔は住民と行政の合作として日本一と誇らしく思っています。

第1回諏訪湖チャリティー・ウォークから

1990～1991 J A L T 諏訪支部長

伊那市 田畑 静夫

1990年5月27日に、第1回の諏訪湖チャリティー・ウォークが行われました。既に25年が経過しています。節目を迎えた今年、このイベントの趣旨が完了して一つの歴史の幕が閉じるのかと思うと感慨深いものがあります。

その年初め全国語学教育学会 J A L T 諏訪支部は、役員さんと相談する中で諏訪湖の環境保全について語学教師の立場から何かできることはないかと話題になりました。諏訪湖をきれいになりたいという願いの実現に向けて一歩踏み出す「チャリティー・ウォーク（一歩）」を立ち上げようという理想を持ちました。当時、世界の最大関心事は地球環境をいかに守るかということでした。

さて進めるにあたって、理想は高くとも具体にかけられる語学教師にとって、このように大きなイベントが実際できるかどうか半信半疑でした。

「事故があったときの、救急体制はどうすればよいか。」「看板の用意、チェックポイントはどうすればよいか。」「道路許可はとらなきゃいけないのか。」「募金もどの場所で、どのように集約したらよいか。」実はこれらのことがどのような結論になったのか支部長であった私は現在十分把握していませんが、全員の力が結集した結果滞りなく進められたという印象はありました。



当時の市民新聞の宣伝記事から

諏訪の温泉旅館の老舗「ぬのはん」の藤原 正男さんらが中心となって立ち上げた「諏訪まちづくり懇談会」から全面的なバックアップをいただけることになり、集まった寄付金は全てそこにお届けしようという方針になりました。当時、この地域は諏訪湖を重要な環境や観光資源ととらえているものの、関係全市町村を通じた包括的な取り組みや組織化は十分出来ていないと考えました。関係する全ての市町村の支援を取り付けなければこのイベントは成功しないと考え、全市町村の首長さんまたは関係される方々にアポをとって J A L T のスタッフが面談し、支援をいただいでいきました。チャリティー・ウォークの開会式に、全市町村からご来賓としてご参加をいただいたことに感激しました。また市民新聞グループの薩摩林正さんから絶大なご支援をいただき、当日にこぎつけることができました。信州大学の沖野先生に最後のゴールのところで、諏訪湖の保全についての講話をお伺いすることができました。

参加者数が多かったこと、たくさんのゴミを集められたこと、諏訪湖の環境に対する意識を高められたこと等、第1回のイベントは大成功になりました。理想に燃え、自分たちの願いが届くのを祈って邁進できたのも、このイベントを陰に日向に支えてくださった数多くの皆様、ご参加いただいた多くの皆様方があったればこそと今もって感謝の気持ちでいっぱいです。

新たな意識へ

岡谷市 有賀 メアリー

昭和 53 年、初めて諏訪地方を訪ねた時、空気やお水が東京よりずっとおいしいと思いました。諏訪湖で泳ぐのも楽しみにしていました。しかし、いったん湖を近くから見たら、あんなコンクリートの岸、濁った水では泳げないなと思いました。昭和 54 年に結婚し、59 年、西ドイツから諏訪地方に帰ってきてから毎日長男を連れて近所を歩き回りました。側溝を流れるいろんな色、匂いをした液体を見て大変悲しい思いをしました。さらに、その液体は全て諏訪湖へと流れているのでした。

せっかくこんなにきれいな山に囲まれているのに、こんな人工的な湖なんて！どうか、このコンクリートや汚い水が消えるよう強く願っていましたが、それは無理であろうとも思っていました。しかし、少なくとも、意識を高めるためには何か出来るのではないかという小さな希望がありました。

ある日、東京で行われた「グリーンウォーク」について新聞で読みました。参加者は環境に対する意識を高めるために山手線を一周歩きます。緑化のために歩いた一キロ当たりある金額を募ることになっていました。「これだ！」と思い「諏訪湖はこんなイベントにはちょうどいい大きさだな！」とピンと来ました。

ちょうどそのころ信州大学の飯田実先生にめぐり合いました。彼に勧められて諏訪まちづくり懇談会（「まち懇」）に喜んで入会しました。環境問題、諏訪湖周辺のことを学び、改善を考えることに対して興味を持つ方々と出会うことが出来、大変あり難いことでした。

ある日、飯田先生が「諏訪湖ウォーキング」という企画について話されました。まち懇のメンバーは諏訪湖を自転車で、あるいは歩いて回ります。先生にとって、湖をちゃんと観察するためにはゆっくり進んで行くことが大事でした。これを受けて、諏訪湖をみんなで歩くという私が考えていた企画を話し、まち懇と私が入っていた全国語学教育学会（JALT）諏訪支部とで一緒に出来ないかと思いました。

こうして諏訪湖チャリティー・ウォークが生まれました。当初は「環境改善」という考えがあまり聞きなれていなかったため、JALT 本部に説明するのが困難でした。しかも、ちゃんとした歩道がなく、湖の周りを歩くのが難しく、場所によっては多少危険でした。幸い、まち懇をはじめ、マスコミ、JALT 本部、当学会の役員など多くの方々の理解と努力のおかげで諏訪湖を一周歩いた第一回のウォークに大勢の方々に参加していただきました。それ以来、だんだんコンクリートの壁が消え、湖の周りに素敵なジョギングロードが出来、水の質が良くなりつつあります。年毎に湖について学びたい、関心のある方々、特に子供達が増えてきているようです。ようやく私たちは愛しい諏訪湖との関係はどうあるべきかを深く考えられる意識にたどり着けたのです。

みなさんありがとう

JALT 信州支部

岡谷市 小林 茂

今、チャリティー・ウォーク 25 年を振り返ると、スタート直前後のことが鮮やかによみがえる。当時の JALT 諏訪支部長の田畑 静夫(伊那市在住)、倉下 直(飯田市在住)役員等が我が塾(下諏訪)に泊まり、翌日の第一回開会に備えたことなど懐かしく思い出される。

当日は晴天、鳩が飛び、マーチングバンドが湖畔に響いた。ヨットハーバーのゴール地点では、まち懇の松井 宏次氏(当時亀源社長)が番をしていた。第 1 回(1990)は諏訪湖一周であったが、第 2 回からは半周とし、野外音楽堂で開会后、遊覧船にて釜口水門へ、そこから左右に分かれて出発点に歩いて戻った。それ故か、足腰の弱い人や特に、小さな子供たちの参加が増加した。第 6 回(1995)からは、逆となり、まず上諏訪より左右に分かれて歩き、釜口水門で落ち合い、昼食・フォーラム後ボートに乗って出発点に戻るパターンが定着した。

今は親水工事で見違えるようになったが、25 年前は湖周全体がほとんどコンクリートに覆われ、ゴミや汚物が散乱していた。但し、赤砂先岡谷側などは未整備であったためか緑が多く、鳥の声がいやに賑やかだった。その後の変遷はご存じのとおりであるが、初期の目標の一つであった“泳げる諏訪湖”は、昔と比較にはならないが、文明の進んだ今としてはこれ以上無理か。

細かく書くと報告が何万字にもなるが、私個人にとっては広く知己を得た上、自己啓発の場となった。小さな子供たちからお年寄りまで、そして信州大学の学生さんも加わるようになり、フォーラムの後には何らかの音楽があり、学術的雰囲気漂う、それでいて気の安まる楽しいイベントだった。

当初は予想しなかったが、屋外行事にもかかわらずこの様に長く、そして一度も中断することなく続いたのは、関係各位の理解と協力があったからに他ならない。既に他界された方が何名もいるが、詩人の尾崎 喜八が言う、諏訪湖上空の丸い青空より楽しげに見守ってくれているのではないかと思うと心強い。

現在、どの国語や英語の教科書を開いても環境問題を扱っていないものは皆無といってよいが、最初は当の JALT 本部から開催に異議が出されたことを考えると 4 半世紀を経た今、隔世の感がある。しかし、油断はならない。このチャリティー・ウォークの精神だけはぜひ次世代にも引き継いでゆきたいものである。

最後に、有賀 メアリー、金子 田美(両名とも JALT 諏訪支部役員一当時)、沖野 外輝夫氏(信州大学理学部長一当時)無くしてはあり得なかったと付け加えたい。また、信州大学山地下水環境教育研究センター、長野県諏訪建設事務所、諏訪湖クラブ、マスコミ(特に市民新聞グループ及び信濃毎日新聞社)関係各位には深甚なる謝意を表す。

参加して頂いた皆さん、応援して頂いた皆さん、協力して頂いた皆さん、長い間ありがとうございました。

Fred Carruth

It was my pleasure to participate in the Lake Suwa Charity Walk. I always enjoyed walking around the lake with friends, both old and new. It was so nice to see lots of people, including children, taking part in an event to raise awareness of the environmental health of this precious lake.

Now, the lake is so much cleaner than it was! I like to think that these walks around the lake contributed to that happy outcome.

My only regret is that my Japanese is not good enough to understand the lectures, so kindly prepared and delivered by expert researchers who studied the lake. However, I know that I am in a small minority, and am sure that most people learned a lot.

Thank you for 25 years of dedication!

松本市 フレッド・カルース

諏訪湖チャリティー・ウォークに参加できたことは私にとってとても喜ばしいことでした。いつも友達と、旧い人や新しい人と、一緒に湖の周りを歩くのが楽しかったです。この大事な諏訪湖の環境をよくすることを気づかせるイベントに子供たちを含む多くの人々が参加していることが分かり本当にすばらしいと思いました。

今湖は以前よりずっときれいになっています。私たちの諏訪湖チャリティー・ウォークがこの良い結果に貢献していると思うと嬉しいです。

一つ残念なことは私の日本語が貧しいために、せっかく準備してくださっていた湖の研究者の皆さんのお話を十分に理解することができなかったことです。しかしながら、私のような者はごく少数でしょう。多くのほとんどの皆さんがたくさんのことを学ばれたことと思います。

25年間ご協力ご援助ありがとうございました！

泳げる諏訪湖をめざして 「自然との共生」 工事の紹介

長野市 平澤 幸雄

私は、平成4年～5年の2年間諏訪建設事務所長として勤務しました。管内各地で実施した土木関連工事の中で諏訪湖周辺で実施した工事を思い出して記してみたいと思います。

「人間が汚してしまった諏訪湖を元の美しい湖によみがえらせるのも人間の責任である」その為には建設事務所として何をすべきか？ そのような考えから湖周に係る仕事に着手しました。まず、その地域の仕事を実施するには「地域から学ぶ」ことが重要と考えました。地域特性・自然条件・歴史・文化などを知り、地元の各種団体の意見を聞く、特に諏訪湖を中心とした地質構造と、土木部の技術者にとっては専門外の諏訪湖に生息する魚介類・野鳥類・水生植物などについて、沖野先生など専門家の方々に講師を御願ひして、建設事務所職員・測量設計業者・建設業者などと研修会で共に学び、そのことを基本に諏訪湖に適した土木工法を職員と検討し、現場で具体的に実施することができました。

当時は、建設業のイメージアップを図る時代的な大きな流れの中で、すべての工事が実施されていて、そのことも大いに背中を押してくれ現場を推進することができました。

私は、わずか2年間の勤務でしたが、優秀な職員と諏訪地域の様々な関係者の皆様の協力と、ご支援のおかげで、後世に残る仕事の口火を切り、パイオニア的な仕事にかかれたことを心から感謝をしています。そのベースはドイツに行き、10日間湖水で学んだことが基本となっています。諏訪湖の周辺各地で実施した、自然との共生工事の一つ「人工なぎさ」は、それぞれの地域特性を考慮し「人と野鳥・魚類との共生」「人が湖とふれあう渚」などを目的に達成しました。その後、目的別に湖の後背地の土地利用を踏まえ、8つのマスタープラン・ゾーニングが行われ整備されています。当時も今でも「人工なぎさ」はあくまでも「試験地」であると思っています。造成から30年～50年経過を追跡調査観察し、今後の人々がどのような諏訪湖を望むのか？その方向付けをするための「試験地」であり、最終的な工法では無いと思っています。

諏訪湖の「核」にあくまでも「治水」を据えて、人の生命と財産を守ることを忘れてはなりません。ここに、平成4年～5年に実施した諏訪湖周辺の諏訪湖浄化をベースに泳げる諏訪湖を目指した工事を紹介しウォーキング・散策・ドライブ等をする皆さんにチラッと見て頂けたら幸せです。

諏訪湖の水辺整備計画

諏訪湖の水辺整備計画 各ゾーン別テーマ			
A	賑わいとふれあいの湖畔	都市的で潤いがある都市景観を形成するゾーン	E 水辺の生物と人との交流する湖畔
B	水辺の生物豊かな湖畔	諏訪湖の原風景である水辺植物が豊かなエゴや湖畔を復元・創出するゾーン	F 湖面に浮かぶ自然と共生する湖畔
C	広々とした湖を満喫する湖畔	広々とした湖畔の風景や山並みへの眺めを満喫しながらジョギング、つり、散歩、ドライブが楽しめるゾーン	G 水上スポーツを楽しむ湖畔
D	釜口水門大噴水をシンボルとした憩いの湖畔	釜口水門や大噴水をシンボルとし、湖畔公園と一体的な美しい湖畔公園を形成するゾーン	H 湖の風景を楽しむ湖畔



8つのマスタープラン・ゾーニング

○再自然化工事の実施箇所「人と鳥類・魚類との共生」

1. 人工なぎさ「渋崎工区」 諏訪市渋崎

既存のコンクリート波返しを盛り土し、水際にマコモやヨシを植栽し、カラマツ丸太材で杭打ち工を実施、土砂流出防止を図り水際に寄せ石を行い、野鳥、魚類、昆虫などが寄りつくよう配慮しました。

2. 人工なぎさ「高浜工区」 下諏訪町赤彦記念館前



渋崎工区

幅約 10mにわたり盛り土を行い、全面水際にカラマツ丸太材で木枠を組み木工沈床を施工、ヨシ、マコモ、ヤナギを植栽しました。木製の見学ステージを作り、状況を観られるよう配慮しました。この場所は、釣り人が集まる場所でもあり、施工後は木工沈床の上で釣り糸をたれる人が楽しんでくれ、カルガモ、サギ等の野鳥が集まって来てうれしかった。

3. ヨシ原による浄化実験場 諏訪市豊田終末処理場前（現在はビオトープになっている）

ヨシ原を造成し、諏訪湖水の浄化効果を調査。水路延長 1400m、水路幅 2.5m、面積 3500 m²にヨシ 12 万本を移植、5 日間で水路を通過させる当時の臨湖試験所の信大沖野外輝夫先生に調査を委託し、ヨシによるチッ素、リンの吸収浄化効果、水温、pH、水中溶存酸素、COD等を追跡調査する。処理場ポンプ上屋上を利用し、説明パネルを設置し、見学場所を整備しました。

4. 人工なぎさ「ふれあいなぎさ」 諏訪市石彫公園前

「人が湖とふれあうなぎさ」として造成。諏訪建設事務所と諏訪市建設部職員を対象に設計コンペを行い 40 提案の中から、八幡 義雄さんの作品が最優秀賞に決まり、他の提案者の優れた部分も取り入れて施工しました。延長 120m、幅 40m、面積 2000m²でヘドロを浚渫し、なだらかに盛り土し、石彫公園側は張り芝、ミニ諏訪湖（中に噴水）ここから巨石水路（天竜川）、水際までは玉砂利敷、浸食防止のために水際には巨石の置き石工を実施しました。竣工後は、花火大会を始め各種の行事に利用されており「人と湖のふれあい」の場として初期の目的が達成されていることは大変うれしく思っています。

なお、諏訪湖ふれあいなぎさは 1996 年 7 月 20 日、海の日に「日本の渚百選」に選ばれました。



「日本の渚百選」記念碑

5. 人工なぎさ「下浜工区」 岡谷市下浜湖畔公園湖水側

釜口水門近くに「人とのふれあい」を目的にコンクリートの波返しを土砂で覆う、湖畔公園として一体化させ、玉砂利を敷き、訪れる人が諏訪湖と親しめる水辺空間を創造することができました。

6. 武井田川、鴨池川で水辺植物帯を設ける護岸工事の実施

諏訪市豊田終末処理場を挟む両河川で、かつては「洪のエゴ」と呼ばれたことから両河川の水際に木杭を打ち込み、巨石を積んだ護岸工を設置し、親水性を配慮したアヤメなどを植え小公園化としました。

7. 中門川に多自然型護岸工事実施 諏訪市中門川

木杭を打ち込み、巨石を積み護岸工とし、親水性を配慮してアヤメ等を植え小公園化しました。

○諏訪湖と「景観がマッチした関連工事」の実施箇所

1. 諏訪湖に趣・6 橋めぐり

諏訪市渋崎〜豊田間（さざ波ロード）に建設する 6 つの橋に、諏訪湖と橋とマッチさせ自然をテーマにしたイメージを橋の欄干等に表現したり、一部の橋にはバルコニーを設置し、ジョギング・散策・人々の出会い・イベント・休憩の空間となるように計画しました。

- ・六斗川橋……………「諏訪湖をわたる風」をイメージし欄干に表現しました。
- ・宮川橋……………「太陽」をイメージし欄干に表現しました。
- ・武井田川橋……………水生植物の「マコモ」をイメージしデザインしました。
- ・鴨池川橋……………「水面の波紋」をイメージし欄干に表現しました。
- ・新川橋……………「カモの親子連れ」を欄干に表現しました。
- ・反の木川……………「星」をイメージし欄干に表現しました。

これらの提案は、1日所長にお願いした、諏訪・岡谷両警察署と安協の女性の方々に選定をお願いしたものでした。



新川橋



武井田川橋



宮川橋

2. 灯籠型水位局設置

諏訪湖の水位測定局。衣の渡水位局の小屋型が古く、建て替えが必要となり、湖周辺の景観との調和を基本に置き、職員コンペの結果、牛山さん提案の灯籠型水位局を剪定し建設しました。

3. 湖周線開通式「すわかマラソン同日」 諏訪市上川大橋～有賀の県道まで

延長 2.7km 幅 12～24mの街路が完成し、竣工式が行われた。歩道はゴムチップウレタン舗装とし、ジョギング・ロードとして整備し、足に優しい快適なジョギング・ロードとなりました。

道路と歩道の分離帯には、ケヤキ、コブシ、ライラック、イチイ、ムクゲ等、地域に適した樹木を2万4千本植樹し、スイセン3万株を植え、湖・緑・花の景観を創造することができました。

この道路の愛称は、一般公募者 360点の中から「さざなみロード」と決定しました。

4. 樋門に鯉・白鳥のレリーフ

洪水時に諏訪湖からの逆流を防ぐ為の樋門が2カ所完成し、その門柱部分に鯉と白鳥のレリーフをデザインし、住民に親しまれるさざなみロードの景観形成に配慮しました。

5. 豊田処理場にシンボル門柱設置 諏訪湖流域下水道終末処理場入り口

「よみがえれ諏訪湖」を合言葉に進めている処理場の門柱に下水道管を活用した門柱を設置しました。

門柱…下水道管利用 径 1m高さ 3.5m

基礎部分に諏訪特産の鉄平石を張り、諏訪圏域 6市町村のデザインしたカラーマンホールの実物の蓋を埋め込みました。

門柱に、全国公募して選定された「S」字のシンボルマークと愛称「クリーンレイク諏訪」の文字が表示されて来場者を迎えるよう配慮しました。

6. カメラ置き撮影台設置

諏訪湖の径間をバックに撮影台を設置し、台の上にカメラを乗せてタイマーでパチリ、他人にお願いしなくてもオーケーです。

平澤 幸雄氏

平成4年～平成5年 諏訪建設事務所長
諏訪湖の浄化に向け、諏訪湖なぎさ整備など後世に残る仕事の口火をきってくれた

「諏訪湖チャリティー・ウォーク」の思い出

伊那市 北原 正義

平成の始まりとともにスタートした「諏訪湖チャリティー・ウォーク」が第25回をもって次のステージへ衣替えするとお聞きし、4半世紀のご苦勞に心から「お疲れ様」と言わせていただきます。

私は諏訪湖の浄化が目に見えて進展してきた平成12年度から15年度までの4年間を諏訪建設事務所諏訪湖浄化に取り組ませていただきました。

当時、諏訪湖浄化に向けた市民の情熱はすさまじいほどで、諏訪湖ふれあい駅伝、諏訪湖で泳ごう2000、日独環境まちづくりセミナー、湖沼浄化シンポジウム in 諏訪、諏訪湖アダプトプログラム、諏訪湖に寄り添う音楽祭等々、様々な事業が展開されました。

そんな中でもとりわけ、どんな事業にも参加され、事業の成功に大きく貢献されてきた方が金子田美さんです。田美さんが主宰する「諏訪湖チャリティー・ウォーク」は彼女の人柄と情熱で多くの賛同者を得てきました。

時代の流れで、公共施設が過激派組織に襲われるという理由から、「チャリティー・ウォーク」フォーラム会場として使用してきた釜口水門会議室が使用できなくなったとき、彼女はシンボルである釜口水門会議室開催は絶対必要であると奔走し、程なく使用が許可され、再開にこぎ着けることができました。

25回の歴史の中では信州大学、諏訪まちづくり環境懇談会、自治体など多くの団体の結集で続いてきましたが、なんといっても金子田美さんが各団体の連携に奔走されてきたことが成功に結びついてきました。諏訪湖浄化もまだまだ途上かと思えます。これから姿を変えても浄化の取り組みが永久に続きますことを下流に住む住民として切に願っております。

皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。



第25回に参加したところ長野日報新聞記者の取材を受けました。長野日報掲載記事
平成26年5月4日

「ウォーク」は、諏訪湖の野外界隈から元
氣よく出発する予定です。

市は諏訪湖畔にある野外界隈から元氣よく出発する予定です。県内外から約120人が参加し、諏訪湖の釜口水門を目指して湖周を半周歩いた。

毎年開き、諏訪湖の環境問題を考える機会にしている。出発点から岡谷市方面へ向かうコースと、下諏訪方面へ向かうコースを設けた。どちらにも約8キロ、釜口水門がゴール。参加者は途中、信州大学教授や学生から諏訪湖の環境について解説を受けながら

歩みを進めた。毎年参加しているという北原正義さん(66)「伊那市狐島(諏訪湖の水質浄化は)25年前には懐世の感がある。泳ぐことができる諏訪湖を目指して今後も清掃活動などを続けてほしい」と願っていた。

チャリティー・ウォークは今限りでいったん終了するが、同支部の青賀メアリー会長は「今後も何らかの形でこうした取り組みを続けていきたい」と話した。

(樋口美世子)

北原 正義氏

平成12年～平成15年 諏訪建設事務所長

4年間にわたり、諏訪湖の浄化に取り組み、湖沼浄化シンポジウムなど積極的に進めてくれた

北原正義氏在職中の諏訪湖に関する出来事

平成12年(2000年)

諏訪湖で水泳大会

諏訪市の諏訪湖で、「海の日」の7月20日に、「泳げる諏訪湖」の願いを込めたイベントが行われた。市内の市民団体ら16団体でつくる実行委員会の主催。大学生から七十代の年配まで四十二人が参加、濁りのある諏訪湖で元気よく泳ぎ、ほぼ全員が泳ぎ切った。メンバーの中には、山田諏訪市長、光家長野県土木部長も元気に参加された。保健所の水質検査によると、(7月17日調査)大腸菌群は100ccあたり12個、CODは3.7mg/リットル、透明度は1mと水泳の数値としてはAランクに近い数値。



平成13年(2001年)

田中康夫長野県知事下諏訪ダム建設予定地を視察

田中康夫知事は、1月23日見直し対策の一つに挙げていた県営下諏訪ダム予定地(下諏訪町東俣)他を視察した。その後下諏訪町総合文化センターで住民との対話集会に望んだ田中知事は「一度の対話集会で建設の是非を判断するのは性急すぎる」としさらに検討を続けていく方針を示した。

2月 知事「脱ダム宣言」を発表

6月 県治水・利水等検討委員会設置

その後はダムに代わる河川整備計画及び事業評価委員会による中止評価を受け中止に至った。現在、治水事業が進められている。



国際ソロプチミスト諏訪湖周辺に植樹

奉仕活動の一環として諏訪湖終末処理場敷地内に桜の木20本を寄贈し一部の植樹を行った。

諏訪湖湖畔の植樹活動を平成元年より続けており、これまでに、桜を始め、ナナカマドやヤマボウシなど約1600本の苗木を植樹している。

現在は、諏訪湖終末処理場内の桜も大きく育ち、春には観桜会を開くなど、きれいな桜は皆さんから楽しまれている。



平成14年(2002年)

諏訪湖アダプトプログラムの説明パネル設置

諏訪湖湖周を32区画にわけ、地域住民が担当区間の清掃活動を請け負う制度を今年度本格的に導入した、諏訪湖アダプトプログラム実行委員会(委員長北原正義諏訪建設事務所長)は、工法看板を諏訪湖畔3箇所に設置、10月17日に関係者を集め除幕式を行った。看板は制度の内容や、活動団体名の説明を入れた。横30cm縦35cmの表示パネルを本のように見開き式で据え付けた。支柱は杉材で子供の身長に合わせ、高さは80cmに設定した。看板が設置されたのは、諏訪市湖畔公園、下諏訪町みずべ公園、岡谷市の湖畔公園の3箇所



平成15年(2003年)

岡谷市湊の湖周道路が全線開通

県諏訪建設事務所が岡谷市湊の諏訪湖畔で進めていた、県道岡谷茅野線湊バイパスの未開通区間の開通式が3月24日現地で行われた。平成3年から行われていた道県道改良工事の岡谷市分が全線開通となった。湊バイパスの計画延長は、釜口水門から諏訪市の県道諏訪辰野線(さざなみ道路)までの約3kmで今回開通したのは、岡谷市の小坂交差点から諏訪市境の約820mで車道6.5m歩道3.5mを整備した。



諏訪湖チャリティー・ウォークの思い出

諏訪市 八幡 義雄

諏訪建設事務所長として在職2年目の平成21年の2月頃でしょうか、金子田美さんから「諏訪湖チャリティー・ウォーク」も今年で20周年を迎えるので、諏訪湖のどこかに記念植樹をしたいとの相談を受けました。諏訪湖を管理する諏訪建設事務所もできる範囲で、諏訪湖の浄化を願って歩くチャリティー・ウォークに賛同してきましたので、喜んで協力しました。諏訪湖の周辺で植樹のスペースがありそうな場所として、思い浮かんだところが諏訪市と岡谷市の境にある比較的広いスペースです。何の木を植樹しようかいろいろ意見が出されましたが、鳥にも喜ばれる実のなる樹木が良いとの意見で、ヤマボウシや姫リンゴなどが候補にあがりました。ヤマボウシは小さい実がなるので、植樹をした子供たちが喜ぶかもしれないとの意見が多くヤマボウシとリンゴの木に決まったような記憶があります。

平成21年5月3日に行われた第20回の諏訪湖チャリティー・ウォークは、記念植樹をするために、全員が時計回りで歩き、岡谷市と諏訪市の境の広い植樹帯の中に、諏訪植木の折井さんの指導を受けヤマボウシ2本とリンゴ2本植えることができました。木の選定や植樹の段取りなど折井さんにはお世話になりました。

ヤマボウシとリンゴの木を植樹し、記念の看板を前に参加者全員で記念撮影をしました。その後も記念植樹が気になるので、近くに出かけた時に様子を見ることにしています。

昼食後、下浜区民センターで行われたフォーラムのあいさつで、参加された子供さんにタンポポの不思議な生態について知っていただこうと「タンポポの不思議」との表題でパネルを作成しました。

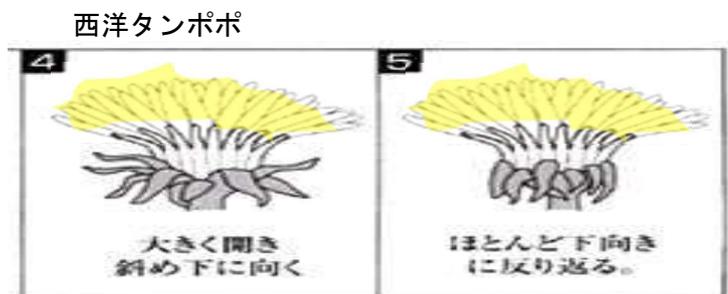
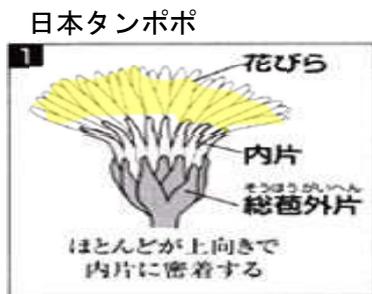
○タンポポの不思議：



タンポポの種子は、風により遠くに運ばれる風媒花（ふうばいか）です。

花が咲く時は背が低いです。花が咲き終わると胞子が飛びやすくなるため、茎が10cmくらい伸びてきます。すばらしい生態です。

いろいろなところで目にするタンポポですが、最近は、残念ながら日本タンポポはお目にかからなくなりました。今は亡きハスキー犬と散歩をした近くの宮川の土手に咲いているタンポポは残念ながらすべて西洋タンポポでした。



1ヶ月後でしょうか、会場におられた市民新聞の方が岡谷市内のお寺の庭に日本タンポポが群生している大きな写真を掲載して、その新聞を私にも郵送して頂きました。たくさんのタンポポが太陽の光を受けて咲いているすばらしい写真でした。そんな形で話題にして頂いたこと大変うれしく思いました。

八幡 義雄氏

平成20年～平成21年 建設事務所長

諏訪湖クラブ理事

チャリティー・ウォークと諏訪湖の思い出

諏訪市 河西 明彦

チャリティーウォークが今年で終了したということを知りました。残念な気持ちもありますが、今年25周年を迎えたということであり、JAL T、諏訪湖クラブ、他関係者の皆様方、大変お疲れ様でした。

私自身は、平成24年、25年に諏訪建設事務所職員として参加しただけでしたが、諏訪湖の周りを歩き、諏訪湖に関連する講演を聴き、船に乗ったのは、諏訪湖の環境を考える大変良い機会であると感じていました。また、子供の頃の諏訪湖での思い出を懐かしむ機会でもありました。

昭和30年代の中頃から40年代前半のことですが、祖父に連れられての諏訪湖での^{なます}鯰釣り、小学校の諏訪湖上でのスケート、中学生になってからの友人との^{わかさぎ}公魚の穴釣りなどです。水質等諏訪湖の環境問題が深刻になる前のことであり、その頃は諏訪湖に特別な意識もなく、私には当時の諏訪湖の環境に関する記憶は曖昧です。諏訪湖の環境を考えるために始まったチャリティー・ウォークだと思いますが、この行事は、25年の間に参加された多くの方、特に子供にとっては、諏訪湖に関する思い出として残り、また、地域での環境に対する意識の高まりに貢献したのだと思います。諏訪湖の水質等環境改善のために様々な事業が行われ、現在も進められています。それらの事業においては、地域住民の環境に対する思いが必要なのだと感じています。

JAL T、諏訪湖クラブを始め関係者の皆様方の25年の長きにわたっての活動が、今後も、地域の環境に関する活動に影響を与えていくのだらうと思っています。



新川河口付近です 平成24年5月3日



今年も快晴でした 平成25年5月3日



諏訪湖を見ながらウォーキング

河西 明彦氏

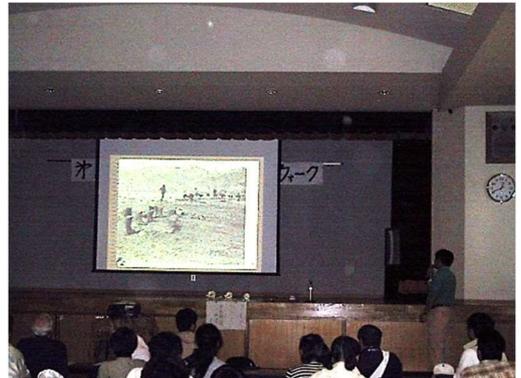
平成24年～平成25年 諏訪建設事務所長
諏訪に生まれ育った事から、諏訪湖に対する
思い入れが強い

諏訪湖チャリティー・ウォークに参加して

諏訪市 田代 幸雄

5月3日の諏訪湖チャリティー・ウォークが、私にとって恒例となったのはここ十数年のことです。チャリティー・ウォークが始まった平成当初、自由な立場で数回参加させていただきました。仲春の晴れた日、湖畔を半周することは気分の良いものでした。

私がイベントの準スタッフとして参加する切っ掛けとなり、特別な思い出となっているのは、平成13年の第12回チャリティー・ウォークです。この回のチャリティー・ウォークは、第4回日独環境まちづくりセ



講演の様子



ドイツから来られた講師との意見交換

ナーのイベン

トの1つとして位置づけられました。当時、このセミナーのスタッフとして働いていました私も、JAL Tの皆さんと一緒に運営にたずさわることとなりました。この回のウォークは、まちづくりセミナーの日程にあわせていただき、5月27日に実施するように変更していただきました。また、参加者の人数も多かったことから、ウォーク後のセミナーは会場を釜口水門の会議室から下浜の区民センターに移して行われました。私もセミナーで諏訪湖浄化対策の講演の機会をいただきました。また、ドイツから来られた講師のブックシュ

トーク氏、キャンプ氏、シューナイダー氏と参加者の意見交換は、多くの皆さんに満足していただきました。

このような縁もあり、その後は準スタッフ的な立場で参加し、今回の一区切りとなる第25回のチャリティー・ウォークを迎えました。運営に携わられたJAL Tの皆さんありがとうございました。これから5月3日の天気を気にする必要がなくなるのは、残念ですね。

田代 幸雄氏

平成26年4月より諏訪建設事務所長
諏訪湖クラブ 理事

チャリティー・ウォークについての思い出

埼玉県越谷市 榊沼 綾乃

二十五周年記念誌発行おめでとうございます。このような素敵な場におよびいただき光栄です。小林先生からご連絡をいただいてから、両親に電話をして、チャリティー・ウォークについて思い出話をしました。二十五年前に初めて開催された年から参加しておりますので、私は中学一年生、妹は小学一年生だったこととなります。私の次女が今年小学一年生ですので、そう考えるとずいぶん昔のことなのだなあと思います。

一番最初は諏訪湖一周だったと、父が話していました。不思議なことに私が覚えているのは第二回目のことで、野外音楽堂から二手に分かれて進む途中、対岸を歩いていた妹が見えて、手を振ったのが記憶にあります。明るい色のジャンパーがチラチラと動いた様子が思い出されます。

途中父が単身赴任で海外に居たり、私と妹のどちらかが留学していたりと人数が欠けながらも、どうやらだいぶ長いこと、私の家族はチャリティー・ウォークに参加したようです。家族の中ではなんら特別なことではなく、開催されるから参加するというだけのことだったのですが、毎年欠かさず何かに参加させることの大変さというのは、自分が親になって初めて感じました。子供だけ参加させるのではなく、親も一緒に参加してくれていたというのは、今になって考えるととてもありがたく、なかなかできることではなかったと思います。

現在私は埼玉県に暮らしていますが、生活の環境は諏訪とは比較にならないほど、自然から離れています。湖と山があり、川が流れ、景色の移り変わりで季節を感じられる環境で成長できたこと、そして身近に自然の大切さについて考えることのできるイベントがあったというのは、本当に恵まれていました。

ひとつ心残りがあるとすれば、私が娘たちを連れてチャリティー・ウォークに参加できなかったということです。いつか帰省したときに、三世代で湖岸をぐるりと歩き、たくさんの思い出話を聞かせてあげたいと思います。

諏訪湖チャリティウォーク 25年の歩み

「チャリティウォークとは」参加者が歩いた距離に応じて主催者に寄付すること。(初回： 20 円/1 キロメートル)

主催： 全国語学教育学会(JALIT)信州支部 (1999年に諏訪支部より信州支部に名称変更)

共催： 諏訪環境まちづくり懇談会(2007年発展的解散；諏訪湖クラブ設立)
諏訪湖クラブ(第19回より)

趣旨： 国際交流と環境問題への意識の高揚をめざす(諏訪湖周を歩いて観察)

協力： 長野県諏訪建設事務所

信州大学山岳科学総合研究所(元臨湖実験所)

後援： 市民新聞グループ(7紙)(第1回より) 諏訪6市町村(第1回)

信濃毎日新聞社(第10回より)

ANPIE(長野県国際交流推進協会)

諏訪市教育委員会(第15回より)

岡谷市教育委員会(第17回より)

下諏訪町教育委員会(同上)

諏訪東京理科大学(第17回より)

岡谷市下浜区(第19回より)

特徴： 1) 「官民学」がお互いの垣根を取り払い、同じ目線で活動

2) 開会式等、プログラム展開をできるだけ日英のバイリンガルで行われている。外国人との国際交流も趣旨の一つであり、JALIT外国人会員や他の外国人の参加も呼びかけている。

3) 雨天決行。雨天時での諏訪湖の様子を観察することも大事。(船が出せないような荒天時はフォーラムのみ実施——20回中1回あり)

回数	開催日	プログラム	フォーラム（昼食後） 会場・内容・講師	参加人数	寄付金額・ 寄付先	☆諏訪建設 事務所長 JALIT会長 まち懇会長 諏訪湖クラブ 会長	天候	備考
1	平成2年 (1990年) 5月27日 (日)	参加者は1周約16 キロの諏訪湖を好 きなだけ歩き、1キ ロにつき20円を、 歩いた本人や、その 知人、家族などのス ポンサーとなり、主 催者に寄付	開会式・スタート：諏訪市営 ヨットハーバーグラウンド 岡谷市東堀鼓笛隊の子供たち を先頭に出発 チェックポイント：下諏訪み ずべ公園、岡谷市竜公園	230	432,955 円 諏訪ま ち懇	☆宮島直人 田畑静夫 藤原正男	快晴	諏訪6市町村が後援、非常に盛大に開催 諏訪湖を一周 国際色豊かに開催 行くには大変危険なところも多かったので、何箇所かで 警備に立ち、参加者の安全をはかる必要がある状況 事前にボランティアを募集、大会を手伝ってもらう
2	平成3年 (1991年) 5月12日 (日)	2グループ、水上バ スにて岡谷市天竜 公園へ。半周して諏 訪市湖畔公園へ 1グループ、自転車 にて一周	諏訪市湖畔公園 諏訪湖について：沖野 外輝夫 先生（臨湖実験所長） 「諏訪湖について」	80	33,280 円 諏訪ま ち懇	☆宮島直人 田畑静夫 藤原正男	曇り	ごみ拾い 沖野先生「諏訪湖をきれいにするには、住民一人ひとりが、 薬剤やごみなどを捨てない努力をすることにも、コン クリート化した護岸を再自然化することが必要」と強 調。ジョー・キヤロル・ハニーさん(アメリカ、下諏訪 中学 AET)「歩いてみてごみの多いのに驚いた。ごみを 捨てないように、もっと基本的な教育が必要ではない か。こういう集まりに先生が先生をつれてきてくれた方がよ い」と提案。
3	平成4年 (1992年) 5月17日 (日) 御柱年	2グループ、水上バ スにて岡谷市天竜 公園へ。半周して諏 訪市湖畔公園へ	同上	40	22,973 円 諏訪ま ち懇	☆平澤幸雄 倉下直 藤原正男	五月晴 れ	ごみ拾い 東京立教中学生50人フォーラム聴講 フォーラム会場に、水槽に入れた諏訪湖の魚、貝を展示、 関心を集めた。
4	平成5年 (1993年) 5月16日 (日)	同上	同上	60	約 20,000 円 諏訪ま ち懇	☆平澤幸雄 倉下直 藤原正男	五月晴 れ	ごみ拾い フォーラム時、オーストリア国営放送の取材クルームも訪 問、飛び入りでオーストリアの湖浄化について報告。「観 光客誘致のため、湖の水が飲めることを売り物にして、 湖の周りの自治体が競争しあってきれいにした。」と参 加者の関心をさそっていた。
5	平成6年	強風のため、遊覧船	諏訪湖流域下水道豊田終末処 理場 沖野 外輝夫先生（臨湖実験所	50	諏訪ま ち懇		雨 強風	ごみ拾い 初めての雨天下での諏訪湖観察。 湖上よりの観察不能は全期間で今回のみ。

	(1994年) 5月15日 (日)	での湖上からの観察中止。諏訪湖流域下水道豊田終末処理場まで歩く。	長)「諏訪湖について」 林正敏(諏訪野鳥の会諏訪支部長) 「諏訪湖に生息する鳥類と環境の変化」			☆荻原敬三 倉下直 藤原正男		諏訪湖周辺に飛来、生息する野鳥の生態を知ることにより環境への理解を深める。
6	平成7年 (1995年) 5月13日 (土)	諏訪市豊田回り(約8キロ)、下諏訪町回り(約8.5キロ)の二手に分かれ、岡谷市釜口水門まで歩く。	釜口水門管理棟会議室 沖野外輝夫先生(臨湖実験所長) 林正敏氏(諏訪野鳥の会諏訪支部長)	70	諏訪まち懇	☆荻原敬三 小林茂 藤原正男	快晴	ごみ拾い フォーラム会場：釜口水門管理棟会議室となる 昼食後、水門管理施設職員の案内で、水門施設見学 岡谷ボーイスカウト第2団員参加 水辺整備進み始める
7	平成8年 (1996年) 5月11日 (土)	同上	釜口水門管理棟会議室 沖野外輝夫先生(信州大学理学部教授) 花里孝幸先生(臨湖実験所長) 2教授による諏訪湖の話	130	諏訪まち懇	☆赤羽良夫 小林茂 藤原正男	晴れ	ごみ拾い7回続けて参加した人は「諏訪にとって八ヶ岳は父親、諏訪湖は母親。父母を大切にしない人はいない。諏訪湖も、年々、湖周が整備されてきて、これからは、湖周から湖中に関心が集まり、諏訪湖は今まで以上の早さで綺麗になっていくと期待しています。また、護岸も人口なぎさなどでコンクリートから土になって歩きやすくなっているがごみは相変わらず多い。」
8	平成9年 (1997年) 5月18日 (日)	同上	釜口水門管理棟会議室 沖野外輝夫先生(信州大学理学部教授) 花里孝幸先生(臨湖実験所長) 林正敏氏(諏訪野鳥の会諏訪支部長)	100	諏訪まち懇	☆西原義久 小林茂 飯田実	晴れ	ごみ拾い 新企画：諏訪湖に関する20問のクイズ(三択問題)用意。歩きながら考えてもらう。諏訪湖の水生植物やコホクチョウ、アオコの正体などにかかわる問題を解き、環境への理解を強くしてもらう。日英のバイリンガルで行う。
9	平成10年 1998年5月 17日 (日) 御柱年	同上	釜口水門管理棟会議室 下山良平氏(茅野市米沢小学校教諭) 「カエルとの環境評価」花里孝幸先生(臨湖実験所長)	40	諏訪まち懇	☆西原義久 金子田美 飯田実	早朝まで激しい雨、後晴れ	フォーラム時諏訪湖に関するクイズプログラムが定着。 フォーラム構成：「研究発表・クイズ・音楽」の3本立。 環境変化に一番弱い動物の一つ、カエルを通して、環境保護を訴える。 東京からの参加者も。
10	平成11年 (1999年) 5月16日 (日)	同上	釜口水門管理棟会議室 花里孝幸先生(臨湖実験所長)：諏訪湖のお神渡りと地球温暖化の関係等。	60	諏訪まち懇	☆桜井忠彦 金子田美 飯田実	雨のち晴れ (薄日)	「泳げる諏訪湖から飲める諏訪湖へ」を提言。 ANPIEより国際交流活動支援の資金援助

11	平成12年(2000年)5月3日(水)憲法記念日 初めて、ゴールデンウィーク中に開催 以後、5月3日開催を定着	同上 信大理学部 の学生6人らが水先案内人。 動植物や水環境などについて説明。	釜口水門管理棟会議室 張光ゲン氏(信州大学理学部博士課程・韓国留学生):「韓国南東部を流れるナクトン川が抱える問題」 ダリウス・スイツマン氏(諏訪地方の公立高校AET・アメリカ、テキサス出身) 「故郷の湖との生活」 国境を越えて環境問題を考える	110	諏訪まち懇	☆北原正義 金子田美裕 有賀裕	晴れ	花里孝幸教授:「昨年はアオコの発生が非常に少なく、確実にきれいになってきていると思う。湖周もかなり変わってきており、さまざまな角度から諏訪湖の環境に目を配ってほしい。」 有賀裕会長:「まち懇では今年、諏訪湖水泳を計画している。諏訪湖は私達の命。このウォークを機会に大いに環境について語りあってほしい。」 張光ゲン氏:『開発か保存か』を解決するには、長期的な対策が必要」「行政に任せきりにせず、市民も含めて皆で考えていくべき。」 例年以上に小学生の参加が目立つ。 ダリウス・スイツマン氏はアンケートでテキサス州にて採用されている高速道路での「アダプトプログラム」を紹介。 ANPIEより国際交流活動支援の資金援助
12	平成13年(2001年)5月27日(日) 「日独環境まちづくりセミナー・湖沼浄化シンポジウムIN諏訪」と平行開催	日独セミナーとの関係で、参加者全員が時計回りにて岡谷市釜口水門まで歩く。(反時計回り実施しなかった)	岡谷市下浜区民センター セミナー講師:クラウス・ブツク・シュテーク氏、グイドー・カンブ氏、リヒャルト・シュナイダー氏、県国際交流員:クリステイナ・ワイクケント氏を交え、住民と意見交換。 戦前から現在までの諏訪湖の様子をプロジェクトタターで解説。	120	諏訪まち懇	☆北原正義 金子田美裕 有賀裕	小雨	ドイツ人講師:十年ぶりに見た諏訪湖の様子について「自然に戻したところにプラスチックのごみがたくさん落ちていた。川の上流に住んでいる人の協力が必要。」 「釣り人が自然に戻したところに入り、車も駐車してあったので、対策を考えないといけない。」 富士見高等学校環境保護クラブの生徒が参加。講師達と活発な意見交換をした。
13	平成14年(2002年)5月3日(金)憲法記念日	諏訪市豊田回り(約8キロ)、下諏訪町回り(約8.5キロ)の二手に分かれ、岡谷市釜口水門まで歩く。	岡谷市下浜区民センター 諏訪湖アダプトプログラムの概要説明 ダテイリオ・ダニエル氏(県国際交流員):「ダニエルさんと遊ぼう、ビンゴゲーム(アメリカの歴史クイズをもとにしたもの)」 コンサート:宮下さおり氏(フルート)と小池実氏(ギター)	110	諏訪まち懇	☆北原正義 金子田美裕 有賀裕	快晴	諏訪湖アダプトプログラムが始まる。行政と住民、企業との役割分担の明確化など新たなパートナーシップを結び、新しい姿での諏訪湖浄化を呼びかけた。

14	平成15年 (2003年) 5月3日 (土) 憲法記念日	同上	釜口水門管棟会議室 宮原 裕一先生(信州大学山 水環境教育センター):環境ホ ルモンの基礎知識やダイオキ シン汚染の実態を解説。 コンサート:三浦 久氏(フォ ークシンガー)氏のギターで 合唱も楽しむ	80	諏訪ま ち懇	☆北原正義 金子田美 有賀 裕	快晴	釜口水門施設見学。 ウォークの参加者に一昨年の一月、東京新大久保駅で人 を助けようとして亡くなったイ・スヒョンさんの知人が いたことから、三浦 久氏オリジナル曲の中からイ・ス ヒョンさんにささげる歌を披露。
15	平成16年 (2004年) 5月16日 (日) 御柱年(申) のため変更	同上	釜口水門管棟会議室 平島 安人氏(セイコーエプソ ン地球環境推進部) 「わたしたちの暮らしと環境 問題」後、地球環境について のクイズ 諏訪市立四賀小学校 合唱部(平澤 洋子教諭) 「ブルー諏訪湖」など	60	諏訪ま ち懇	☆笠井 明 金子田美 沖野外輝夫	雨	2001年の米国での9.11テロを受け、日本でもテロ対策 特別措置法が制定。そのため、この第15回を最後にフ ォーラム会場として釜口水門管理事務所会議室の利用、 また、施設見学が不可能となる。非常に残念。 今回フォーラム会場として釜口水門管理事務所会議室 利用にあたり、諏訪建設事務所のご協力、ご配慮に深く 感謝。当日担当の管理職員の方が、万が一の不審者の進 入の未然防止のため、人が出入りするたびに忙しく鍵を 開け閉めされていたのが今でも目に浮かびます。特に子 供の参加が多かったのでご面倒をかけました。
16	平成17年5 (2005年) 5月3日 (火) 憲法記念日	同上	小口太郎記念公園 「高原・みず・ひびき」―― みんなで楽しむハーモニー、 今も慕われる五味 孝司先生 (松本市)とともに(アコー デオン伴奏と指揮)	75	諏訪ま ち懇	☆笠井 明 カールス・ フレッド 沖野外輝夫	快晴	長野県共同募金会より活動資金援助 フォーラムの新しい形を模索:今回初めてフォーラム時 間大半を一緒に歌を歌ってみた。 五味 孝司氏(72歳)は県内小、中学校での音楽専科教 師退職後、長年街角コーラスを指導。
17	平成18年 (2006年) 5月3日 (水) 憲法記念日	同上	岡谷市下浜区民センター 「諏訪湖ウオッチング -「小さな命をみつめて」- ミジンコと毒、高橋 宏和氏 (信大博士課程) 音楽:Mojo	130	諏訪ま ち懇	八重田修 (諏訪湖事 務所長挨拶) カールス・ フレッド 沖野外輝夫	五月晴 れ	諏訪建設事務所長:平沢 清氏 諏訪湖事務所開設(しかしこの年のみ) フォーラムを信州大学山岳科学総合研究所で学ぶ博 士・修士課程の学生の研究発表の場としてとらえるよう になる 「研究発表・クイズ・音楽」の3本立に戻る
18	平成19年 (2007年) 5月3日 (木) 憲法記念日	同上	岡谷市下浜区民センター 「池の中の小さな生き物の大 きなはたらき」村上 智岐氏 (信大博士課程1年生) 二胡演奏:龍 鉄鋼氏	100	27,810 円	☆平沢 清 カールス・ フレッド 沖野外輝夫	五月晴 れ	

19	平成20年 (2008年) 5月3日 (土) 憲法記念日	同上	岡谷市下浜区民センター 「諏訪湖の健康診断」今井 晶 子氏 (信大博士課程1年生) ジャズ演奏：諏訪東京理科大 学「JAZZ研究会」	154	36,893 円	☆八幡義雄 小口俊 (下 浜区長) カールース・ フレッド 沖野外輝夫	五月晴 れ	下浜区民センター利用の便宜を図ってもらっているの で、下浜区にも回覧で参加を案内
20	平成21年 (2009年) 5月3日 (日) 憲法記念日	記念植樹のため、参 加者全員が時計回 りにて岡谷市釜口 水門まで歩く。(反 時計回り実施しな かった)	岡谷市下浜区民センター 12:30 開会(例年12:00) 「ミジンコたちの多様な生存 戦略」君島 祥氏 (信大博士課 程1年生) 演奏：長野県下諏訪向陽高等 学校吹奏楽部 (櫻井 啓教諭指 揮)	164	56,137 円	☆八幡義雄 カールース・ フレッド 沖野外輝夫	五月晴 れ	20周年記念植樹事業(10:300~11:00) りんご、2本、山ぼうし、2本 寄付金をもとに植樹基金を設立(JALT 会計管理) 下浜区長挨拶なし (下社御柱伐採下見のため)
21	平成22年 (2010年) 5月30日 (日) 御柱年	諏訪市豊田回り(約 8キロ)、下諏訪町回 り(約8.5キロ)の 二手に分かれ、岡谷 市釜口水門まで歩 く。	岡谷市下浜区民センター 12:00 開会 「ミジンコは水質浄化の立役 者」伊澤 智博氏 (信大博士課 程1年生) 演奏：Matsumoto Jammers	110	58,759 円	☆伊藤直喜 マーク・ブ ライアリ 沖野外輝夫	快晴	下浜区民センターの利用が難しくなってきたので、 開催日も含めて、再考が必要かもしれない。 ・1年前からの予約はできない ・費用も地区外団体扱いで8,000円は必要 (今までは特別料金で最高でも3,000円)
22	平成23年 (2011年) 5月3日 (火) 憲法記念日	同上	釜口水門管理棟会議室 「ウナギは水をきれいにす る？ 魚と水の汚れとの関 係」小林 宏樹氏 (信大博士課 程1年生) 演奏：岡谷市立小井川小学校 音楽部 (44名) 指揮：武居 紀代美教諭	約 200	29,432 円	☆伊藤直喜 マーク・ブ ライアリ 沖野外輝夫	五月晴 れ	今年から始めたイケチケウォウ貝養殖の説明と観察をする。 11年ぶりに釜口水門管理棟の会議室でフォーラム開催。 諏訪建設事務所関係者のご理解と元諏訪建設事務所長、 北原正義氏と県職員田代幸雄氏 (両氏共諏訪湖クラブ会 員) が警備員としてご協力の結果実施可能となった。 諏訪湖浄化に夢を託して作られた『ブルー諏訪湖』 諏訪湖チャリティ・ウォークのテーマソングとしている。 作詞：MIMM (故藤原 正男、故飯田 実、矢島 恵) 矢島 恵さん参加。譜面作りに貢献して下さった五味 昭人先生指揮のもとみんなで歌う。 曲誕生経緯：もともと故藤原氏が聞き覚えていたメロディ イを五味昭人先生が譜面におこした。藤原氏はハワイア ン調でお願いしたいということであった。

23	平成24年 (2012年) 5月3日 (木) 憲法記念日	同上	釜口水門管理棟会議室 「二枚貝が水をきれいにす る？」吉田 知可氏(信大博士 課程2年生) 演奏: MUSI3 によるギターと 歌 特別出演: エズィ・レイノル ズ氏(蚕虹英語塾講師) 司会: 松木 祐基子氏	約 60	31,427 円	☆河西明彦 小口俊(下 浜区長) マーク・ブ ライアリ 沖野外輝夫	快晴	悪天候を覚悟し、前日にクリーンレイク諏訪の会議室の下見までするが、予報が大外れとなり最高のチャリティウォーク日和となる。 昨年から始めたイケチヨウ貝の養殖の説明と観察。 諏訪湖管理が下水道課(合同庁舎)から維持管理課(クリーンレイク諏訪)に移動。最後に武田 政弘(クリーンレイク諏訪所長)に挨拶いただく。
24	平成25年 (2013年) 5月3日 (金) 憲法記念日	同上	釜口水門管理棟会議室 「諏訪湖に棲むワカサギ」に 寄生するミジンコ」戸田 龍太 郎氏(信大博士課程2年生) 演奏: ピアノと歌のプレゼン ト宮下 千恵美氏と門下生 (宮田 紫央氏他) 司会: 宮下 千恵美氏娘	約 120	32,430 円	☆河西明彦 マーク・ブ ライアリ 沖野外輝夫	五月晴 れ	諏訪湖チャリティウォークの参加者目印として黄色のひもを身に付けてもらった。 警備に感謝: 八幡 義雄元諏訪建設事務所長、田代 幸雄氏(両名共諏訪湖クラブ会員)
25	平成26年 (2014年) 5月3日 (金) 憲法記念日	同上	釜口水門管理棟会議室 会開: 12:00 終了: 13:50 記念講演: 「諏訪湖とどうつき あう? … 自然の生態系つ て?」沖野 外輝夫(信大名誉教 授) 演奏: 下諏訪町立下諏訪北小 学校合唱部 指揮: 小口 智子教諭	約 140	33,890 円	☆田代幸雄 有賀メアリ 一 沖野外輝夫	快晴	ウォークのはしりであり、国際交流もしながら、環境への問題提起を四半世紀にわたり行ってきた諏訪湖チャリティウォーク、今回の25回をもって終了となった。 25年という長きにわたっての各方面のすべての皆様からのご協力、ご援助に感謝あるのみです。本来にありがとうございませした。記念講演で大正時代からの諏訪湖の変遷をプロジェクターで紹介。懐かしい思い出見入った方も少なくなかったのでは。そして、「将来どんな諏訪湖であってほしいか?」を参加者に尋ね諏訪湖へのそれぞれの思いを胸にフォーラムを終了。小学生の子供たちの歌声に明日への希望を持たせていただいた第25回でした。 記念講演のため、講演時間を20分延長。 終了時間を13:50とした。ポート出発時間に変更なし。

注; 諏訪湖環境まちづくり懇談会は「諏訪まち懇」と略させて頂きました

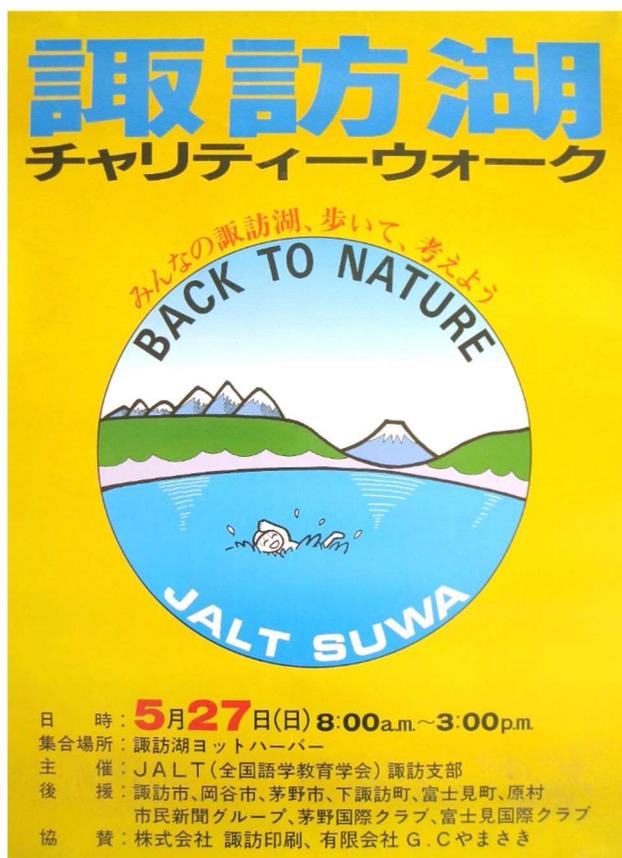
第1回 諏訪湖チャリティーウォーク 平成2年（1990年）5月27日

開催日	プログラム	フォーラム	参加者	その年のできごと
平成2年 (1990年) 5月27日 晴れ	1周約16kmの諏訪湖を好きなだけ歩き、参加者は20円/kmを主催者に寄付	開会式 諏訪湖ヨットハーバー岡谷市東堀鼓笛隊先頭に出発	230人 ② 宮島直人 ② 田畑静夫 ③ 藤原正男	・諏訪湖間欠泉センター開設 ・国土交通省「多自然型川づくり実施要領」策定

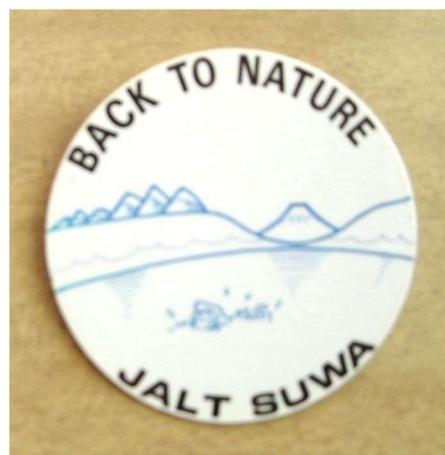
※①諏訪建設事務所長 ②実行委員長 ③諏訪環境まちづくり懇談会会長

- ・諏訪8市町村が後援、盛大に開催
- ・諏訪湖を1周し参加者も国際色豊か
- ・歩行に危険が伴う地点では警備員を配置
- ・事前にボランティアを募集し大会を手伝ってもらう。

地球に感謝し、大地のありがたさを自分の足で確認しようと、5月27日諏訪湖を歩いて一周する「諏訪湖チャリティーウォーク」が開かれる。参加者が歩いた距離に応じた金額を主催者に寄付、主催者はその募金を諏訪湖の環境美化に役立てようとするユニークな試み。英字新聞などでも参加を呼びかけ、国際交流の場にもする計画だ。計画をしているのは、英語を主体とする外国語教育者の集まりである全国語学教育学会諏訪支部（JALT・田畑静夫支部長・40人）の会員。激しく動く世界の情勢を見て、教育現場でも地球環境の問題は避けて通れない、と実感。身近な諏訪湖を美しくするにはどうすれば良いか。皆で考えようと企画した。



第1回諏訪湖チャリティーウォーク開催（平成2年）ポスター



参加者に配られたバッジ

第1回チャリティーウォークに参加された方は238名

参加者からの募金は432,955円 経費を除いた120,212円を「諏訪環境まちづくり懇談会」に寄付いたしました

平成2年7月3日

市民新聞グループ社長殿

全国語学教育学会諏訪支部
支部長 田畑 静夫

拝啓 梅雨の季節となりましたが、時折みせませ日差しは夏のものを感じさせます今日この頃です。皆様におかれましては益々御隆昌のことと拝察申し上げます。
日頃、当学会に対し種々御援助を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、去る5月27日の当学会主催による「諏訪湖チャリティーウォーク」につきましては、多大なる御支援を頂き誠に有り難うございました。ようやく寄付金等のまとめが出来ましたので、御報告申し上げます。

参加者数	238名
寄付金総額	432,955円
必要諸経費	312,743円
純寄付総額	120,212円

(このお金は、「諏訪環境まちづくり懇談会」に寄付いたします。)

なお、アンケートに対する答えにつきましては、

1. 最も印象的な個所はどこ？
場所：天童公園、釜口水門、葦の場所、太陽電池のジョギングコース、かんげつ屋、岡谷の石垣と砂浜（自然のままのところ）、水辺公園等
・下線の3個所がとりわけ多かったです。
2. チャリティーウォークの予想参加者数？
最も近かったのが220人の予想をした
小口 知之さん（岡谷市銀座2-7-4）
次に250人 中島 明彦さん（下諏訪町5354）
200人 神沢 輝幸さん（諏訪市四賀3231-1）
松沢智恵子さん（諏訪市四賀桑原744-6）
小口 力さん（岡谷市銀座2-7-4）
林（判読不能）青己さん（下諏訪町大門76-1）
3. 何年後に諏訪湖で泳げるか？
5年後から100年後まで様々、なかにはNEVERというもありました。

感想、印象的な個所の中から
・諏訪湖が小さくなったこと・砥川の美しさ・浄化施設は立派だが湖の浄化が進んでいない・湖が汚れていること・水が緑色・空きかんの多さ・ごみの山・整備の行き届いた所とそうでない所
・今後環境問題に関心を向けてみたい・諏訪湖を美しくしたい、そのための良い企画だった・良い運動だった・住民参加の諏訪湖浄化運動をただちに始めないといけない・楽しかった・モラル向上運動などを青年会議所などが始めると良い・湖全周の整備・来年も参加したい

以上のようなまとめをしてみました。当日は天候にも恵まれ本当におかげ様だったと思えます。誠に有り難うございました。重ねてお礼を申し上げます。
今後とも何卒御指導御援助の程宜しくお願い致します。

敬具

寄付金の報告

残暑が強いようですが、お元気のご活躍のことと存じます。

過日は諏訪湖チャリティーウォークから多額の寄付を賜り有難うございました。有り力の財源にも、強力が激励も有りませぬ。厚く御礼申し上げます。

小口知之さん、中島明彦さん、神沢輝幸さん、松沢智恵子さん、小口力さん、林（判読不能）青己さん、お礼申し上げます。

諏訪湖の浄化を始め、住民本位のまちづくりを、今後共に尽力を賜りたく、御礼申し上げます。

九月三日

藤原正男

この会 前年同様

まちづくり懇談会藤原正男さんから礼状が届きました

1990(平成2年)
5月28日

※ ちの人も含め約二百二十人が参加し、うち八十八人が一週を完歩。外国人も東京、松本などから七人が参加し国際色豊かな催しとなった。箕輪町から来た英語指導助手のルース・トーマスさん(三十一歳)は「諏訪は山が美しいので、湖がきれいになればもっとすてきなところになるのでは」と感想。このほか、袋いっばいにのみ参加してゴールした塩尻市の女性の小学校教諭は「自分が出した力を待たせることは簡単なことなのに」と話している。それぞれが諏訪湖周辺環境の現状を再認識したようだ。

初の企画が成功のうちに終わったことと、田畑支部長らは「来年も今年以上に盛り上げたい」と意欲をみせていた。



初夏の諏訪湖を歩くスタート地点付近で

楽しく歩いて美化に協力

初の諏訪湖チャリティーウォーク 意義深く

約230人が参加

参加者が歩いた距離を計り、この基金を諏訪湖の美化に役立てようという諏訪地方でも初のチャリティーウォークを計画したのは、本紙やパソコン・ワープロ通信「信州ネット」に連載中の「英語の信州」でもおなじみの全国語学教育学会諏訪支部(田畑静夫支部長)の小林茂氏や有賀メアリーさんら。地球を一つ



外人さんも「ベリーグッド」「サイコウね」とうきうき気分ですみずべ公園チエックポイント



愛犬のシベリアンハスキー「PJ」君を連れたスタートボートでの参加者も

の共同団体としてみようという勢のなか、隣人理解を旨とする外国語教育者としても環境問題は避けて通れないと実行に踏み切った。諏訪六町村村、本紙など市民新聞グループなども後援した。

チャリティーウォークは、参加者が一週約十六、七の諏訪湖を歩き、なだけ歩き、一、二つき、十回を歩いた本人や、その知人、家族などのスポンサーが主催者の語学研究会諏訪支部に寄付。募金は諏訪湖環境浄化にも努力している市民団体「諏訪環境まちづくり懇話会」(藤原正男会長)に贈って有効に活用してもらおうという趣旨で参加者を募っていた。



「先頭はもうゴールしたよ」の言葉にずっこける参加者一釜口水門で

嘗ヨットハーバークラウンドには親子連れを中心に約二百人も人が集まった。開会式で田畑支部長は「大勢の人に集まってもらい大変うれい。地球規模でものを考えることが開会式のあと、岡谷



1、2位で到着した中学生

大切な今、諏訪湖にも目を向け、美化の願いを表現させたい」とあいさつ。来賓の諏訪市生活環境課の本倉正一郎課長も「行政として今日の成果に期待を寄せている」とエールを送った。

市の東湖鼓笛隊の子供たち二十九人の鼓笛演奏を先頭に元氣よく出発。下諏訪のみずべ公園、岡谷市の天竜公園に設置されたチエックポイントを通過しながら歩いたが、途中で持参の弁当をひろげるなどヒクニック気分で楽しみ、湖畔の現状や景観にも目をやりながら、諏訪湖の環境問題も考えた。

国際色も豊かにウォークには途中か

らの人も含め約二百二十人が参加し、うち八十八人が一週を完歩。外国人も東京、松本などから七人が参加し国際色豊かな催しとなった。箕輪町から来た英語指導助手のルース・トーマスさん(三十一歳)は「諏訪は山が美しいので、湖がきれいになればもっとすてきなところになるのでは」と感想。このほか、袋いっばいにのみ参加してゴールした塩尻市の女性の小学校教諭は「自分が出した力を待たせることは簡単なことなのに」と話している。それぞれが諏訪湖周辺環境の現状を再認識したようだ。

初の企画が成功のうちに終わったことと、田畑支部長らは「来年も今年以上に盛り上げたい」と意欲をみせていた。

↑諏訪市民新聞提供記事

第2回 諏訪湖チャリティーウォーク 平成3年（1991年）5月12日

開催日	プログラム	フォーラム	参加者	その年のできごと
平成3年 (1991年) 5月12日 曇り	2グループは水上バスにて岡谷市天竜公園→半周して諏訪市湖畔公園へ 1グループは自転車にて諏訪湖1周	諏訪市湖畔公園 「諏訪湖について」 沖野外輝夫	80人 ①宮島直人 ②田端静夫 ③藤原正男	・御神渡りが見られた ・第2回「日独環境まちづくりセミナー」開催 ・諏訪湖ジョギングロードが国土交通省「郷土手づくり賞」受賞

※①諏訪建設事務所長 ②実行委員長 ③諏訪環境まちづくり懇談会会長

- ・ごみ拾いを実施
- ・沖野先生「諏訪湖をきれいにするには、住民一人ひとりが、薬剤やごみなどを捨てない努力をするとともに、コンクリート化した護岸を再自然化することが必要」と強調。
- ・ジョー・キャロル・ハニーさん(アメリカ、下諏訪中学 AET)「歩いてみてごみの多いのに驚いた。ごみを捨てないように、もっと基本的な教育が必要ではないか。集まりに先生が生徒をつれてきた方がよい」と提案。



ごみや空き缶を拾いながら諏訪湖畔を歩く参加者

チャリティーウォークで 諏訪湖浄化にひと役

湖周を歩きながら諏訪湖や地球の問題を考えようという「第二回諏訪湖チャリティーウォーク」が一日行われた。家族連れを大勢の参加者が集まり、ゆっくりに歩いて環境問題に関心を深めた。

主催したのは全国語学教育学会諏訪支部（田端静夫支部長）と

早くきれいに 参加者が寄付も



フォーラムでは沖野値大教授が講演

諏訪環境まちづくり懇談会（藤原正男会長、後援は市民新聞グループ）の関心の高さから、環境を考える機会にと昨年に続き今回、今年も諏訪湖浄化の一助に役立ててもらおうと、参加者から寄付金を募り、諏訪環境まちづくり懇談会に寄付した。この日はまず、野外交渉で、恒大

↑ 諏訪市民新聞提供記事

天候となつて、スタートの諏訪湖畔公園には、親子連れを中心に約八十人が集まった。開会式で田端支部長は「環境問題にも関心を深め、じっくり諏訪湖を見てみよう」とあいさつ。参加者は三つのグループに分かれ、二グループは水上バスで岡谷市の天竜公園に向かい、同公園から歩いて湖周を半周、一グループは自転車一周した。参加者は、ごみ袋を手に入れたごみを拾いながら歩き、諏訪湖浄化に関心を深めた。

終了後、湖畔公園の野外交渉で、恒大諏訪湖実験所長の沖野外輝夫教授を講師にフォーラムを開いた。沖野教授は「諏訪湖をきれいにするには、住民一人ひとりが、薬剤やごみなどを捨てない努力をすること、コンクリート化した護岸を再自然化すること」が必要」と強調。参加者のなかで、アメリカ人のジョー・キャロル・ハニーさん（下諏訪中学講師）は「歩いてみてごみの多いのに驚いた。ごみを捨てないよう、もっと基本的な教育が必要ではないか。こういう集まりに先生が生徒をつれてきた方がよい」と提案していた。

なお、参加者からは三万三千二百八十円の募金が集まり、終了後田端支部長から、まちづくり懇談会の藤原会長に手渡された。

第3回 諏訪湖チャリティーウォーク 平成4年（1992年）5月17日

開催日	プログラム	フォーラム	参加者	その年のできごと
平成4年 (1992年) 5月17日 晴れ	2グループ 水上バスにて岡谷市 天竜公園→半周して 諏訪市湖畔公園へ	諏訪市湖畔公園 「諏訪湖について」 沖野外輝夫	40人 ①平澤幸雄 ②倉下直 ③藤原正男	・御柱祭り ・昭和42年より進めてきた 「諏訪湖治水計画」の諏訪湖 の湖岸堤ほぼ完成 ・第2期諏訪湖保全計画（平 成4年度～平成8年度）

※①諏訪建設事務所長 ②実行委員長 ③諏訪環境まちづくり懇談会会長

- ・ごみ拾いを実施
- ・東京立教中学生 50人フォーラム聴講
- ・フォーラム会場に、水槽に入れた諏訪湖の魚、貝を展示。関心を集めた。



水槽の生き物に興味を示す参加者



開会式会場となった音楽ステージ

湖周を歩きながら 諏訪湖や地球の問題を考
えようという「第三回 オーエが十七日わ
れた。家族連れも大
勢の参加者が集まり、
ゆっくりに歩いて環境問
題に関心を深めた。
浄化の一助にと
参加者が寄付も
主催したのは全国語
学教育学会諏訪支部
(倉下直支部長)と諏
訪四十人が集まった。

目で足で見て感じて 諏訪湖の環境考える

チャリティー
ウォーク

開会式で倉下支部長
(藤原正男会長)、
後援は市民新聞グル
ープ。諏訪湖の環境問題
への関心の高きから、
環境を考える機会にと
企画。今年も諏訪湖浄
化の一助に役立てても
らおうと、参加者から
寄付金を募り、諏訪環
境まちづくり懇談会に
寄付した。
この日は五月晴れの
天候となつて、スター
トの諏訪湖畔公園に
は、親子連れを中心に
約四十人が集まった。

フォーラムでは信大沖野教授が講演
沖野教授は、「諏訪
湖をきれいにするに
は、住民一人ひとり
が、ごみを捨てない努
力をするともに、コ
ンクリート化した護岸
を再自然化することが
必要」と強調した。
フォーラムには、東
京の立教中学の生徒五
十人も聴講に訪れたほ
か、会場には水槽に入
れた諏訪湖の魚、貝も
展示され、関心を集め
た。公園を訪れた人
も、諏訪湖浄化に関っ

て募金に協力してい
た。なお参加者からは二
万二千九百七十三円の
に手渡された。

募金が集まり、終了後
倉下直支部長から、ま
ちづくり懇談会の会員

↑ 諏訪市民新聞提供記事

第4回 諏訪湖チャリティーウォーク 平成5年（1993年）5月16日

開催日	プログラム	フォーラム	参加者	その年のできごと
平成5年 (1993年) 5月16日 晴れ	諏訪市豊田回り、下諏訪町回りの二手に分かれ、岡谷市釜口水門まで歩く	諏訪市湖畔公園 「諏訪湖について」 沖野外輝夫	60人 ①平澤幸雄 ②倉下直 ③藤原正男	・河川再生事業として高浜、渋崎の人工なぎさ完成 ・諏訪湖エコロジーフェスティバル開催

※①諏訪建設事務所長 ②実行委員長 ③諏訪環境まちづくり懇談会会長

- ・ごみ拾いを実施
- ・フォーラム時、オーストリア国営放送の取材クルーも参加。飛び入りでオーストリアの湖浄化について報告。「観光客誘致のため、湖の水が飲めることを売り物にして、湖の周りの自治体が競争しあってきれいにした。」と参加者の関心をさそっていた。



ごみや空き缶を拾いながら諏訪湖畔を歩く参加者

諏訪湖浄化に関心高め

ごみを拾いながら チャリティーウォーク

湖を歩きながら、諏訪湖や地球の問題を考へようという「第四回 諏訪湖チャリティーウォーク」が16日行われた。家族連れなど、勢の参加者が集まり、ゆっくり歩いて環境問題に関心の高さから、環境問題に思いを深めた。関心の高さから、環境問題に思いを深めた。関心の高さから、環境問題に思いを深めた。

主催したのは全国学生教育学会諏訪支部（倉下直支部長）と諏訪湖浄化の一年も継続しての企画。今年も諏訪湖浄化の一年も継続しての企画。今年も諏訪湖浄化の一年も継続しての企画。

「観光客誘致のため、湖の水が飲めることを売り物にして、湖の周りの自治体が競争しあってきれいにした」と話し、参加者の関心をさそっていた。

参加者から約2万円の寄付された。

またフォーラムの会場には、オーストリア国営放送の取材クルーも訪れ、飛び入りでオーストリアの湖浄化の活動について報告した。



この日はさわやかな五月晴れとなり、湖畔公園で終了後、湖畔公園のフォーラムでは沖野信大教授を囲み懇談

終了後、湖畔公園のフォーラムも

野外首席客で、信大諏訪湖実験所長の沖野外輝夫教授を講師にフォーラムを開いた。

沖野教授は、「諏訪湖のアオコはその数年で半分以上に減り、湖の浄化は進んでいると考えてよい。コンクリート化した護岸を、人工ななぎさやヨシ原といった湖本来の姿に近づけるのがこれからの課題。自然の表層だけを削ぎ、生物のバランスを保ちながら湖を改善していくことが必要ではないか」と強調した。

「なぎさを歩き景観向上のため努力している」とがかわかった。岸辺にもコンクリート護岸の再自然化のためには、コンクリートの壁を取りはずし、土を入れて戻すべきではないかといった意見も出された。

↑ 諏訪市民新聞提供記事

クリーンレイク諏訪の会議室でフォーラムを行いました



諏訪建設事務所長;荻原 敬三さんあいさつ

フォーラム

沖野 外輝夫先生（臨湖実験所長）

「諏訪湖について」

林 正敏（諏訪野鳥の会諏訪支部）

「諏訪湖に生息する鳥類と環境の変化」



林正敏氏の講演

林 正敏氏の講演

人工なぎさ「渋崎工区」 諏訪市渋崎

既存のコンクリート波返しを盛り土で埋め込み、水際にマコモやヨシを植栽し、カラマツ丸太材で杭打ち工を実施。土砂流出防止を図り水際に寄せ石を行い、野鳥、魚類、昆虫などが寄りつくよう配慮しました。観察者のために木製のコーナーを設置しました。



なぎさの様子を身近に観察できる場を設けました

ヨシ原による浄化実験圃場

諏訪市豊田終末処理場前（現在はビオトープになっている）



ヨシを使った浄化実験圃場を見学する参加者

ヨシ原を造成し、諏訪湖水の浄化効果を調査。水路幅 2.5m、水路延長 1400m、面積 3500m² にヨシ 12 万本を移植、湖水を導入。湖水は 5 日間で水路を通過する。当時信大臨湖実験所の沖野外輝夫先生に調査を委託し、ヨシによるチッ素、リンの吸収浄化効果、水温、pH、水中溶解酸素、COD等を追跡調査した。処理場ポンプ場屋上を利用し、説明パネルを設置、見学場所として整備した。

第7回 諏訪湖チャリティー・ウォーク 平成8年（1996年）5月11日

開催日	プログラム	フォーラム	参加者	その年のできごと
平成8年 (1996年) 5月11日 晴れ	諏訪市豊田回り、 下諏訪町回りの 二手に分かれ、岡 谷市釜口水門ま で歩く	釜口水門管理棟会議室 沖野 外輝夫先生 (信州大 学理学部教授) 花里 孝幸先生 (臨湖実験 所長) 2 教授による諏訪湖 の話	130 人 ①赤羽 良夫 ②小林 茂 ③藤原 正男	・諏訪湖および天竜川上流部水 環境懇談会設立 ・「諏訪湖ふれあい渚」が日本 の渚百選に選ばれる ・第1回「マリンスポーツカー ニバルイン諏訪湖」開催

※①諏訪建設事務所長 ②実行委員長 ③諏訪環境まちづくり懇談会会長

・ごみ拾いを実施

7 回続けて参加した人の感想「諏訪にとって八ヶ岳は父親、諏訪湖は母親。父母を大切にしない人はいない。諏訪湖も、年々、湖周が整備されてきて、これからは、湖周から湖中に関心が集まり、諏訪湖は今まで以上の早さで綺麗になっていくと期待しています。また、護岸も人工なぎさなどでコンクリートから土になって歩きやすくなっているがごみは相変わらず多い。」



野外音楽堂で開会式



釜口水門にゴール

諏訪湖チャリティーウォーク 親子連れら130人参加 散策で環境浄化認識

諏訪湖環境まちづくり懇談会、全国自治体教育学会（JALET）諏訪支部主催、市民新聞グループ後援の第七回諏訪湖チャリティーウォークが十一日、諏訪市野田地区の釜口水門をスタート地点に行われ、大勢の親子連れらが、湖畔散策を楽しみながら環境浄化への認識を高めた。

昨年を上回る約百三十人が参加、関心の高まりを物語る。岡谷市の釜口水門に向けて豊田回りの約八キロの道のりを歩きながら、湖畔を歩く参加者

さわやかな薫風を感じながら湖畔を歩く参加者

諏訪湖環境まちづくり懇談会、全国自治体教育学会（JALET）諏訪支部主催、市民新聞グループ後援の第七回諏訪湖チャリティーウォークが十一日、諏訪市野田地区の釜口水門をスタート地点に行われ、大勢の親子連れらが、湖畔散策を楽しみながら環境浄化への認識を高めた。

七回続けて参加した人は「諏訪にとって八ヶ岳は父親、諏訪湖は母親。父母を大切にしない人はいない。諏訪湖も、年々、湖周が整備されてきて、これからは、湖周から湖中に関心が集まり、諏訪湖は今まで以上の早さで綺麗になっていくと期待しています。また、護岸も人工なぎさなどでコンクリートから土になって歩きやすくなっているがごみは相変わらず多い。」と感想を話した。

2 教授の
話聴き勉強
午後には、会場を釜口水門管理棟に移して、前諏訪湖実験所長、現信州大学理学部教授の沖野外輝夫先生、信州大学理学部付嘱諏訪湖実験所長の花里孝幸教授がフォーラムを行った。

沖野教授らは「諏訪湖は、今、人が、自然への条件整備を進めているが、これからは、人間が完全に作るのではなく、自然に任せたい方がよいのではないかと話していた。

また、花里教授が、スライドを使って、諏訪湖の微小生物とのかわりを解説、水中写真家の堀内康久さんの諏訪湖に住む魚などをスライドで見せ、参加者たちは、身近な諏訪湖の浄化への関心を高めていた。

なお、参加者の募金は、諏訪環境まちづくり懇談会の活動資金に充てられた。

諏訪市民新聞掲載記事↑

第8回 諏訪湖チャリティー・ウォーク 平成9年（1997年）5月18日

開催日	プログラム	フォーラム	参加者	その年のできごと
平成9年 (1997年) 5月18日 晴れ	諏訪市豊田回り、下諏訪町回りの二手に分かれ、岡谷市釜口水門まで歩く	釜口水門管理棟会議室 沖野 外輝夫先生(信州大学理学部教授) 花里 孝幸先生(臨湖実験所長) 林 正敏氏(諏訪野鳥の会諏訪支部長)	100人 ①西原 義久 ②小林 茂実 ③飯田 実	・第3期諏訪湖水質保全計画(平成9年度～平成13年度)

※①諏訪建設事務所長 ②実行委員長 ③諏訪環境まちづくり懇談会会長

- ・ごみ拾いを実施
- ・新企画：諏訪湖に関する20問のクイズ(三択問題)用意。歩きながら考えてもらう。諏訪湖の水生植物やコハクチョウ、アオコの正体などにかかわる問題を解き、環境への理解を強くしてもらう。質問、解答は日英のバイリンガルで行う。



湖畔で開会式



釜口水門近くの噴水



さわやかな風を感じながら湖畔を歩く参加者

環境浄化への認識深め 諏訪湖チャリティーウォーク

諏訪湖まちづくり懇談会、全国語学教育学会(JALTE)諏訪支部主催、市民新聞「ループ」協力・後援の第8回諏訪湖チャリティーウォークが18日、岡谷市の釜口水門までを歩いた。

諏訪湖外輝夫先生、同懇談会代表の飯田実氏、岡谷市の釜口水門までを歩いた。

諏訪湖外輝夫先生、同懇談会代表の飯田実氏、岡谷市の釜口水門までを歩いた。

諏訪湖外輝夫先生、同懇談会代表の飯田実氏、岡谷市の釜口水門までを歩いた。

諏訪湖外輝夫先生、同懇談会代表の飯田実氏、岡谷市の釜口水門までを歩いた。

オコが多いのは人間が過剰な水を水に入れてくるから。アオコが増え過ぎると動物プランクトンが食べきれない」と説明。人間が(水質浄化のため)手を加えるには生体の仕組みを知ることが大切」とした。

↑ 諏訪市民新聞掲載記事



諏訪湖の環境問題を考えたフォーラム

第9回 諏訪湖チャリティー・ウォーク 平成10年（1998年）5月17日

開催日	プログラム	フォーラム	参加者	その年のできごと
平成10年 (1998年) 5月17日 雨のち晴れ	諏訪市豊田回り、下 諏訪町回りの二手に 分かれ、岡谷市釜口 水門まで歩く	釜口水門管理棟会議室 下山良平氏(茅野市米沢小学校教 諭):「カエルとの環境評価」 花里孝幸先生(臨湖実験所長)	40人 ①西原 義久 ②金子 田美 ③飯田 実	・御柱祭 ・御神渡りがみられた ・長野冬季オリンピック ・下水道溶融結晶化施設 竣工

※①諏訪建設事務所長 ②実行委員長 ③諏訪環境まちづくり懇談会会長

- ・フォーラム時諏訪湖に関するクイズプログラムが定着。
- ・フォーラム構成:「研究発表・クイズ・音楽」の3本立。
- ・環境変化に一番弱い動物の一つ、カエルを通して、環境保護を訴える。
- ・東京からの参加者も。

諏訪湖環境まちづくり懇談会(飯田実会長)と全国語学教育学会(JALT)信州支部(金子田実支部長)が、環境問題と諏訪湖浄化の願いを込めた第九回諏訪湖チャリティーウォークが十七日、諏訪市の片倉からあいなぎさから岡谷市の釜口水門までのコースで行われた。

本紙など市民新聞グループが協力・後援している同ウォークは、諏訪地域住民のシンボルでもある諏訪湖の現状を正しく認識し、湖に生息する動物の生態系などから諏訪湖浄化への意識を高めてもらい、さらには広く環境に目を向けてもらうのが狙い。

諏訪湖は下水道の普及に伴って、順次浄化は進んでいるといわれるが、それでも今日の都市体系を築き上げた繁栄のための生活雑排水をはじめ、工場排水などといった数十年間蓄積された副産物による汚染は深刻。検査精度の向上もあるが諏訪湖からはタイオキシソ類が検出されるなど、依然として「きたない湖」という認識をめぐり、いまだに「変な湖」といわれる。飯田実会長やJALT金子田支部長らが「変わ

諏訪湖の現状正しく認識

チャリティーウォークに40人



最近な環境に目を向けながら歩く

つつある諏訪湖を巡りながら最も身近な環境を知る機会に「なご」とあいさつしたあと、豊田、渡回りのAコースと下諏訪側からのBコースの二班に分かれ、約四十人がウォーキング。朝方まで強い雨が降り続いていたものの、熱心な参加者の歩みを応援するかのようになり、参加者たちは雨で洗われた新緑の木々など、オゾンをたっぷり吸い込みながら笑顔で釜口水門を目指していた。

釜口水門でフォーラム

釜口水門管理事務所では、諏訪湖の環境浄化をテーマにしたフォーラムが開かれ、カエルの研究を続けている茅野市米沢小学校の下山良平教諭と、諏訪湖実験所長の花里孝幸博士が、九種類のカエルを、スライド写真と鳴き声の

それぞれの研究成果をもとに環境問題について語った。

下山教諭は「カエルとの環境評価」の演題で講演し、諏訪地方でこれまでに確認されたカエルの種類を、スライド写真と鳴き声の



フォーラムの席上で募金を寄付

チャリティー募金
まち恋に寄付
講演後、参加者から募ったチャリティー募金一万九千七百六十九円を、諏訪湖環境まちづくり懇談会の活動資金に寄付した。

テープで紹介。環境との関係について「カエルは環境変化に一番弱い動物で、ほ場整備された田んぼや宇津の用水路では絶滅してしまう種類もいる」と述べ、カエルを通して環境保護の重要性を訴え

諏訪
市民新聞

発行所
〒392-0016 諏訪市豊田文出
諏訪市民新聞社
電話 代表52-3400
FAX 57-0117
◎諏訪市民新聞社 1998
定価1カ月1,280円
1冊50円(税込)

本紙を志願する取次店
浜 新 興 電話52-1107
毎日新聞専売店 電話52-1873
読売新聞サービス 電話58-5347

諏訪市民新聞掲載記事→

第10回 諏訪湖チャリティー・ウォーク 平成11年（1999年）5月16日

開催日	プログラム	フォーラム	参加者	その年のできごと
5月16日 早朝まで雨 のち薄日	諏訪市豊田回り、 下諏訪町回りの二 手に分かれ、岡谷 市釜口水門まで歩 く	釜口水門管理棟会議室 花里孝幸先生（臨湖実験所長）： 諏訪湖の御神渡りと地球温暖化 の関係等。	約60人 ①桜井忠彦 ②金子田美 ③飯田 実	・イベント「諏訪湖 の巨大うなぎ〜す わ湖太郎を捜せ」を 開催 平成11年4 月3日～6月30日

※①諏訪建設事務所長 ②実行委員長 ③諏訪環境まちづくり懇談会会長

「泳げる諏訪湖から飲める諏訪湖へ」を提言。ANPIEより国際交流活動支援の資金援助



開会式



歩く頃には雨もあがりました

諏訪湖浄化の願い込め
10回目チャリティーウォーク

諏訪湖浄化の願い込め、毎年この時期に開催している。また、本紙など民新グループが、

カ、後援しているものとして、諏訪湖の現状を正しく認識し、湖に悪影響を及ぼすような行為を、ウオークを通して、意識を高めてもらい、広く環境に目を向けようという思いが込められている。このあと、豊田と諏訪のAコース（約8キロ）と下諏訪からBコース（約8・五キロ）の二手に分かれ、ウオーク。諏訪地方

何かが差し違えれば、小さな生物が大勢なメダカを送っているような気がする。ウオークを通して、改めて感じさせられることだ。

今年で10回目を数える諏訪湖チャリティーウォークが16日、諏訪市の片倉ふれあい広場から岡谷市の釜口水門まで行われた。

諏訪湖浄化の願い込め
10回目チャリティーウォーク

水辺観察で現状正しく認識

今年で10回目を数える諏訪湖チャリティーウォークが16日、諏訪市の片倉ふれあい広場から岡谷市の釜口水門まで行われた。



下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会
諏訪湖浄化ポスター最優秀賞
下諏訪南小学校6年 宮下 翔太くん

お神渡りと温暖化
関係を花里氏語る
ウォーク後にフォーラム

諏訪湖の生態系について語る花里さん

「泳げる諏訪湖から飲める諏訪湖へ」を提言。ANPIEより国際交流活動支援の資金援助

「泳げる諏訪湖から飲める諏訪湖へ」を提言。ANPIEより国際交流活動支援の資金援助

諏訪市民新聞掲載記事→

第12回 諏訪湖チャリティー・ウォーク 平成13年（2001年）5月27日

開催日	プログラム	フォーラム	参加者	その年のできごと
平成13年 (2001年) 5月27日 小雨	日独セミナーとの関係で、参加者全員が時計回りにて岡谷市釜口水門まで歩く。(反時計回り実施しなかった)	岡谷市下浜区民センター セミナー講師： クラス・ブック・シュテーク氏、グドロー・カンプ氏、 リヒルト・シュナイダー氏、県国際交流員：クリ ステーナ・ワイクケト氏を交え住民と意見交 換。 戦前から現在までの諏訪湖の様子を プロジェクトで解説。田代幸雄氏	120人 ①北原正義 ②金子田美裕 ③有賀 裕	・第1回「湖沼浄化 シンポジウム」開 催

※①諏訪建設事務所長 ②実行委員長 ③諏訪環境まちづくり懇談会会長

10年前の日独セミナーに参加したドイツ人講師：10年ぶりに見た諏訪湖の様子について「自然に戻したところにプラスチックのごみがたくさん落ちていた。川の上流に住んでいる人の協力が必要。」「釣り人が再自然化した湖岸に勝手に釣り場を作ったり、車を駐車したりしていた。対策が必要」富士見高等学校環境保護クラブの生徒が参加、講師達と活発な意見交換をした。



ドイツ人講師との活発な意見交換がされました

諏訪湖の現状正しく認識

チャリティーウォークに120人

第12回諏訪湖チャリティーウォークが二十七日、諏訪市片倉ふれあい広場から岡谷市の釜口水門まで、あられあいなぎら岡谷市で行われた。あコースで行われた。いにく小雨交じりのターゲットとなったが、年より多い約百二十人が参加し、野外音楽を起息に時計回り(釜田→釜口水門)のハ、をゆくり歩いた。諏訪環境まちづくり懇談会(有賀裕会長)と全国高等学校連合会、JAL(信州(幸)諏訪方面から向うコ

田美会長が主催し、市民協グループが協力、後援する岡谷市の釜口水門までのコースで行われた。あコースで行われた。いにく小雨交じりのターゲットとなったが、年より多い約百二十人が参加し、野外音楽を起息に時計回り(釜田→釜口水門)のハ、をゆくり歩いた。諏訪環境まちづくり懇談会(有賀裕会長)と全国高等学校連合会、JAL(信州(幸)諏訪方面から向うコ

「スも設するが、今回は一回になって豊田方面に向かった。開会式で、まち懇の有賀会長は「母なる諏訪湖の周囲の環境については、ドイツ人講師



傘や雨衣を交えて元気に歩く参加者たち



下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会
諏訪湖浄化ポスター最優秀賞
下諏訪南小学校4年 守屋 遼太さん

からも「数年前に比べて良くなった」と評価され、うれしい。雨も吹き飛ばすような楽しいウォークを、「JAL(信州(幸)諏訪方面から向うコ」の催しを通じて皆さんにも何かを傳へてほしいと呼び掛けた。

セミナー講師に招かれたクラス・ブック・シュテーク氏、グドロー・カンプ氏、リヒルト・シュナイダー氏、県国際交流員クリステーナ・ワイクケト氏、岡谷市下浜区民センターウォークを企画された約八十人が参加、戦前から現在までの諏訪湖の様子ウォークの感想を後、諏訪湖の現状について話し合った。

講師たちがウォークの感想について話し合ったフォーラム

ドイツ人講師の三人は十年ぶりに見た諏訪湖の様子について「自然に戻した所にプラスチックのごみがたくさん落ちていた。川の上流に住んでいる人の協力が必要。」「釣り人が自然に戻した所に入り、車を駐車してあったので、対策をえなといかない。など、諏訪湖の浄化、環境整備について話した。

市民新聞掲載記事→

第14回 諏訪湖チャリティー・ウォーク 平成15年(2003年)5月3日

開催日	プログラム	フォーラム	参加者	その年のできごと
平成15年(2003年)5月3日 絶好のウォーキング日和	諏訪市豊田回り、下諏訪町回りの二手に分かれ、岡谷市釜口水門まで歩く	釜口水門管棟会議室 宮原裕一先生(信州大学山地水環境教育センター) 環境ホルモンの基礎知識や諏訪湖のダイオキシン汚染の実態を解説。 コンサート:三浦久氏(フォークシンガー)のギターで合唱も楽しむ	80人 ①北原正義 ②金子田美裕 ③有賀	・御神渡りが見られた ・諏訪湖の浚渫は平成15年度以降中止

※①諏訪建設事務所長 ②実行委員長 ③諏訪環境まちづくり懇談会会長

- ・釜口水門施設見学
- ・ウォークの参加者に一昨年の1月、東京新大久保駅で人を助けようとして亡くなったイ・スヒョンさんの知人がいたことから、三浦久氏オリジナル曲の中からイ・スヒョンさんにささげる歌を披露。

山の手線新大久保駅の事故の内容とその後

東京都新宿区のJR山手線新大久保駅で平成13年(2001年)1月、ホームから転落した男性を助けようとした韓国人留学生の李秀賢(イ・スヒョン)さん(当時26歳)とカメラマンの関根史郎さん(同47歳)が線路に降り、3人とも亡くなった。

この事件を題材とした『あなたを忘れない』は日韓友情年2005の記念事業として映画化された。外務省の要望により天皇皇后両陛下が出席するなど、政治的な話題が多い映画であった。公開は事故から6年と1日後の2007年1月27日。韓国では2008年10月30日に公開された。

同駅には平成25年9月、事故から12年を経てホームドアが設置された。そして、李さんの両親が10月17日、9月にホームドアが設置されたばかりの同駅を訪れ、李秀賢さんと関根史郎さんの顕彰碑に献花した。



下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会
諏訪湖浄化ポスター最優秀賞
下諏訪南小学校6年 早出 泰基さん

浄化の進む湖眺めてゆつくりと
諏訪湖チャリティーウォークに80人

悪風を浴びながら諏訪湖畔を歩く参加者

国立安曇県立環境問題研究所(以下「研究所」)の「諏訪湖チャリティーウォーク」は初参加のメンバーとして、下諏訪町立環境教育センター(以下「センター」)の職員や、市民有志など、約80人が参加した。この日は、諏訪湖の清掃活動や、環境教育の推進を目的とした。ウォークの目的地は、釜口水門に到着した。参加者は、高木町の管理区内を歩き、ウォークに参加した約90人が、ウォークの目的を語り、三浦久氏(フォークシンガー)のオリジナル曲の中、イ・スヒョンさんの歌を披露した。三浦久氏は、ウォークの参加者から、イ・スヒョンさんの歌を披露する機会をもち、イ・スヒョンさんの歌を披露した。イ・スヒョンさんの歌を披露した。イ・スヒョンさんの歌を披露した。

信州大学環境学部の三浦久氏(フォークシンガー)のコンサートもあつたフォーラム

↑ 諏訪市民新聞掲載記事

第18回 諏訪湖チャリティーウォーク 平成19年(2007年)5月3日

開催日	プログラム	フォーラム	参加者	その年のできごと
平成19年(2007年)5月3日 さわやかな五月晴れ	諏訪市豊田回り、下諏訪町回りの二手に分かれ、岡谷市釜口水門まで歩く。	岡谷市下浜区民センター「池の中の小さな生き物の大きなはたらき」村上智岐氏(信大博士課程1年生) 二胡演奏：龍鉄鋼氏	100名 ①平沢 清 ②カールス・フレッド ③沖野外輝夫	・第5期諏訪湖水質保全計画(平成19年度～平成23年度) ・諏訪湖クラブ発足

※①諏訪建設事務所長 ②実行委員長 ③諏訪湖クラブ会長



二胡演奏:龍 鉄鋼氏

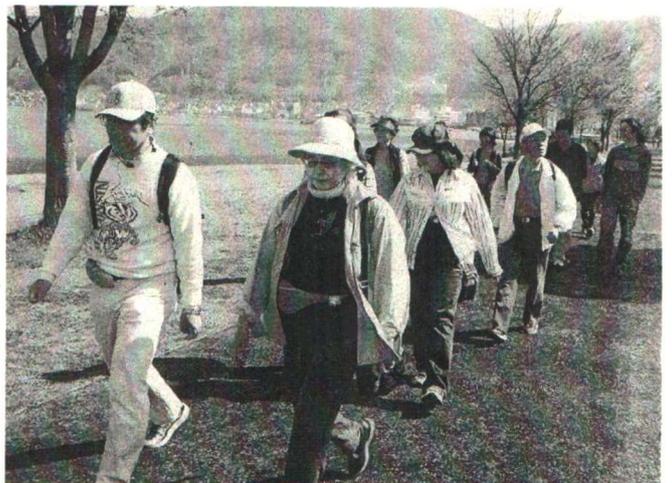


歩いて環境問題に理解

約100人が交流深め 諏訪湖チャリティーウォーク

諏訪市野外音楽堂での開会式に続き、参加者は二グループに分かれ、約八ヶ先の釜口水門に向けて出発。同懇談会長で信大名教授の沖野外輝夫さん、信大教授の花里孝幸さんの案内で、浄化が進む諏訪湖の現状に理解を深めた。学生による水質調査の様子も見学した。

沖野さんは「本年度は向こう五年間にわたる諏訪湖水質保全計画



五月晴れの下、薫風を受けながら湖畔を進む参加者

が策定されるが、水質浄化がある程度進んだ。地域住民の一層の協力が必要」と話していた。

同支部の呼びかけで参加した半教近くは外国人。湖上を吹き抜ける薫風を受けながらゆつくり歩を進めた参加者は「すこく気持ち

いい。楽しい」と笑顔を浮かべ、交流を広げている。また参加してみたい」と感想を話していた。募金も集め、同懇談会の活動資金にあてられる。



下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会
諏訪湖浄化ポスター最優秀賞
下諏訪南小学校3年 林 咲穂さん

↑ 諏訪市民新聞掲載記事

第19回 諏訪湖チャリティーウォーク 平成20年（2008年）5月3日

開催日	プログラム	フォーラム	参加者	その年のできごと
平成20年 (2008年) 5月3日 晴れ	諏訪市豊田回り、下諏訪町回りの二手に分かれ、岡谷市釜口水門まで歩く。	岡谷市下浜区民センター 「諏訪湖の健康診断」今井晶子氏（信大博士課程1年生） ジャズ演奏：諏訪東京理科大学「JAZZ研究会」	154名 ①八幡義雄 小口俊 (下浜区長) ②カース・フレッド ③沖野外輝夫	・諏訪湖水陸両用バス運行 ・諏訪湖浄化等推進協議会発足

※①諏訪建設事務所長 ②実行委員長 ③諏訪湖クラブ会長

フォーラム：12:10～13:35（於：岡谷市下浜区民センター）

研究発表：「諏訪湖の健康診断」今井 晶子氏（信州大学大学院修士課程1回生）

ジャズ演奏：諏訪東京理科大学「JAZZ研究会」

目的：国際交流と環境問題への意識の高揚を目指す

参加者：154名

寄付金：36,983円（帰路の乗船代他、諏訪湖浄化の活動資金）

諏訪湖畔にある諏訪市野外音楽堂に集合し、開会式終了後、午前9時より、参加者それぞれが岡谷市湊方向（時計回り、約8km）と下諏訪方向（反時計回り、約8.5km）の二方向に分かれて歩き始める。参加者同士交流しながら、沖野先生、花里先生、宮原先生の3講師を中心に、さらに信州大学の学生さん達とともに諏訪湖の観察をしながら歩く。花里班はキーポイントの1つであるビオトープでの生物の様子を解説。宮原班は要所、要所にて水質検査を行う。持ち帰って早速に検査をするためバケツに水を入れて歩く学生たち。子供の参加が多かったので、沖野先生のアドバイスに従い、歩く速度に注意。いろいろ教えてもらいながらの観察歩き、「こんなに楽しく歩けたのは初めて」という嬉しいご意見がアンケートにありました。環境の勉強と国際交流をしながらの諏訪湖半周、講師の先生方や学生先生もひっぱりだこでフォーラム開始が10分遅れてしまいましたが、全員無事フォーラム会場に到着。12時10分より、下浜区民センターにてフォーラム開始。恒例の諏訪建設事務所長の八幡 義雄氏に加え、今回は下浜区長の小口 俊氏にもご挨拶いただく。今後も諏訪建設事務所のご協力はもとより、下浜区の皆様のご協力を大いに期待したいと思います。

フォーラムは3部構成。

第1部は、信州大学山岳科学総合研究所で学ぶ信州大学大学院修士課程1回生の今井 晶子さんが「諏訪湖の健康診断」と題して研究発表。諏訪湖の健康状態を知る1つの手だてとしての水の温度を中心に、湖水の流れの変化や、それらの水草や生き物への影響等を、20分という短い時間でしたが、パワーポイントを使って、小さな子供たちにも分かりやすく説明。後で「試験？」があるので聴く皆も真剣でした。第2部は、研究発表を基にした「クイズ」。実はこれが「試験」。英語と日本語のバイリンガルで全員が挑戦。3択問題の勝ち残り戦。毎回市民新聞社様からご寄付のステキな賞品の「盾」を目指して奮闘、楽しくかつ有意義な時間です。

第3部は演奏会。今回は諏訪東京理科大学「ジャズ研究会」の仲間達9名。迫力ある演奏を聴かせてくれました。楽器の搬送、学生達の送迎等、理科大の藤瀬先生と清藤先生、ご苦労さまでした。ありがとうございました。会場にピアノがあったことも幸いでした。ジャズ演奏をより効果的にしてくれました。14時10分に白鳥丸にて帰諏訪。5月晴れの薫風の中、360度のすばらしい景色を眺めながら、湖上より今一度諏訪湖を観察しました。

「環境の学習」も、「楽しく国際交流」も、と欲張りなこの諏訪湖チャリティーウォーク、上記内容で19回も無事開催できました。皆様、ご協力、本当にありがとうございました。

今回は小学生ぐらいの子供さんたちの参加が目立ちました。家族ぐるみでの参加は諏訪湖チャリティーウォークの趣旨が、確実に次世代へつなげられていることの証だと思えます。また、初めてブラジル

の方たちも参加。お陰様で「人」と「人」の「温かい出会い」も確実に広がっています。感謝！感謝！
 来年は20周年。JALT(全国語学教育学会)信州支部では記念植樹の計画も立てています。どんな木がよいのか等、諏訪湖クラブのみなさんからもお知恵やご意見をいただけると嬉しいです。



開会式に集まった参加者



開会式の様子

初夏の風感じて
 約160人が環境問題考えつつ諏訪湖チャリティーウォーク

諏訪市湖群公園の野外音楽堂で開会式。諏訪湖クラブ会長で信大名誉教授の沖野外輝夫さんは「ここから正面奥に見える穂高連峰など、諏訪湖からの遠景もまた素晴らしい。ゆっくり歩きながら楽しんで」とあいさつ。参加者は時計回りとの逆回りのコースに分かれ、約八ヶ先の釜口水門に向けて出発。信大教授の花里孝幸さんらの案内で、浄化が進む諏訪湖の現状に理解を深めた。学生による水質調査の様子も見学した。

今回は子どもも多数参加が目立った。濃さを増す湖周の緑や花々も目に入れ、湖上を吹

諏訪市湖群公園の野外音楽堂で開会式。諏訪湖クラブ会長で信大名誉教授の沖野外輝夫さんは「ここから正面奥に見える穂高連峰など、諏訪湖からの遠景もまた素晴らしい。ゆっくり歩きながら楽しんで」とあいさつ。参加者は時計回りとの逆回りのコースに分かれ、約八ヶ先の釜口水門に向けて出発。信大教授の花里孝幸さんらの案内で、浄化が進む諏訪湖の現状に理解を深めた。学生による水質調査の様子も見学した。

今回は子どもも多数参加が目立った。濃さを増す湖周の緑や花々も目に入れ、湖上を吹

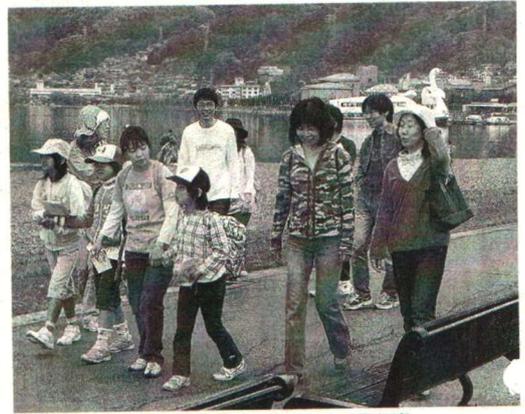
諏訪市湖群公園の野外音楽堂で開会式。諏訪湖クラブ会長で信大名誉教授の沖野外輝夫さんは「ここから正面奥に見える穂高連峰など、諏訪湖からの遠景もまた素晴らしい。ゆっくり歩きながら楽しんで」とあいさつ。参加者は時計回りとの逆回りのコースに分かれ、約八ヶ先の釜口水門に向けて出発。信大教授の花里孝幸さんらの案内で、浄化が進む諏訪湖の現状に理解を深めた。学生による水質調査の様子も見学した。

今回は子どもも多数参加が目立った。濃さを増す湖周の緑や花々も目に入れ、湖上を吹

諏訪市民新聞掲載記事→



水辺で学習会



気持ちよさそうに湖畔を歩く参加者



下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会
 諏訪湖浄化ポスター最優秀賞
 下諏訪南小学校6年 山口 留以さん

第20回 諏訪湖チャリティーウォーク 平成21年(2009年)5月3日

開催日	プログラム	フォーラム	参加者	その年のできごと
平成21年 (2009年) 5月3日 さわやかな五月晴	記念植樹をするため参加者全員時計回りにて釜口水門で昼食	岡谷市下浜区民センター「ミジコたちの多様な生存戦略」信大大学院博士課程1年 君島 祥 下諏訪向陽高校吹奏楽部	164人 ①八幡義雄 ②カールス・フレッド ③沖野外輝夫	下水汚泥より金の回収で国道交通省大臣表彰受ける 下水道供用開始30周年記念式典

※①諏訪建設事務所長 ②実行委員長 ③諏訪湖クラブ会長

諏訪湖畔にある諏訪市野外音楽堂に集合し、開会式終了後、午前8時40分より、参加者全員岡谷市湊方向(時計回り、約8キロ)に歩き始める。今回は20周年ということで、途中で記念植樹をするため、例外的に一方向にのみ歩いた。参加者同士交流しながら、沖野先生、花里先生、宮原先生の3講師を中心に、さらに信州大学の学生さん達とともに諏訪湖の観察をしながら歩く。暑すぎず、寒すぎずの最高のウォーク日和。各講師と学生さんたちには名札をつけてもらう工夫もして良かった。専門分野も書いてあり、より学習的なウォーキングになったことでしょう。宮原班は要所、要所にて、水質検査を行うバケツ持参。

10時30分より11時まで、SUWA ガラスの里より100メートルほど岡谷方向で記念植樹をおこなう。ヤマボウシ2本、りんご2本。花も実も楽しめるようにと選ばれました。諏訪植木の折井 俊美様の全面的なご協力のもとに実施できました。折井氏には、事前に土質確認、また穴掘りとご尽力いただき、そして立派なヤマボウシの木のご寄付等々、本当にお蔭さまでした。「植樹がよかった。」という声に参加者から多く聞かれました。あらためてお礼申しあげます。

12時30分より、下浜区民センターにてフォーラム開始。諏訪建設事務所長の八幡 義雄氏の挨拶で始まりました。今回は来年の御柱の伐採のため、下浜区長、副区長ともご不在で、ご挨拶いただくことができませんでしたが、お二人や下浜区の全面的なご協力のもとに、あの立派な下浜区民センターを格安で利用させていただけていますことをご報告させていただきます。今後も諏訪建設事務所のご協力のもとより、下浜区の皆様のご協力を大いに期待し、お願いしたいと思います。フォーラムは3部構成。最初に信州大学山岳科学総合研究所で学ぶ信州大学大学院博士課程1年生の君島 祥さんが「ミジコたちの多様な生存戦略—諏訪湖の生き物たちの相互関係—」と題して研究発表。諏訪湖の中で、小さな、小さな動物たちの知られざる攻防を分かりやすく、楽しくお話しいただきました。20分という短い時間でしたが、一生懸命メモをとっている小学生らしい子供さんも見られました。すばらしい!

第2部は、研究発表や歩きながら観察してきたことを基にした「クイズ」。英語と日本語のバイリンガルで全員が挑戦。3択問題の勝ち残り戦。毎回市民新聞社様からのご寄付のステキな賞品の「盾」を目指して、楽しくかつ有意義な時間です。宮原先生、毎回クイズ作りありがとうございます。最後は演奏会。今回は下諏訪向陽高等学校吹奏楽部、23名の皆さん。県下でも優秀な演奏で知られているだけあって、参加者全員を魅了する迫力あるものでした。顧問の桜井啓也先生の細かい選曲への配慮もあり、全員が楽しめました。下諏訪向陽高等学校吹奏楽部のレパートリーの広さにも感服。「もっと聞きたかった」、「よかった」、「楽しかった」という声も多く寄せられています。なお、この演奏の実現は、たくさんの楽器搬送を無償で買って出てくださいました諏訪湖クラブ理事の小池 大洋様(スワリク)のご尽力の結果でありますことも、改めて感謝をもってご報告させていただきます。14時40分に白鳥丸にて帰諏訪。5月晴れの薫風の中、360度のすばらしい景色を眺めながら、湖上より今一度諏訪湖を観察。

「環境の学習」も、「楽しく国際交流」も、と欲張りなこの諏訪湖チャリティーウォーク、上記内容で記念すべき第20回も無事開催できました。皆様、ご協力、お力添え本当にありがとうございました。今年は特に小さな子供さんたちの参加が目立ちました。全員が無事、保険を使う事故も無く、楽しく歩けたことが何よりです。家族ぐるみでの参加は諏訪湖チャリティーウォークの趣旨が、確実に次世代へつなげられていることを感じさせてくれ、本当に嬉しいです。また、皆様から寄せられた貴重なご寄付ですが、最高額となりました。本当に感謝です。その中には、4月26日の総会の折に、「当日参加はできないが」とか、当日「歩けないが」、と手渡してくださったものも含まれております。個々の金額は差し控えさせていただきますが、最高額になる大

きな要因です。これまた、諏訪湖チャリティーウォークの趣旨への理解が少しずつ、少しずつ、広まっているという事実でしょう。有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

アンケートの回答から毎回参加とか、数回参加という方も少なくないことが分かります。以下に、アンケートの中のご意見のいくつかをご紹介します。

「自然と学習と演奏 すばらしい一日になりました」(55歳 男)

「諏訪湖に初めて来て、ウォークでさまざまなものが見られ、話が聞けてよかった。フォーラムでは勉強になる事と子供も参加できるゲームが良いと思う」(39歳 男)

「湖のまわりを歩いて新しい発見があってよかったです。りんごの木を植えたのが楽しかった」(14歳 女)

「観光と自然保護の両立は難しいと改めて感じた」(48歳 男)

「8kmも歩くのなんて・・・ものすごく大変だったけれど、みんなと話をすることや楽しいことだらけでうれしかった。」(9歳 女)

「天候に恵まれ、子供と楽しく歩けました。子供は遊覧船に大喜びでした」(38歳 女、5歳 男)

「心にのこる思い出になりました」(69歳 男)

「年に数回おこなってほしい」(68歳 女)

「ウォーキングも半周、8kmと参加しやすく、フォーラムも分かりやすかった」(67歳 女)

「開会式でもっとしっかり紹介すれば良いと思いました」(10歳 女)

ほか、上記でも述べましたが、下諏訪向陽高等学校吹奏楽部の演奏、記念植樹がよかったというご意見が多数ありました。



記念植樹は実のなる木が良いとの意見が多く、諏訪植木の折井さんのご指導もあってヤマボウシ2本とリンゴを2本植えることにしました。木の選定や植樹の段取りなど折井さんには大変お世話になりました。

植栽の位置図



ヤマボウシの花と実



リンゴの花と実

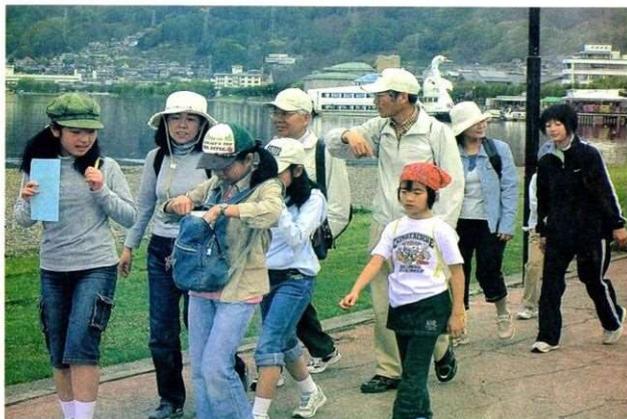


20周年を記して植樹したヤマボウシを前に記念撮影をしました



第20回 諏訪湖チャリティーウォーク

諏訪湖の自然と歴史を、
 歩いて楽しむ。今年も、市民新聞グループが主催する「第20回 諏訪湖チャリティーウォーク」が、5月2日(土)に開催される。今年も、市民新聞グループが主催する「第20回 諏訪湖チャリティーウォーク」が、5月2日(土)に開催される。今年も、市民新聞グループが主催する「第20回 諏訪湖チャリティーウォーク」が、5月2日(土)に開催される。



市民新聞グループが主催する「第20回 諏訪湖チャリティーウォーク」の様子

↑市民新聞掲載記事



浄化確かめウォーキング

好天のもと20回の節目

今年も、市民新聞グループが主催する「第20回 諏訪湖チャリティーウォーク」が、5月2日(土)に開催される。今年も、市民新聞グループが主催する「第20回 諏訪湖チャリティーウォーク」が、5月2日(土)に開催される。今年も、市民新聞グループが主催する「第20回 諏訪湖チャリティーウォーク」が、5月2日(土)に開催される。



信州大学花里先生のわかりやすい講義を聞き入る参加者



下諏訪向陽高校のブラスバンド演奏



下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会 諏訪湖浄化ポスター最優秀賞 下諏訪北小学校4年 渡辺 空美さん



諏訪市の野外音楽堂をスタートする参加者たち

↑諏訪市民新聞掲載記事

第21回諏訪湖チャリティーウォーク 平成22年(2010年)5月3日

開催日	プログラム	フォーラム	参加者	その年のできごと
平成22年 (2010年) 5月30日 晴れ	諏訪市豊田回り、下諏訪町回りの二手に分かれ、岡谷市釜口水門まで歩く。	岡谷市下浜区民センター 「ジンコは水質浄化の立役者」 伊澤智博氏(信大博士課程1年生) 演奏: Matsumoto Jammers	110人 ①伊藤直喜 ②マーク・ブライリ ③沖野外輝夫	・御柱祭 ・諏訪サービスエリアが恋人の聖地に選定された ・武井田川、鴨池川河口に水門設置

※①諏訪建設事務所長 ②実行委員長 ③諏訪湖クラブ会長

諏訪湖畔にある諏訪市野外音楽堂に集合し、開会式終了後、午前9時より、参加者それぞれが岡谷市湊方向(時計回り、約8km)と下諏訪方向(反時計回り、約8.5km)の2方向に分かれて歩き始める。参加者同士交流しながら、沖野先生、花里先生、宮原先生の3講師を中心に、さらに信州大学の学生さん達(13人)とともに諏訪湖の観察をしながら歩く。花里班はキーポイントの1つであるビオトープでの生物の様子を解説。宮原班は要所、要所にて、水質検査を行う。子供の参加が多かったので、沖野先生のアドバイスに従い、歩く速度に注意。子供の視線を大事に歩いてもらう。環境の勉強と国際交流をしながら、いろいろ教えてもらいながらの観察歩き。学生さん達はそれぞれ名札をつけてくださっていたので、声がかかりやすかったのではないのでしょうか。心配されたお天気も朝には気持ちよく晴れ、お昼ごろには暑いくらいとなり、参加者一同、いい汗を流せました。今回は外国人の方々の参加が多かったのも嬉しいことでした。

12時10分より、下浜区民センターにてフォーラム開始。まず始めに、諏訪建設事務所長、伊藤直喜氏にご挨拶をいただく。下浜区長の小口福三郎氏は都合で残念ながらご挨拶はいただけなかった。今後も諏訪建設事務所のご協力はもとより、下浜区の皆様のご協力を大いにお願いたします。

フォーラムは3部構成:

最初に信州大学山岳科学総合研究所で学ぶ信州大学大学院工学系研究科博士課程1年の伊澤智博氏が「ミジンコは水質浄化の立役者」と題して研究発表。諏訪湖の中の小さな生き物と諏訪湖の水質との関係を20分という短い時間でしたが、パワーポイントを使って、小さな子供たちにも分かりやすく説明。

第2部は「クイズ」。今回は「諏訪地域についての設問」知っていそうで案外知らないこと等々。英語と日本語のバイリンガルで全員が挑戦。3択問題の勝ち残り戦。毎回市民新聞社様からのご寄付のステキな賞品「盾」を目指して、楽しくかつ少し博学になれる(?)時間です。

最後はMatsumoto Jammersによる演奏会。国際色豊かなJALTメンバーたちとその友人たちで結成されていて、ギター、太鼓、ハーモニカなど、身近な楽器を使っの楽しい演奏でした。学生さんたちや、「昔学生さんたち」がリズムに合わせて身体で楽しんでいる姿が印象的でした。英語圏の人たちにはとてもとてもポピュラーな曲ばかりとのことでした。

14時30分に白鳥丸にて帰諏訪。5月晴れの薫風の中、360度のすばらしい景色を眺めながら、湖上より今一度諏訪湖を観察。

「環境の学習」も、「楽しく国際交流」も、と欲張りなこの諏訪湖チャリティー・ウォーク、上記内容で第21回も無事開催できました。毎年、家族ぐるみでのご参加があることは、諏訪湖チャリティー・ウォークの趣旨が、確実に次世代へつなげられていることの証だと思えます。皆皆様、ご協力、ご援助、本当にありがとうございました。労力、時間、お金、等々、お一人お一人が過分に提供してくださったこと、この場をお借りして、あらためて感謝させていただきます。

第21回の予定は例年どおり、2011年5月3日(憲法記念日)です。しかし、下浜区民センターの使用規定により、連続的な利用が難しくなってきていますので、開催日も含めて、再考が必要かもしれません。

身近な自然に親しむ

諏訪湖チャリティーウォーク

第二十一回諏訪湖チャリティーウォークが三日、諏訪市の片倉ふれあいなぎさ野外音楽堂をスタート地点に行われ、参加者が諏訪湖の自然を眺めながらウォーキングを楽しみ、岡谷市の下浜区民センターではフォーラムで環境について学んだ。

国際交流と環境問題への意識の高揚を目的に、NPO全国語学教育学会（JALIT）信

州支部の主催、諏訪湖クラブ共催、市民新聞グループ（七紙）など後援で毎年春に開催している。例年ゴールデンウィーク中に行っているが、今年は御柱祭のため時期をずらして実施した。

開会式で、JALITのフライアリー・マーク支部会長が「楽しい一日が過ごせるようお願いいたします」、諏訪湖クラブの沖野外輝夫会長が「足元を見ながらゆっくりと歩いてください」とそれぞれあいさつ。

このあと、百人を越す参加者が諏訪市豊田経由、下諏訪町経由のそれぞれ八・八・五キロのコースへと出発。観察ポイントでは、信州大学山岳科学総合研究所で学ぶ学生らが水質やフランクトン、ヒシなどの植物、ユスリカなどの昆虫について解



学生らの解説も聞きながら湖周を歩いた

説。参加者が身近な自然に親しんだ。

フォーラム会場では、「ミジンコは水質浄化の立役者」と題する修士課程の学生による講演や、JALITメンバーによる楽しいバンド演奏も行われ、世

→ 諏訪市民新聞掲載記事



下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会
諏訪湖浄化ポスター最優秀賞
下諏訪北小学校2年 原 大平さん



下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会
諏訪湖浄化ポスター最優秀賞
下諏訪中学校2年 細田 真莉奈さん

第22回諏訪湖チャリティーウォーク 平成23年(2011年)5月3日

開催日	プログラム	フォーラム	参加者	その年のできごと
平成23年 (2011年) 5月3日 はれ	諏訪市豊田回り、 下諏訪町回りの二 手に分かれ、岡谷 市釜口水門まで歩 く	釜口水門管理棟会議室 「ウナギは水をきれいにする？魚 と水の汚れとの関係」小林宏樹氏 (信大大学院博士課程1年生) 演奏：岡谷市立小井川小学校音楽部 (44名) 指揮：武居紀代美教諭	約200人 ①伊藤直喜 ②マーク・ブライリ ③沖野外輝夫	・「諏訪湖周まちじ ゆう芸術祭」開催 ・諏訪湖水質COD が4.0と目標4.6 をクリア

※①諏訪建設事務所長 ②実行委員長 ③諏訪湖クラブ会長

諏訪湖畔にある諏訪市野外音楽堂に集合し、開会式終了後、午前9時より、参加者それぞれが岡谷市湊方向(時計回り、約8km)と下諏訪方向(反時計回り、約8.5km)の2方向に分かれて歩き始める。参加者同士交流しながら、沖野 外輝夫先生、花里 孝幸先生、宮原 祐一先生の3講師を中心に、さらに信州大学の学生さん達(15人)とともに諏訪湖の観察をしながら歩く。花里班は例年通りキーポイントの1つであるビオトープでの生物の様子を解説。宮原班はイケチヨウガイの養殖を説明。参加者は皆その結果の出るまでに10年もの時間が必要なことに大変驚き、環境問題を考えるにはいかに気を長く、先の先を考えることの大事さを再認識しました。特に子供たちはヒシの実に大変興味を示し、また諏訪と下諏訪の間の歩道に敷かれているきれいな碎石のようなものが、実は下水処理場の汚泥処理後にできるスラグであることにびっくりしていました。小さな子供も疲れもみせず、また来年も参加したいと元気よく言ってくれました。

今年は諏訪東京理科大学システム工学科市川研究室(市川 純章先生は諏訪湖クラブ理事)の太陽光発電を利用した「二足歩行ロボットで諏訪湖一周に挑戦」のプログラムとも偶然重なり、ウォーク参加者の自然への関心をさらに高めたことと思います。

環境の勉強と国際交流をしながら、いろいろ教えてもらいながらの観察歩きはいかがでしたでしょうか。お天気も歩くにはちょうどよいくらいで、参加者一同、いい汗を流せました。

12時00分より、釜口水門管理棟会議室にてフォーラム開始。まず最初に、諏訪建設事務所長、伊藤 直喜氏にご挨拶をいただく。フォーラムは例年通り3部構成。

最初に信州大学山岳科学総合所で学ぶ信州大学大学院博士課程1年の小林 宏樹氏が「ウナギは水をきれいにする？—魚と水の汚れとの関係—」と題して研究発表。パワーポイントを使って、小さな子供たちにも分かりやすく説明。「ウナギ」はおいしいだけじゃないんですね!!!

第2部は、「クイズ」。英語と日本語のバイリンガルで全員が挑戦。3択問題の勝ち残り戦。毎回市民新聞社様からのご寄付のステキな賞品の「盾」を目指して、楽しくかつ少し博学になれる(?)時間です。

最後は 岡谷市立小井川小学校音楽部の合唱。武居 紀代美先生の指揮で、総勢44名の小学生の皆さんによる合唱はどの歌も心に響きました。特に最後の『未来へ』は感動!涙がでてきました。子供たちからは本当に元気をもらえますね。ありがとうございました。

諏訪湖浄化に夢を託して作られた『ブルー諏訪湖』を、エピソードを交え、譜面作りに貢献してくださった五味昭人先生の指揮で全員で歌えたことも今年の収穫です。あらためて故藤原正男様、飯田 実様のご冥福をお祈りいたします。作詞者MMMの残るお一人矢島 恵様にはご多忙の中ご参加くださり感謝です。

午後2時10分に白鳥丸にて帰諏訪。5月の薫風の中、360度のすばらしい景色を眺めながら、湖上より今一度諏訪湖を観察。

「環境の学習」も、「楽しく国際交流」も、と欲張りなこの諏訪湖チャリティーウォーク、上記内容で第22回も無事開催できました。フォーラムでは、難しい話も適切な長さで、子供たちは最後まで目を輝かせて積極的にクイズにも挑戦してくれました。毎年の家族ぐるみでの参加は諏訪湖チャリティーウォークの趣旨が、確実に次世代へつなげられていることの証だと思います。今年は11年ぶりに釜口水門管理棟会議室にてフォーラムが開催できました。会議室からは諏訪湖が一望でき、諏訪湖チャリティーウォークにふさわしい会場です。これは諏訪建設事務所の関係者の皆様がたのご理解と北原 正義氏(諏訪湖クラブ理事、前諏訪建設事務所長)と田代 幸雄氏(諏訪湖クラブ会員、県職員)のお二人が警備にあたってくださったお蔭です。

皆皆様、ご協力、ご援助、本当にありがとうございました。労力、時間、お金、等々、お一人

お一人が過分に提供して下さったこと、この場をお借りして、あらためて感謝申し上げます。

第23回の予定は例年どおり、2012年5月3日（憲法記念日）です。今からは是非ご予約に入れておいていただければ幸いです。



開会式参加者たち



フォーラムは小井川小学校音楽部の皆さん（当日41名参加）でしめくりしました。



石彫公園を出発する参加者

このあと、下諏訪回りと諏訪市豊田回りの二コースに分かれてウォーキングを開始。途

第二十二回諏訪湖チャリティーウォークが、途中では信州大学三訂、諏訪市の片倉ふれあいなぎ野外音楽堂をスタート地点に行われ、参加者が諏訪湖のようすを眺めながら

後援で毎年春に開催している。ことしも百人を超す参加者があり、親子連れの姿も多かった。

諏訪湖チャリティーウォークに100人超

湖畔歩き、環境考える

中ではクリーンレイク諏訪や金口水門を見たり、研究所が実験しているバイオトープ池やイケチョウ貝養殖の現場も訪れ、花里孝幸研究所長らや学生から説明を聞いた。

棟会議室でフォーラムを開き、修士課程の学生が「ウチキは水をきれいにする。魚と水の汚れの関係」と題する研究発表をしたり、岡谷市小井川小音楽部の演奏を聴いたりした。

↑ 諏訪市民新聞掲載記事



下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会
諏訪湖浄化ポスター最優秀賞下諏訪南小学校
5年 溝口 宗一朗さん



諏訪湖の歌「ブルー諏訪湖」を軽快に歌いました。右端は、合唱の指導者;武居 紀代美先生

第23回諏訪湖チャリティーウォーク 平成24年(2012年)5月3日

開催日	プログラム	フォーラム	参加者	その年のできごと
平成24年 (2012年) 5月3日 晴れ	諏訪市豊田回り、下諏訪町回りの二手に分かれ、岡谷市釜口水門まで歩く	釜口水門管理棟会議室 「二枚貝が水をきれいにする？」 吉田知可氏(信大博士課程2年生) 演奏: MUSI3によるギターと歌 特別出演: エディ・レイノルズ氏(蚤虹英語塾講師) 司会: 松木祐基子氏	60人 ① 河西明彦 小口俊 (下浜区長) ② マーク・ブライリ ③ 沖野外輝夫	<ul style="list-style-type: none"> ・御神渡り ・諏訪湖水質保全計画(平成24年度~平成28年度) ・片倉館国指定重要文化財指定 ・諏訪湖環境改善行動会議発足 ・横河川河口に横河川白鳥橋完成

※①諏訪建設事務所長 ②実行委員長

朝6時ころ曇り空。嵐のような雨、風、という天気予報が徹底していたので、覚悟をしてきました。ところが、ところがです。予報は大外れ！皆さんが集まるころには青空まで見えてきました。前日にはフォーラムだけを行うクリーンレイク諏訪の会議室を下見。フォーラム時での演奏者も会場確認にきてくださり、最悪の事態に備えました。が、無駄に終わるとい嬉しい誤算。一日中暑いくらいの好天に恵まれ最高のウォーク日和となりました。さすが！みなさんの日頃の・・・ですね。

諏訪湖畔にある諏訪市野外音楽堂に集合し、開会式終了後、午前9時より、参加者それぞれが岡谷市湊方向(時計回り、約8km)と下諏訪方向(反時計回り、約8.5km)の2方向に分かれて歩き始める。チャリティーウォークの参加者であることがお互いわかるように今年は黄色のヒモを参加者につけていただいた。

参加者同士交流しながら、沖野 外輝夫先生、花里 孝幸先生、宮原 祐一先生の3講師を中心に、さらに信州大学の学生さん達(13人)とともに諏訪湖の観察をしながら歩く。ふだん見過ごしやすい足元を特によく見て！という開会式での沖野先生のアドバイス。アオコと似ているが今諏訪湖に見られるのは松の花粉とのこと。花里班は例年通りキーポイントの1つであるピオトープでのミジンコなどの生物の様子を解説。プランクトンネットを利用して具体的に観察。イケチョウガイの養殖は下諏訪沖のいけすで行われている。今年は養殖実験開始2年目。フォーラムでの研究発表を楽しみに歩く。

12時00分より、釜口水門管理棟会議室にてフォーラム開始。最初に、諏訪建設事務所長、河西 明彦氏に、最後にクリーンレイク諏訪所長の武田 政弘氏にご挨拶をいただく。

フォーラムは3部構成：

最初に信州大学山岳科学総合研究所で学ぶ福島県出身の信州大学大学院工学系研究科博士課程2年の吉田 知可氏が「二枚貝が水をきれいにする？」と題して研究発表。諏訪湖での研究についてとてもわかりやすく説明してくれた。巻貝と違って、どうして二枚貝のほうが水をきれいにするのか、二枚貝を使うメリットは？諏訪湖浄化に必要な数の計算などについてイラストがたっぷり入ったスライドを見せながら解説。例えば、1平方メートルの面積の広さは、人によってはなかなかピンと来ないのですが、畳一枚の半分ちょっと(約60%)だとイラストを使っての上手な表現。きっと小さい子供にも分かってらえたことでしょう。ちなみに、講演後のクイズで優勝したのは小学生ばかりでした。

第2部は、「クイズ」。英語と日本語のバイリンガルで全員が挑戦。3択問題の勝ち残り戦。毎回市民新聞社様からのご寄付のステキな賞品の「盾」を目指して、楽しくかつ少し博学になれる(?)時間です。

最後は MUSI3によるギターと歌の演奏。司会は松木祐基子氏、会を盛り上げてくれた。特別出演のエディ・レイノルズ氏(塾英語講師)が『Fly Me To the Moon』と『Country Road』を熱唱。最後に諏訪湖浄化に夢を託して作られた『ブルー諏訪湖』をみんなで歌う。この歌はこのウォークのテーマソングにしようということにもなっている。全員で歌う曲もいくつかあり「みんなでファンタイム」を文字どおり“楽しく”過ごす。

午後2時10分に白鳥丸にて帰諏訪。5月の薫風の中、360度のすばらしい景色を眺めながら、湖上より今一度諏訪湖を観察。

「環境の学習」も、「楽しく国際交流」も、と欲張りなこの諏訪湖チャリティーウォーク、上記内容で第23回も無事開催できました。今年は悪天候が予想され、例年の半分以下という参加者でしたが、密度の濃いものであったと思います。フォーラムでは、難しい話も子供たちにも分

かるように工夫をしていただきました。また参加者が少なかつたにもかかわらず、参加者がたくさんの方の寄付をしてくださりました。さらに谷 辰夫理事、小林 聖仁理事は不参加にもかかわらず、大口寄付をしてくださりました。また、昨年同様に今年も釜口水門管理棟会議室にてフォーラムが開催できました。会議室からは諏訪湖が一望でき、諏訪湖チャリティーウォークにふさわしい会場です。これは諏訪建設事務所の関係者の皆様がたのご理解と警備に八幡 義雄氏（諏訪湖クラブ理事、前諏訪建設事務所長）と田代 幸雄氏（諏訪湖クラブ会員、県職員）のお二人があたってくださいましたお蔭です。みなさんそれぞれがそれぞれに「時間、労力、お金」を提供してくださっています。

直接、間接に、本当に多くの方々が援助、協力をしてくださっていることをあらためて思います。すべてに対し、この場をお借りして、あらためて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

悪天候を覚悟し、前日にクリーンレイク諏訪の会議室の下見までしましたが、予報が大外れとなり最高のウォーク日和となりました。今年は、昨年から始めたイケチョウ貝の養殖の説明と例年通りのピオトープの観察もありました。

今年から、諏訪湖管理の担当が下水道課（合同庁舎内）から維持管理課（クリーンレイク諏訪内）に変更になりました。最後は武田 政弘氏（クリーンレイク諏訪所長）にご挨拶いただきました。



金子田美さんの司会進行



ピオトープでの観察会



開会式の様子



諏訪湖のほつりをウォーキングする参加者

第23回諏訪湖チャリティーウォークが3日、諏訪市の片倉ふれあいなぎ野外音楽堂をスタート地点に行われ、信州大学山岳科学総合研究所の学生らから諏訪湖の生物などの話を聞きながら、さわやかな水辺をゆつくりと歩いた。

諏訪湖チャリティーウォーク

水生生物の観察も ゆつくりと湖畔を散策

水生生物の観察も

国際交流と環境問題への意識の高揚を目的に、NPO全国語学教育学会（JALTT）信州支部の主催、諏訪湖クラブ共催、市民新聞グループ（七紙）など後援で毎年春に開催している。雨予報で参加者は例年の半数ほどの約50人だったが、予報とは異なりまずまずの天気にも恵まれた。

開会式で諏訪湖クラブの沖野外輝夫会長が「諏訪湖の水質は戻ったが、生き物ももう少し先には戻ってくるだろう。諏訪湖を見ているとそういうことが分かります」とあいさつ。信大の花里孝幸教授らからガイド役の学生の紹介が行われたあと、

途中のクリーンレイク諏訪のピオトープ池で、フランクトンを探取して観察をしたり、波打ち際で水草などの話を聞いた。集合地点の釜口水門管理棟会議室では、信大大学院修士課程2年の吉田知可さんが「一枚貝が水をきれいにする？」と題する講演を行い、参加者が諏訪湖の環境を身近で感じる一日になった。

この日参加者に募金を呼びかけ、主催者は諏訪湖保全活動資金などに充てるとしている。



下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会
諏訪湖浄化ポスター最優秀賞
下諏訪南小学校3年 今井 咲さん

諏訪市民新聞掲載記事↑

第24回諏訪湖チャリティーウォーク 平成25年(2013年)5月3日

開催日	プログラム	フォーラム	参加者	その年のできごと
平成25年 (2013年) 5月3日 晴れ	諏訪市豊田回り、下諏訪町回りの二手に分かれ、岡谷市釜口水門まで歩く	釜口水門管理棟会議室 「諏訪湖に棲むワカサギに寄生するミジンコ」戸田龍太郎氏 (信大大学院博士課程2年生) 演奏：ピアノと歌のプレゼント 宮下千恵美氏と門下生(宮田紫央氏他) 司会：宮下千恵美氏娘	約120名 ①河西明彦 ②マーク・ブライアリ ③沖野外輝夫	・御神渡り ・クリーンレイク諏訪の屋上で太陽光発電1000kwh始まる ・オリジナルフレーム切手「諏訪湖の花火」販売

※①諏訪建設事務所長 ②実行委員長 ③諏訪湖クラブ会長

朝から快晴！「24回中でもこれだけのお天気は珍しい」と開会式挨拶での沖野会長の弁。昨年に引き続きどなたかの行いがとても良かったようです。諏訪湖畔にある諏訪市野外音楽堂に集合し、開会式終了後、午前9時ごろ、三々五々、二方向[岡谷市湊方向(時計回り、約8km)と下諏訪方向(反時計回り、約8.5km)]に分かれて歩き始める。昨年同様チャリティーウォークの参加者であることがお互いわかるように黄色のヒモを参加者につけてもらった。参加者同士交流しながら、沖野外輝夫先生、花里孝幸先生、宮原祐一先生の3講師を中心に、さらに信州大学の学生さん達(12人)とともに諏訪湖の観察をしながら歩く。今年は低温気象のため、雪で真っ白になった北アルプスや富士山も見ることができた。今回は花里先生が初めて下諏訪方向へ、プランクトンを採取しながら、また、宮原先生が湊方向へ、諏訪湖の希少種の水草観察を。1週間前に撮影した資料も用意してくださり、子供たちも珍しい水草を発見することができたのではないのでしょうか。これからも諏訪湖に行って水草の成長を見ていきましょう。建設事務所(維持管理課)で用意してくださった資料がまたよくできていて、諏訪湖周辺のことがよく分かります。大事に活用させていただきます。それぞれのご準備あらためて感謝いたします。

12時00分より、釜口水門管理棟会議室にてフォーラム開始。最初に、諏訪建設事務所長、河西明彦氏にご挨拶をいただく。

フォーラムは3部構成：

最初に信州大学山岳科学総合研究所で学ぶ沖縄県名護市出身の信州大学大学院工学系研究科博士課程2年の戸田龍太郎氏が「諏訪湖に棲むワカサギに寄生するミジンコ」と題して研究発表。自らの研究についてとてもわかりやすく説明してくれた。寄生虫というあまり良い印象がないが、必ずしも悪い面ばかりでなく良い寄生虫もあることが分かり、寄生虫への一般的な印象を変えてくれた。「バイキンマン」の表現やイラストがたっぷり入ったスライドを見せたり、小さな子供たちにも分かるように努力工夫が見られ、学生さんたちの発表方法も年々上達している感じ。小さな子供たちへの研究発表は本当に難しいですからね。

第2部は、「クイズ」。英語と日本語のバイリンガルで全員が挑戦。3択問題の勝ち残り戦。毎回市民新聞社様からご寄付のステキな賞品を目指して、楽しくかつ少し博学になれる(?)時間です。生物同士の共生の重要性も自然に教えてもらっています。

最後は宮坂千恵美氏とその門下生(宮田紫央氏他)の「ピアノと歌のプレゼント」。司会は宮坂先生の娘さんで、会を盛り上げてくれました。最後にこのウォークのテーマソングとなっている諏訪湖浄化に夢を託して作られた『ブルー諏訪湖』をみんなで歌う。諏訪湖クラブ会員の有賀メアリーさんが英訳をしてくれた。プロジェクターで歌詞がみんなに分かるようにしたことも今年の工夫の一つで、参加者もより楽しく歌えたと思います。

閉会后、5月の薫風の中、360度のすばらしい景色を眺めながら、湖上より今一度諏訪湖を観察。スワン丸の出航が40分ほど遅れたが、無事帰諏訪。

「環境の学習」も、「楽しく国際交流」も、と欲張りなこの諏訪湖チャリティーウォーク、上記内容で第24回も無事開催できました。今年は特に親子で参加してくださった方々が目立ったように思います。歩きながら子供たちが湖に手を入れたり、「本当に諏訪湖に親しみながら歩いた」という印象が強いようです。年々その傾向が強くなってきていることを本当に嬉しく思います。

寄付では小学生がポケットマネーから500円も、また例年大口寄付をしてくださる理事や参加者も。感謝です。しかし目に見える金品だけではなく、目に見えない形で協力をしてくださって

いる方もたくさんたくさんいらっしゃいます。昨年同様に今年も釜口水門管理棟会議室にてフォーラムが開催できたのもその一つです。諏訪建設事務所の関係者の皆様がたのご理解、また警備の八幡 義雄氏（諏訪湖クラブ理事、元諏訪建設事務所長）と田代 幸雄氏（諏訪湖クラブ会員、県職員）、ありがとうございました。お疲れさまでした。

皆さんそれぞれがそれぞれに「時間、労力、お金」を提供してくださっています。直接、間接に、本当に多くの方々が援助、協力をしてくださっています。すべてに対し、この場をお借りして、あらためて感謝申し上げます。 本当にありがとうございました。



沖野 外輝夫氏あいさつ



信大生 戸田 龍太郎君の講演

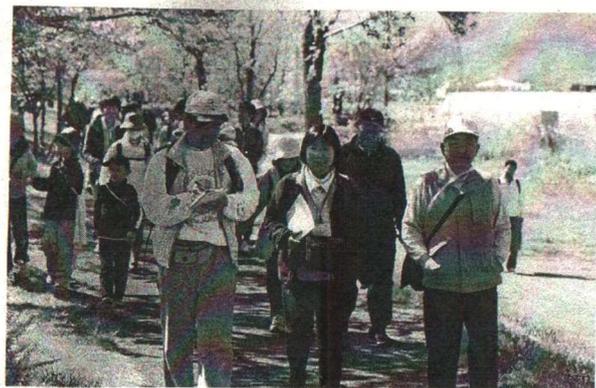


宮下 千恵美氏と門下生の歌



下諏訪棧橋で諏訪湖観察

諏訪湖半周をゆっくり歩く参加者たち



諏訪湖チャリ
ティーウォーク
第24回諏訪湖チャリ
ティーウォークが3
日、諏訪市の片倉ふれ
あいなぎさ野外音楽堂
をスタート地点に行わ
れた。すがすがしい五
月晴れが広がり、水辺
の生き物たちに目を留
めながら約1,000人が
歩を進めた。

国際交流と環境問題
への意識を高める目的
で、NPO全国語学教
育学会（JALT）信
州支部が主催し、諏訪
湖クラブが共催するイ
ベント。市民新聞グル
ープ（7紙）などの後
援で毎年春に催してい
る。

開会式で、諏訪湖ク
ラブの沖野外輝夫会長
は「天気が良いので富
士山が見えるかもしれ
ない。足元の植物もた
だの雑草ではなく、名
前のある植物と違って
歩いていただきたい」と
あいさつ。

参加者たちは岡谷市
湊を歩くAコースと下
諏訪町を回るBコース
に分かれて出発。信州
大学山岳総合研究所で
フランクトンを研究す
る花里孝幸教授、水質
が専門の宮原裕一准教
授と学生たちがガイド
役を務めた。

家族で参加した下諏
訪町鷹野町の田村まり
さんは「子どももお花
を摘んだり魚を見てい
て、ゆっくり歩いてみ
ると、車を通るときと
景色が違いますね」と
散策を楽しんだ。

集合地点の釜口水門
では、信大工学系研究
科大学院修士課程2年
の戸田龍太郎さんの講
演「諏訪湖に住むワカ
サギに寄生するミジン
コ」、宮坂千恵美さん
と宮田紫央さんのコン
サートもあり、身近な
諏訪湖にあらためて思
いを巡らせる1日とな
った。

水辺の生物や植物に目を留め
五月晴れの下 湖半周歩く



下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会
諏訪湖浄化ポスター最優秀賞
下諏訪南小学校5年 林 優希さん

諏訪市民新聞掲載記事↑

第25回諏訪湖チャリティーウォーク 平成26年(2014年)5月3日

開催日	プログラム	フォーラム	参加者	その年のできごと
5月3日 はれ	諏訪市豊田回り、下諏訪町回りの二手に分かれ、岡谷市釜口水門まで歩く	釜口水門管理棟会議室 記念講演：「諏訪湖とどうつきあう？—自然の生態系って？—」沖野外輝夫信大名誉教授 演奏：下諏訪町立下諏訪北小学校合唱部 指揮：小口智子先生	約140名 ①田代幸雄 ②有賀アリ ③沖野外輝夫	・元気な地域へ情報発信「すわまちクラブ」胎動

※①諏訪建設事務所長 ②実行委員長 ③諏訪湖クラブ会長

朝から快晴！毎回最悪時を想定はしてはああるものの25回中荒天は1回のみ。今回も素晴らしいお天気に感謝！諏訪湖畔にある諏訪市野外音楽堂に集合し、開会式終了後、午前9時ごろ、三々五々、二方向[岡谷市湊方向(時計回り、約8km)と下諏訪方向(反時計回り、約8.5km)]に分かれて歩き始める。昨年同様チャリティー・ウォークの参加者であることがお互いわかるように黄色のヒモを各自身につけてもらった。参加者同士交流しながら、沖野 外輝夫先生、花里 孝幸先生、宮原 祐一先生の3講師を中心に、さらに信州大学の学生さん達(10人)とともに諏訪湖の観察をしながら歩く。

こんなエピソードがありました。『10歳くらいの好奇心旺盛なナオキ君、学生や大人たちに「桜は何科？」など、クイズのようにどんどん質問をしながら、走りまわったり、魚を探したりと、それは、それは楽しそうに歩きました。その姿が周りの人、特に大人や学生たちを一層元気にさせ、皆笑顔いっぱいウォークを楽しみました。』

彼はどんな大人になるでしょう。少なくとも自然を大事にしようという大人になってくれるのでは・・・

このウォークの最大の良さ「大勢の子供たちの参加」も再認識でき明日に希望を感じさせてくれるお話です。

八幡義雄元諏訪建設事務所長や諏訪建設事務所今年も用意して下さった資料は見て楽しいだけでなく、諏訪湖周辺を歩く人たちにとても参考になります。今後様々なウォークにも紹介し大いに活用していただくと良いのではないのでしょうか。それぞれのご準備、あらためて感謝いたします。

12時00分より、釜口水門管理棟会議室にてフォーラム開始。最初に、諏訪建設事務所長、田代幸雄氏にご挨拶をいただく。

フォーラムは3部構成：

最初に信州大学名誉教授沖野外輝夫先生が「諏訪湖とどうつきあう？—自然の生態系って？—」と題して記念講演。大正時代から現在に至るまでの諏訪湖の様子が紹介されました。今のような堤防のなかった諏訪湖、コンクリートの岸壁で囲まれた諏訪湖、緑色の諏訪湖、等々。一目で諏訪湖の変遷が分かります。その都度の私たち人間の関わり方を映し出しているとも言えます。「将来どんな諏訪湖になってほしいか」ということで書いてもらったところ、かなりの人たちが「泳げる諏訪湖」という意見でした。それぞれのご意見に先生からお話をさせていただく予定でしたが、時間が短すぎて不十分となり、先生やまた皆様には申しわけありませんでした。

第2部は、「クイズ」。英語と日本語のバイリンガルで全員が挑戦。3択問題の勝ち残り戦。毎回市民新聞社様からのご寄付のステキな賞品を目指して、楽しくかつ少し博学になれる(?)時間です。宮原先生や学生さんたちが「工夫」をしてくださり、プロジェクタースクリーンを見るだけでも楽しかったです。時間の都合上いくつかのクイズがお蔵入りしてしまいました。さらに面白いものを考えてくださっていたのにこれまたすみませんでした。

最後は「明日に向かう子供たちの歌声」で小口智子先生指揮の下諏訪町立下諏訪北小学校合唱部の皆さん。子供たちの歌声にはいつも本当に癒され、励まされます。ありがとうございました。最後にこのウォークのテーマソングとなっている諏訪湖浄化に夢を託して作られた『ブルー諏訪

湖』をみんなで歌う。

閉会后、5月の薫風の中、360度のすばらしい景色を眺めながら、湖上より今一度諏訪湖を観察して、無事帰諏訪。

「環境の学習」も、「楽しく国際交流」も、と欲張りなこの諏訪湖チャリティーウォーク、上記内容で第25回を無事終えたところで、四半世紀の歴史に幕を閉じることとなりました。諏訪湖ウォークのさきがけ、そして官民産学が一致協力して活動できたという極めて稀な行事です。「諏訪湖チャリティー・ウォーク」は終わりますが、その精神は将来にまで受け継がれていくことでしょう。環境問題への啓発に対し「今後も何らかの形でこうした取り組みを続けていきたい。」と諏訪湖チャリティー・ウォークの言いだしっぺで再度 JALT 信州の会長となった有賀メアリー（初代会長）も言っております。どのようなことが良いのか、またできるのか模索を始めています。是非皆様のお知恵もお貸しください。

例年大口寄付をしてくださる理事や参加者の皆様に感謝です。しかし、目に見える金品だけではなく、目に見えない形で協力をしてくださっている方もたくさんたくさんいらっしゃいます。昨年同様に今年も釜口水門管理棟会議室にてフォーラムが開催できたのもその一つです。諏訪建設事務所の関係者の皆様がたのご理解、また警備の北原 正義氏（諏訪湖クラブ会員、元諏訪建設事務所長）、八幡 義雄氏（諏訪湖クラブ理事、元諏訪建設事務所長）、ありがとうございます。お疲れさまでした。

皆さんそれぞれがそれぞれに「時間、労力、お金」を提供してくださってきました。25回に至るまで、直接に、間接に、本当に多くの様々な方々が援助、協力をしてくださりました。関係者すべてに対し、この場をお借りして、あらためて感謝申し上げます。

25年間本当にありがとうございました



会長メアリーさんのあいさつ



スタッフの紹介

緑の湖畔歩き

約100人が諏訪湖畔を歩いた第25回諏訪湖チャリティーウォーク

諏訪湖浄化「ウォーク」一区切り

諏訪湖浄化「ウォーク」一区切り

諏訪湖畔を歩きながら、湖の水質と人々の生活、水辺環境について考える諏訪湖チャリティーウォークが3日、開かれた。「泳げる諏訪湖」を目指し1990年に始まった同ウォークだが、諏訪湖の水質が良くなったこともあり、25回目の今回が最後。家族連れなど約100人が参加した。

諏訪市の石彫公園から岡谷市の釜口水門までの約8キロを、左回り右回りの2コースに分かれ歩いた。同行した信州大の教授や学生に諏訪湖の自然について質問する人もいた。早い人は約2時間で釜口水門に着いた。

チャリティーウォークは英語教師らでつくるNPO全国語学教育学会信州支部と、諏訪地方の環境保全団体「諏訪湖クラブ」の共催。同ウォークで集まった寄付はこれまで、諏訪湖の環境整備などに充ててきた。90年ごろの諏訪湖は、湖面に植物フランクtonのアオコが漂うなど水質が悪かったが、下水道の普及などで水質や透明度は年々改善の傾向にあり、25回目の節目で終えることにした。

NPO会長の有賀メアリーさん(57)は「ウォークは終わるものの、「有志で諏訪湖畔を歩く何らかの活動は残していきたい」と話していた。

↑信濃毎日新聞掲載記事

五月晴れの下 諏訪湖半周

25回目チャリティー・ウォーク

国際交流と環境問題への意識を高める春恒例のイベント「諏訪湖チャリティー・ウォーク」が3日、諏訪市の片倉ふれあいなぎさ野外音楽堂をスタート地点に行われた。NPO全国語学教育学会（JALIT）信州支部が主催し、諏訪湖クラブが共催。市民新聞グループ（7紙）などが後援。25回目の節目となったことは約1,200人が参加した。

午前8時半からの開会式に臨んだあと、参加者たちは岡谷市の釜口水門を目指し、岡谷市湊を歩くAコースと下諏訪町を回るBコースに分かれて出発。すがすがしい五月晴れの下、水辺の生き物たち目を留めながら諏訪湖を半周した。



沖野 外輝夫先生の講演

加者たちは岡谷市の釜口水門を目指し、岡谷市湊を歩くAコースと下諏訪町を回るBコースに分かれて出発。すがすがしい五月晴れの下、水辺の生き物たち目を留めながら諏訪湖を半周した。

諏訪湖クラブの沖野外輝夫会長（信州大学名誉教授）、同大山岳科学研究所でプランクトンを研究する花里孝幸教授、水質が専門の宮原裕一准教授と学生たちがガイド役を務め、各所で説明。参加者たちは身近な諏訪湖（町）の5年生4人グループは「諏訪湖も景色もきれい。いろんなものが発見できて楽しい」と話し、Aコースのトップを歩き続けた。



諏訪湖畔を思い思いのペースで歩く参加者たち

釜口水門ではフォーラムが開催され、沖野会長が「諏訪湖どうつきあう？自然の生態系って？」と題して講演。下諏訪北小学校合唱部によるコンサート「明日へむかう子どもたちの歌声」も行われ、参加者たちは諏訪湖保全のための募金にも協力した。

JALIT信州支部の有賀マアリーさんは開会式のあいさつで、「多くの方々の協力のおかげで25年間続けることができた。今回もこの区切りとし、今後は有志で続けていってほしい」と述べた。



下諏訪町立下諏訪北小学校合唱部
指揮：小口 智子教諭

↑ 諏訪市民新聞掲載記事



環境考え諏訪湖半周

JALIT 信州支部
県内外から120人参加

県内の語学の指導者で組織するNPO全国語学教育学会の第25回諏訪湖チャリティー

諏訪湖畔の野外音楽堂から元気づく出発する子どもたち

！・ウォークは3日、諏訪市の諏訪湖畔にある野外音楽堂を出発点に開いた。県内外から親子連れなど約1,200人が参加し、岡谷市の釜口水門を目指して湖周を半周歩いた。

毎年開き、諏訪湖の環境問題を考える機会にしている。出発点から岡谷市湊方面へ向かうコースと、下諏訪方面へ向かうコースを設けた。どちらも約8キロで、釜口水門がゴール。参加者は途中、信州大学教授や学生から諏訪湖の環境について解説を受けながら、

歩みを進めた。毎年参加しているという北原正義さん（66＝伊那市狐島）は「諏訪湖の水質浄化は25年前とは隔世の感がある。泳ぐことができない諏訪湖を目指して今後も清掃活動などを続けてほしい」と願っていた。

チャリティー・ウォークは今限りでいったん終了するが、同支部の有賀マアリー会長は「今後も何らかの形でこうした取り組みを続けていきたい」と話した。（樋口美世子）



釜口水門管理棟で行われたフォーラムの様子

長野日報新聞掲載記事→
平成26年5月4日
紙面より

元諏訪建設事務所長でこのイベントに協力を頂いた北原正義さん（伊那市）も参加して頂きました。

第17回 平成18年度 諏訪湖クイズ (QUIZ ON LAKE SUWA)

Q.1 フナはオスとメスの どちらが多いか?

Which are there more of, male or female crucian carp?

- 1、オス (male)
- 2、メス (female)

第17回(平成18年)

1

A.1 ②メス (female)

- ・実はフナは大部分がクローンで子孫を増やします。そのため、受精する必要が無いので卵が産めるメスがいればオスは必要ないのです・・・。

第17回(平成18年)

2

Q.2 環境破壊から湿原や湖を守る ために制定された国際条約は?

Which international treaty was made to protect the marshes and lakes from environmental destruction?

- 1、ラムサール条約 (Ramsar Convention)
- 2、ワシントン条約 (Washington Convention)
- 3、ウィーン条約 (Vienna Convention)
- 4、ジュネーブ条約 (Geneva Convention)

第17回(平成18年)

3

A.2 ①ラムサール条約
(Ramsar Convention)

- ・ラムサール条約は、水鳥にとって重要な生息地である湿地を乱開発から保護するために制定された国際条約です。条約に参加している国は湿地や湖を登録して利用と保全に対する計画をまとめて実施しています。最近、福井県の三方五湖などがこの条約に新たに登録されました。

第17回(平成18年)

4

Q.3 湖には敵が来ると頭がとがる生き物 がいます。どれでしょう?

There is a creature whose head becomes pointed when an enemy comes into the lake. Which is it?

- 1、メダカ(killifish)
- 2、ミドリムシ(euglena)
- 3、ソウリムシ(paramecium)
- 4、ミジンコ(daphnia)

第17回(平成18年)

5

A.3 ④ミジンコ
(daphnia)

- ・ミジンコは敵(ミジンコを食べる生き物)が来ると、食べられにくくするために自分の頭をとんがらせて敵の口に入らないようにしています。彼らも、生きていくために必死なんです・・・。

第17回(平成18年)

6

Q.4 氷の大陸、南極にも湖は あります。でも、凍っていません。 なぜでしょう?

Lakes exist even in Antarctica, which is called the continent of ice. But they are not frozen. Why?

- 1、氷床下約4,000mにあり、地熱で暖められているから。
(Because at approximately 4000m under the ice sheet, the lakes are warmed by geothermal heat)
- 2、温泉が湧き出て暖められるから。
(Because hot springs are flowing)
- 3、ペンギンがたくさん棲んでいるから。
(Because many penguins are living there)

第17回(平成18年)

7

A.4 ①氷床下約4,000mにあり、地熱で
暖められているから。

(Because at approximately 4000m under the ice sheet, the lakes are warmed by geothermal heat)

- ・ポストーク湖は南極大陸の水河湖です。平均水温-3度でありながら凍らないのはポストーク湖が氷床下4,000mの地下に存在し、地球内部の熱によって暖められているからと言う説が有力である。

第17回(平成18年)

8

第18回 平成19年度 諏訪湖クイズ (QUIZ ON LAKE SUWA)

Q.1 ミジンコの目は何個で
しょう？

How many eyes do
water fleas have?

1. 1個 (one)
2. 2個 (two)
3. 3個 (three)

第18回(平成19年)

1

A.1 ① 1個 (One)



第18回(平成19年)

2

Q.2 水をきれいにするのはつぎのうち
どの生物でしょう？

Which of the following creatures
can clean pond water?

1. 魚 (fish)
2. ミジンコ (water fleas)
3. 植物プランクトン
(phytoplankton)
4. ワムシ (rotifer)

第18回(平成19年)

3

A.2 ②. ミジンコ
(water fleas)

- ・ ミジンコは水を濁らす原因となる植物プランクトンを食べるから。
(Because water fleas eat phytoplankton which are the cause of water turbidity.)

第18回(平成19年)

4

Q.3 ビオトープとは○○○
という意味である。Bio-tope
means XXX.

1. 人工のため池 (An artificial pond.)
2. 生き物が住める場所
(A place where creatures can survive.)
3. 環境問題を考える場所
(A place where everyone learns about environmental problems.)

第18回(平成19年)

5

A.3 ② 生き物が住める場所
A place where creatures can
survive.

- ・ ギリシャ語で生命と場所を合成して出来た言葉。(A Greek word meaning life and creature.)

第18回(平成19年)

6

Q.4 去年、ワムシが一番増えたのは
何月でしょう？

In which month do you think
rotifers had a population peak
in the pond last year?

1. 7月 (July)
2. 8月 (August)
3. 9月 (September)

第18回(平成19年)

7

A.4 ① 7月 (July)

- ・ 競争相手のミジンコが減ったのでワムシが増えました。
(Because the number of water fleas decreased, the number of rotifers increased.)

第18回(平成19年)

第19回 平成20年度 諏訪湖クイズ (QUIZ ON LAKE SUWA)

Q. 1 諏訪湖の最大水深は?

- 1. 1m
- 2. 6m
- 3. 60m

第19回(平成20年)

1



答えは 2、6m です。

多少の水位変動はありますが、
最大水深は6mです。

第19回(平成20年)

2

Q. 2 諏訪湖一周は何Km?

- 1. 12km
- 2. 16km
- 3. 42.195km
- 4. 75.9km

第19回(平成20年)

3

答えは 2、16km

皆さんは、この半分の距離を歩いて、
ここまで来ました。

第19回(平成20年)

4

**Q. 3 昨年観測された諏訪湖の
最高水温は?**

- 1. 27.6℃
- 2. 40℃
- 3. 4℃
- 4. 100℃

第19回(平成20年)

5

答えは 1、27.6℃

最高水温は27.6℃でした。

第19回(平成20年)

6

**Q.4 諏訪湖はいつ
温度成層する?**

- 1. 春(Spring)
- 2. 夏(Summer)
- 3. 秋(autumn)

答えは 1、夏

夏に上層と下層の温度差が大きくな
り、成層します。

水面温度が高くなりません

第20回 平成21年度 諏訪湖クイズ (QUIZ ON LAKE SUWA)

Q1 今日植えた木の名前は？
(What's the name of the trees we planted today?)

1. 和リンゴ (Japanese apple)
2. サクラ (cherry)
3. ウメ (plum [Japanese apricot])



第20回(平成21年)

答えは・・・

1. 和リンゴ
(Japanese apple)

リンゴとヤマボウシを植えました。
どちらも実がおいしく食べられるよ。
(We planted Japanese apple and Japanese dogwood trees.)



第20回(平成21年)

Q.2 諏訪湖の湖心からみえる
標高3000m以上の山はいくつある？
(How many mountains over 3,000 m high can we see from the center of Lake Suwa?)

1. 3峰
2. 4峰
3. 10峰



第20回(平成21年)

答えは・・・

2. 4峰

湖から富士山も見えるよ。
(We can also see Mt. Fuji from the lake!)

穂高岳、槍ヶ岳、北岳



第20回(平成21年)

Q3. 魚が水中で生きていられる
酸素濃度は？
(At what oxygen level can fish survive in the water?)

1. 0.03mg/L
2. 0.3mg/L
3. 3mg/L



第20回(平成21年)

答えは・・・

3. 3mg/L

酸素が少ないと生きられないんだ。
(They can't live without enough oxygen.)



第20回(平成21年)

Q.4 ケンミジンコ(Copepoda)が食べやすい
生き物は？
(Which life form is easy for the Copepoda to eat?)

1. ソウミジンコ
(*Bosmina longirostris*)
2. ニセソウミジンコ
(*Bosmina fatalis*)
3. ノロ
(*Leptodora kindtii*)



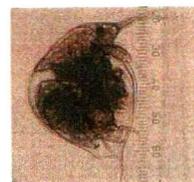
第20回(平成21年)

答えは・・・

2. ニセソウミジンコ

(*Bosmina fatalis*)

この写真の
プランクトンだよ。
(It's the plankton in
this photo.)



第20回(平成21年)

第21回 平成22年度 諏訪湖クイズ (QUIZ ON LAKE SUWA)

第1問 かつて、諏訪湖で大量発生していた「ウンカ」と呼ばれる生き物の正式名称は何でしょう？

What is the scientific name for what is commonly called the "unka", an insect which used to swarm around Lake Suwa?

- ① やぶか Yabuka
- ② ユスリカ Yusrিকা
- ③ アフリカ Africa



1

正解 THE ANSWER IS ---

- ② ユスリカ Yusrিকা

洗濯物についたりなど
迷惑なことが多いですが、
諏訪湖の水質浄化に一役買っている
生物でもあります。



2

第2問 諏訪湖に繁殖していない水草は次のうちどれか？

Which waterweed does **not** grow in Lake Suwa?

- ① アサザ Floating hearts
- ② ヒシ Water chestnuts
- ③ オオカナダモ Canadian pondweed



3

正解 THE ANSWER IS ---

- ③ オオカナダモ

Canadian Pondweed

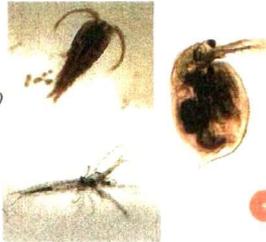
諏訪湖で最も見られる水草は ② ヒシ です。

4

第3問 諏訪湖にいる動物プランクトンの中で、最も大きなものは以下のうちどれ？

Which of these plankton which grow in Lake Suwa is the largest?

- ① ケンミジンコ Cyclops
- ② ミジンコ (ダフニア) Daphnia (water fleas)
- ③ ノロ Noro



5

正解 THE ANSWER IS ---

- ③ ノロ Noro

このような一つ目の生物で、
大きなものは1cm弱になります。



6

第4問

ワカサギは諏訪湖でなにを食べて
生きているのでしょうか？

What do the smelt in Lake Suwa live on?

- ① 動物プランクトン Zoo(animal)plankton
- ② 植物プランクトン Phyto(plant)plankton
- ③ ちくわ "Chikuwa"

7

正解 THE ANSWER IS ---

- ① 動物プランクトン Zooplankton

当然、ちくわではありません。
成魚になると、ユスリカの幼虫なども食べます。

第22回 平成23年度 諏訪湖クイズ (QUIZ ON LAKE SUWA)

第1問

◆ 諏訪湖水の緑色のヨゴレは何か？
What gives Lake Suwa its greenish color?

1. バクテリア bacteria
2. ヘドロ sludge
3. 植物プランクトン phyto (plant) plankton

第22回 (平成23年)

1

第2問

◆ 諏訪湖はワカサギ釣りの場所として有名ですが、そのワカサギは、元々諏訪湖にいた魚ではなく、昔、他の湖から移植されたものの子孫です。その湖とはどこでしょうか？ Lake Suwa is famous as a spot for *wakasagi* fishing, but the descendants of the *wakasagi* we see in Lake Suwa today were brought over from another lake. Which one?

1. 琵琶湖 Lake Biwa
2. 葦ヶ浦 Lake Kasumigaura
3. 野尻湖 Lake Nojiri

第22回 (平成23年)

2

第3問

◆ 次のうち、魚を食べる魚(魚食魚)はどれ？
Which of the following is a fish which eats fish?

1. コイ carp
2. ウナギ eel
3. ワカサギ *wakasagi* (lake smelt)

第22回 (平成23年)

3

第4問

◆ ウナギの驚くべき特徴で正しいものはどれでしょう？ Which amazing characteristic does the eel have?

1. 陸上でもしばらく平気でいられる。It has no trouble staying alive for a while on land.
2. 1年以上エサなしで過ごせる。It can live for over a year without food.
3. 10年以上生きると龍になる。If it survives over ten years, it turns into a dragon.

第22回 (平成23年)

4

第5問

◆ かつて戦国大名で、その墓が諏訪湖に沈められているという伝説が残っている人物はだれ？ Legend has it that which famous warlord's grave is buried in Lake Suwa?

1. 織田信長 Oda Nobunaga
2. 武田信玄 Takeda Shingen
3. 豊臣秀吉 Toyotomi Hideyoshi

第22回 (平成23年)

5

第6問

◆ 湖の定義は？ How is a lake defined?

1. 水深5 m以上あり、深い所に水草がみられないところ a place with water over 5 meters deep and no plants growing in its depths
2. 出来上がってから、200年以上経っているところ a place which, after completion, is over 200 years old
3. 漁業者の生産量が、年間500万円以上あるところ a place where fisheries yield over 5 million yen per year

第22回 (平成23年)

6

第7問

◆ 諏訪湖の成因は次のうちどれ？ What caused Lake Suwa to be formed?

1. 火山活動によるもの volcanic activity
2. 構造運動によるもの fault movement
3. 生物活動によるもの biological activity

第22回 (平成23年)

7

第8問

◆ 諏訪湖の集水域面積はどれくらいでしょう？ What is the surface catchment area of Lake Suwa?

1. 約26km²(諏訪湖の約2倍) roughly 26 square km (about twice that of the lake)
2. 約530km²(諏訪湖の約40倍) roughly 530 square km (about 40 times that of the lake)
3. 約1820km²(諏訪湖の約137倍) roughly 1,820 square km (about 137 times that of the lake)

第22回 (平成23年)

8

第23回 平成24年度 諏訪湖クイズ (QUIZ ON LAKE SUWA)

第1問 Question 1

次のうち諏訪湖にいる貝はどれ?
Which of the following **shellfish** live in Lake Suwa?

- ① ホタテ scallops
- ② イシガイ mussels
- ③ スワコガイ Suwako shellfish



第23回(平成24年)



正解 Answer

- ② イシガイ **Mussels**

ただし、食べても美味しくありません。
(美味しいという情報もあります)
However, they don't make for good eating.



第23回(平成24年)

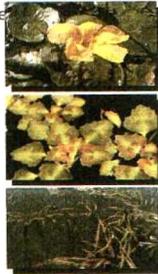
第2問 Question 2

この種は、諏訪湖に生えてるどの水草のもの
のでしょうか?

To which **aquatic plant** do these seeds



- ① アサザ
Floating heart
- ② ヒシ
Water chestnut
- ③ ササバモ
Sasabamo



第23回(平成24年)

正解 Answer

- ② ヒシ **Water Chestnut**

現在、諏訪湖で大量に繁殖しています。
ニンジャの使う「マキビシ」はこの種を乾燥させたもの。
Recently there has been a tremendous increase in the
number of water chestnuts growing in Lake Suwa.
The *makibishi* that ninja use are these seeds
which have been dried.



第23回(平成24年)

第3問 Question 3

昔々、ある人が宇宙から諏訪湖を見てこう
言いました。「あー、まるで○○のよう
だ。」さて、○○に当てはまるのは次の
うちどれ。

Someone once viewed Lake Suwa from outer space and said,
"Gee, it looks just like ____."
What did they say?

- ① 海 an ocean
- ② 草原 a grassland
- ③ 池 a pond



第23回(平成24年)

正解 Answer

- ② 草原 **A grassland**

空から見た諏訪湖は完全な緑色だったそうです。
昔は今よりもっとアオコが出ていました。
Lake Suwa looked completely green from up above
At that time there was a lot more algae.



第23回(平成24年)

第4問 Question 4

○イケチョウガイの赤ちゃんの大きさはどの
くらいでしょう?
○About how large is a baby

- ① 25 mm
- ② 2.5 mm
- ③ 0.25 mm



第23回(平成24年)

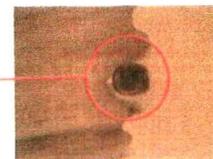
正解 Answer

- ③ 0.25 mm

メダカの尾びれ
Tailfin of a killifish



イケチョウガイの赤ちゃん
(グロキディウム幼生)
The glochidium
(has hooks so it can
attach to another fish)
larva of a mussel



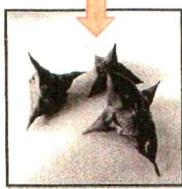
とっても小さいよ It's so tiny!
直径約 0.25 mm
0.25 mm in diameter

第23回(平成24年)

第25回 平成26年度 諏訪湖クイズ (QUIZ ON LAKE SUWA)

第1問.

この種は、諏訪湖に生えているどの水草のものでしょう？
Which species of waterweeds which grow in Lake Suwa is this?



①アサザ
Floating hearts



②ササバモ
Bamboo-leaved pondweed



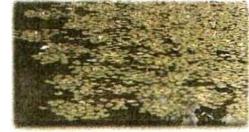
③ヒシ
Water chestnuts



第25回(平成26年)

第1問. 答え

③ヒシ Water chestnuts



諏訪湖で大量に繁殖しています。
忍者が使う撒菱(まきびし)は、
もともこの種を乾燥させたものでした。

These grow in abundance in Lake Suwa.
The "makibishi" which ninja throw were
originally dried water chestnuts.



第25回(平成26年)

第4問.

諏訪湖での漁獲高が、2番目のものは次のうち
どれでしょうか？

Which fish yield the second largest catch in Lake Suwa?

①ワカサギ Lake smelt

②エビ Shrimp

③コイ Carp



第25回(平成26年)

第4問. 答え

③コイ Carp

漁獲高ランキング Yield ranking (2006)

1位:ワカサギ(4.4トン) #1 Lake smelt (4.4 tons)

2位:コイ(3.9トン) #2 Carp (3.9 tons)

3位:フナ(2.7トン) #3 Funa Crucian carp (2.7 tons)

*平成18年度

第25回(平成26年)

第6問.

諏訪湖の御神渡りの判定は、ある神社の宮司さん
(神社の責任者)が行っています。

では、その神社とはどこでしょう？

The chief priest of a certain shrine decides whether
an *amiwatari* (path of gods over the frozen Lake
Suwa) has formed. Which shrine is it?

①千鹿頭(ちかとう)神社 Chikato Shrine

②秋葉(あきは)神社 Akiha Shrine

③八劔(やつるぎ)神社 Yatsurugi Shrine



第25回(平成26年)

第6問. 答え

③八劔(やつるぎ)神社 Yatsurugi Shrine

御神渡りの亀裂の入り方などから、その年の天候や、
農作物がどれだけ採れるか、などを占います。
去年は御神渡りが見られたけど、
今年は見られませんでした。

From the way the cracks form on the icy path,
they predict that year's weather and crop yield.
An *amiwatari* was formed last year, but not this.



第25回(平成26年)

第12問.

昔、諏訪を中心に信仰を集めた洩矢神(もりやしん)とい
う神様がいました。この神様が、諏訪の外から来た別の
神様、建御名方神(たけみなかたのかみ)と戦った時、
使ったとされる武器はどれでしょう？

Once upon a time, there was a god named *Moriyashin* who
attracted worshippers in this area. What did he use for a
weapon
when he fought *Takeminakatanokami*, a
outside Suwa?

①藤の枝 A wisteria branch

②翡翠(ひすい)の剣 A sword of jade

③鉄の輪 An iron ring



第25回(平成26年)

「諏方大明神圖詞」より

第12問. 答え

③鉄の輪 An iron ring

しかし、建御名方神(たけみなかたのかみ)が持つ
藤の枝によって鉄の輪がポロポロになってしまい、
洩矢神(もりやしん)は負けてしまったそうです。
それから、建御名方神(たけみなかたのかみ)が
諏訪の神様になったといひます。

However, the wisteria branch wielded by *Takeminakatanokami*
smashed the iron ring to smithereens, and *Moriyashin* lost.

第25回(平成26年)

第8問.

1908年、諏訪湖で日本初のスピードスケート大会が開催されました。この時、スケート靴の代わりとして、**“あるもの”**に金属製のブレード(刃)を組み合わせて氷の上を滑っていました。
この**“あるもの”**とは一体なんでしょう？

The first speed skating competition in Japan was held on Lake Suwa in 1908. In place of skates, metal blades were fit onto certain **“things”** in order to skate on the lake. What on earth were these **“thing”**?

- ①竹馬 bamboo stilts
- ②下駄 geta sandals
- ③登山靴 hiking boots



第25面(平成26年)

第10問.

諏訪の固有種でしたが、残念ながら20世紀に絶滅してしまったとされる生き物がいます。次のうちどれでしょうか？

This species indigenous to Lake Suwa unfortunately became extinct in the 20th Century. Which one is it?

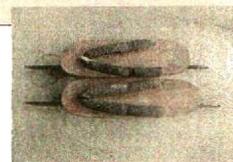
- ①スワアオガエル Suwa treefrog
- ②スワモロコ Suwa moroko
- ③スワイトンボ Suwa damselfly (dragonfly)



第25面(平成26年)

第8問.

②下駄 Geta



このスケート靴は「下駄スケート」と呼ばれ、下諏訪町で発明されました。現在のスケート靴が広まるまで、日本各地で使われていたそうです。These skates were called “geta skates” and were invented in Shimosuwa. They were used all over Japan until the present-day skates took over.

下諏訪町の諏訪湖博物館に実物が展示されています。Real ones are on display at the Lake Suwa Museum in Shimosuwa.

第25面(平成26年)

第10問. こたえ

②スワモロコ Suwa moroko



人の手によってホンモロコという魚が諏訪湖に移されるようになり、生存競争に負けてしまったと言われています。

A similar species called *honmoroko* was introduced to the lake by humans, and the *Suwa moroko* lost the battle for Survival.

ホンモロコ

第25面(平成26年)



平成19年クイズ大会の様子です
クイズは諏訪湖に関するもので宮原裕一先生からの出題です



クイズ大会に勝ち残った人には後援して頂いている市民新聞社から記念の楯が送られました

コースの案内 時間は第 24 回実施例



Aコース

時計周り

距離 8.1km

出発点→クリーンレイク諏訪→みなと→釜口水門

Bコース

時計逆周り

距離 7.9 km

出発点→下諏訪町→横河川→釜口水門

Aコース 時計回り

午前 8 時 47 分

A コース

宮原先生が水生植物の解説をして頂きました



午前 9 時 33 分

天然真珠をめざしせきちょう貝の養殖しているイケス



午前 9 時 35 分

コウホネの自生地新しい芽が水面から顔を出していました。

Bコース 時計逆回り

午前 9 時 53 分

B コース

沖野先生、花里先生に解説して頂きました。



午前 9 時 22 分

諏訪湖博物館、赤彦記念館付近です



午前 10 時 03 分
漁港の中に生息するアサザ。かなりの数のアサザが見られました。



午前 9 時 43 分
天候が良く、白衣の富士山が遠望できました。この箇所は関東の富士見百景に選ばれています。



午前 10 時 32 分
20 周年を記念して植樹したりんごがすくすく育っていました。



午前 10 時 04 分
毎年 10 月にここで行われる諏訪湖レガッタは全国から参加される大きな大会です。



午前 11 時 03 分
今年は 4 月 11 日 21 日の 2 回積雪の影響か？桜の花がまだ咲いています。



午前 10 時 10 分
下諏訪港の栈橋でプランクトンを採取し、花里先生から説明いただきました。



午前 10 時 42 分
平成 24 年 12 月に完成しました。横河川白鳥橋、諏訪湖マラソンのコースが変わります。



無事釜口水門に到着
午前 11 時 1(5)分～正午 釜口水門付近
で昼食



フォーラム 正午～
場所 釜口水門管理棟会議室
「歌とピアノのプレゼント」
宮坂千恵美さん&宮田紫央さん



午後 2 時 20 分岡谷棧橋にて乗船



帰りは白鳥丸で諏訪湖からの風景を満喫
です
午後 2 時 45 分上諏訪棧橋降船
ご苦労様でした (解散)

新緑の諏訪湖畔をウォーキング 20周年記念植樹をしました

全国語学教育学会JALIT信州支部と諏訪湖クラブなどが毎年開催している諏訪湖チャリティーウォークが5月3日に開催されました。地元諏訪や遠く松本市からの参加者を含め約110人が参加し、諏訪市湖畔公園から時計回りに岡谷市の釜口水門まで約8キロを信州大学の花里先生等の説明を受けた自然に癒されながら散策を楽しみました。今回は20周年を記念して、岡谷市と諏訪市境に赤い実のなる姫リンゴとヤマボウシを、参加者全員で植樹しました。これからの



信州大学花里先生のわかりやすい講義を聞き入る参加者

20周年記念植樹をしました



ウォーキング20周年を記念して、岡谷市と諏訪市の境にリンゴ2本とヤマボウシ2本を記念植樹しました。諏訪植木(株)の折井さんの協力をいただきました。ありがとうございました。

リンゴ



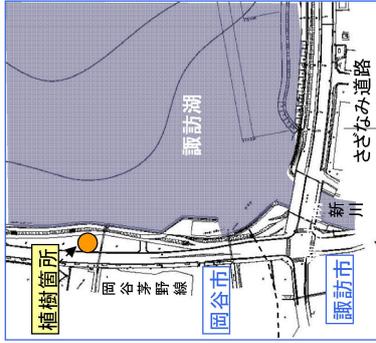
花は最初はピンクで満開時は白くなる。小さなリンゴは秋に熟し食べられるが酸っぱい。

やまぼうし



中央の花穂を坊主頭に、4枚の花びらを白い頭巾に見立て比叡山の「山法師」になぞらえた。秋には実がイチゴのように熟し食べられます。

植栽の位置図



参加者全員の記念写真

所長のあいさつの中でタンポポの不思議を紹介しました。タンポポの種子は、風により遠くに運ばれる風媒花(ふうばいか)です。花が咲く時は背が低いです。花が咲くと胞子が飛びやすくなるため、茎が伸びた長さ



西洋タンポポ

西洋タンポポのがくは反り返っているのが特徴です



日本タンポポ

花びら 内片 総苞外片

ほとんどが上向きで内片に密着する

ほとんどが上向きに反り返る。

第20回 諏訪湖チャリティーウォーク 諏訪市片倉ふれあいなぎさ〜釜口水門間の諏訪湖一周

市民新聞グループ 市民新聞グループ 市民新聞グループ

2020年開催 5月2日(土) 10:00〜12:00

コースの紹介



5月2日付けの市民新聞に、特集をして頂いたことにより多くの方が参加してくれました。



コースの紹介



帰りは、白鳥丸に乗って帰りました

諏訪湖チャリティー・ウォーク

岡谷市

岡谷市
市の花 つつじ
市の木 いちい

岡谷湖畔公園
岡谷市出身小口太
郎作った「琵琶湖就
航の歌」の歌碑があ
ります。

フォーラム会場

釜口水門管理棟
2代目(現釜口水門)が昭和
63年に完成しました。
ここから天竜川が始まりま
す。太平洋まで延長213k
mあります。



昔の釜口水門

最近のうれしいニュース

諏訪湖の水質
諏訪湖の浄化に対する地域の
皆様の努力で諏訪湖の水質が
改善傾向です。平成23年度は、
特に化学的酸素要求量：COD
が4.0と水質保全計画の目標
値4.6を大きくクリアしました。



ヤマボウシの実

記念植樹
20周年を記念し
て植樹をしました。果
ヤマボウシとリン
ゴ(原種)です。果
実がなる木です
ので今後楽しみ
です。

水辺整備
諏訪湖の周囲をすて
こめて水辺整備を進めて
います。平成24年度はこ
の区間を予定しています。

砥川
市街地を中心に河川改修工
事が進められています。諏訪
湖漁業組合が河口の砂地を
活かして、潮干狩りが出来る
ようジミミの放流をおこなっ
ています。

横河川
横河川河口のハクチョウたち
白鳥の飛来地として有名です。
現在新橋の工事を実施して
います。平成24年度完成予
定

諏訪湖
標高は759m、面積は13.3km²、周
囲は15.9km、平均水深約4mです。
広さは信州一ですが全国ではクッ
チャヤロ湖の次の23番目です。

諏訪湖アダプト
諏訪湖周16キロメートルを32
区間に分け、各団体が美化活
動に取り組んでいます。

洪のエゴ湖内残存地
水生植物の密集地
エゴは入江を意味してい
ます。

武井田川水門
平成22年度に水位が上がり
逆流が発生したときに閉
められます。

富士山がきれいに見えます
関東富士山100景に選ばれまし
た。遠く離れたこの地から見られる
のはフオッサマグナ断層帯が続い
ているためです。

下諏訪町
町の花 つつじ
町の木 桜

承知川

湖底に眠る菅根遺跡
明治末期に大量の土器
片石器類が発見されまし
た。諏訪湖のしゅんせつも
このエリアは避けました。

消波堤
躯体には発砲スチロール
が使用され浮いています。



諏訪湖ふれあい渚
平成8年7月20日海の日
に「日本の渚百選」に選ばれ
ました。

ジョギングロード
足に優しい舗装がされて
います。平成3年度に国
土交通省「郷土づくり
賞」を頂きました。

宮川
複層ボーダー植栽
咲く時期が遅う花を植え
つても花が見られるよう工
夫した花壇です。

ピオトープ
自然を再生した池をつくり
ました。魚やプランクトン
など多くの生物が住んで
います。

クリーンレイク諏訪
下水道終末処理場です、平
成21年に焼却炉の灰の中
から金を回収し話題となりま
した。屋上を利用した太陽
光発電も具体化してきてま
した。

諏訪市
市花 アヤマ、ニッコウ
キスゲ
市の木 きばだ、かりん

コースB

諏訪湖博物館
赤彦記念館も併設されています。県指
定文化財まるた舟や諏訪湖独特の漁
具などが展示されています。

ヒシが多く見られる区域
6月頃に1cmくらいの白い
花を咲かせます。



ヒシの花

出発点



石彫公園
昭和53年の「国際彫刻シンポ
ジウム」に参加された世界7カ
国の彫刻家の作品が展示され
ています。羊のプロロン像は下
諏訪町出身の大和作内さんの
作品です

上川
諏訪湖に流入する一級河川
(県管理)は15ありますが一
番長いのが上川です。遠く
ハケ岳から流れてきます

諏訪市

平成24年5月3日
行事予定

開会式(8:30)

出発(9:00)

A.コース 8.1km

B.コース

時計回り 7.9km

岡谷湖畔公園
周辺で昼食

フォーラム(12:00)

釜口水門管理棟2階

解散(13:30)

遊覧船乗船(14:10)

降船(14:30)



距離標
諏訪湖のまわりに
設置されています。め
ざす箇所までの距離
がわかります。

諏訪湖チャリティー・ウォーク

下諏訪町

諏訪市

諏訪湖博物館(すわこほくぶつかん)赤彦記念館(あかひこまねかん)も併設(へいせつ)されています。県指定文化財(けんじしていぶんかざい)もあるた舟(ふね)や諏訪湖独特(とくどく)の漁具(りょうぐ)などが展示(てんじ)されています。

富士山(ふじさん)が見(み)えます。関東(かんとう)富士見(ふじみ)100景(けい)に選(えら)ばれました。とおく離(はな)れたこの地(ち)からみられるのはフオツサマグナ断崖帯(だんそんそうたい)が続(つづ)いています。

碓氷川(すがわ)を中心(ちゆうしん)に河川改修(かせんかいしゆ)工(こう)事にうじがすすめられています。諏訪湖漁業組合(ぎょぎょうみあい)が河口(かこう)の砂地(すなち)をいかして、しおひがりができるようシジミの放流(ほうりゆう)をおこなっています。

横河川(よかわ)河口(かこう)のハクチョウ(白鳥)の飛来地(ひらいち)としてゆうめいです。現在(げんざい)あたらしい橋(はし)の工(こう)事(じ)をいしています。2012年(ねん)度(ど)の歌(うた)の歌(うた)碑(い)がひがひ

岡谷市(おかや)市の花(はな)つじ市の木(き)いちい

岡谷湖畔公園(おかやこほんこうえん)岡谷市出身(おかやしゆしん)小太(こた)郎(らう)おぐちろう作(つく)った「琵琶湖(びわこ)湖(こ)歌(うた)の歌(うた)碑(い)がひがひ

富士山(ふじさん)が見(み)えます。関東(かんとう)富士見(ふじみ)100景(けい)に選(えら)ばれました。とおく離(はな)れたこの地(ち)からみられるのはフオツサマグナ断崖帯(だんそんそうたい)が続(つづ)いています。

碓氷川(すがわ)を中心(ちゆうしん)に河川改修(かせんかいしゆ)工(こう)事にうじがすすめられています。諏訪湖漁業組合(ぎょぎょうみあい)が河口(かこう)の砂地(すなち)をいかして、しおひがりができるようシジミの放流(ほうりゆう)をおこなっています。

富士山(ふじさん)が見(み)えます。関東(かんとう)富士見(ふじみ)100景(けい)に選(えら)ばれました。とおく離(はな)れたこの地(ち)からみられるのはフオツサマグナ断崖帯(だんそんそうたい)が続(つづ)いています。

下諏訪町(しもすわまち)町の花(はな)つじ市の木(き)さくら

2012年(ねん)5月(げつ)3日(にち)のよてい
かいがい式(しき)(8:30)
しゅっぱつ(9:00)
Aコース
とけい回り
8.1km
Bコース
とけいざやく(7.9km)
おかやこはん(12:00)
釜口(かまぐち)水門(すいもん)かんり棟(たて)2階(かい)
かいさん(13:30)
ゆうらんせん(14:10)
しゅっぱつ(14:30)

コースB

ヒシが多(おほ)くみられる区域(くいき)6月(ご)ころに1cm(くら)いの白(しろ)い花(はな)を咲(さ)かせます。



ヒシの花

出発点



石彫公園(せきぢゆうこうえん)1978年(ねん)の「国際彫刻(こくさいこく)展(てん)」に「シシボジウム」に参加(さんか)した(ちようこ)の作品(さくひん)が展(てん)示(し)されています。羊(ひつじ)の作(さく)品の大(おほ)き(さくひん)です。

諏訪湖(すわこほ)ふれあい渚(なぎさ)1996年(ねん)7月(げつ)20日(にち)に「日本の渚(なぎさ)百選(ひゃくせん)」に選(えら)ばれました。

湖底(こてい)に眠(ねむ)る昔(むかし)の遺跡(いせき)明治(めいじ)未(み)開(かい)の土器(どき)片(かけら)石(いし)器(き)類(るい)の発見(はっけん)が、諏訪湖(すわこほ)のしゆんせつもこのエリア(エリア)は選(えら)ばれました。

諏訪湖(すわこほ)ふれあい渚(なぎさ)1996年(ねん)7月(げつ)20日(にち)に「日本の渚(なぎさ)百選(ひゃくせん)」に選(えら)ばれました。

ジョギングロード足(あし)に優(やさ)しい舗(ほ)装(そう)がされています。1991年(ねん)度(ど)に国土交通省(こくどこうつうしやう)「狭(さ)い道(みち)の手(て)づ(り)賞(しょう)」を頂(た)きました。

上川(かみかわ)諏訪湖(すわこほ)に入(い)る一級(いつきゅう)河(か)川(せん)は15あり、選(えら)ばれた(ちようこ)の作品(さくひん)が展(てん)示(し)されています。羊(ひつじ)の作(さく)品の大(おほ)き(さくひん)です。

諏訪市

諏訪市(すわ)市の花(はな)アヤマ、ニッコウキスゲ市の木(き)さばだ、かりん

クリーンレイク諏訪(すわ)下水道(げすいどう)終末処理場(しゆまつしりじやう)です。2009年(ねん)に焼(や)から金(かね)を回(まわ)る(か)い(かい)し(し)話(わ)き(き)と(と)な(な)り(り)ま(ま)した(した)。屋上(おくじやう)を利(り)用(よう)し(し)た(した)太(たい)陽(やう)光(こう)発(はつ)電(でん)機(き)は(は)な(な)し(し)も(も)あ(あ)り(り)ま(ま)す(す)。

ピオトープ自然(しぜん)に再(さい)生(せい)さ(さ)せ(せ)い(い)し(し)た(た)池(い)け(け)を(を)つ(つ)く(く)り(り)ま(ま)した(した)。魚(いさな)が(が)な(な)る(る)木(き)です(す)。な(な)ど(ど)多(た)く(く)の(の)生(せい)物(ぶつ)が(が)あ(あ)り(り)ま(ま)す(す)。

武井田川(たけいだがわ)2010年(ねん)度(ど)に完(かん)成(せい)し(し)た(た)水(すい)門(もん)です。諏訪湖(すわこほ)の水位(すいゐ)が(が)あ(あ)り(り)逆(さか)り(り)流(りゅう)れ(れ)ま(ま)す(す)。

記念植樹(きねんしゆく)20周年(しゆしゅう)を記念(きねん)して(して)植(う)え(え)ま(ま)した(した)。ヤマボウシ(ヤマボウシ)の果(か)実(じ)は(は)な(な)る(る)木(き)です(す)。



ヤマボウシの実

復層(ふくそう)ボーダー植栽(しよくさい)が(が)あ(あ)り(り)ま(ま)す(す)。う(う)え(え)い(い)も(も)花(はな)が(が)あ(あ)り(り)ま(ま)す(す)。

武井田川(たけいだがわ)2010年(ねん)度(ど)に完(かん)成(せい)し(し)た(た)水(すい)門(もん)です。諏訪湖(すわこほ)の水位(すいゐ)が(が)あ(あ)り(り)逆(さか)り(り)流(りゅう)れ(れ)ま(ま)す(す)。

水辺整備(みずべせい)工(こう)事(じ)を(を)進(すす)め(め)て(て)い(い)ま(ま)す(す)。2012年(ねん)度(ど)の(の)区(く)画(が)を(を)予(よ)定(てい)し(し)て(て)い(い)ま(ま)す(す)。

コースA

諏訪湖(すわこほ)の水(すい)質(しつ)の浄化(じやうか)工(こう)事(じ)に(に)対(たい)し(し)て(て)地(ち)域(いき)の(のみ)努(ゆ)力(りき)が(が)あ(あ)り(り)ま(ま)す(す)。2010年(ねん)度(ど)は(は)、特(とく)に(に)化(か)学(がく)的(てき)酸(さん)素(そ)求(もと)め(め)ら(ら)れ(れ)ま(ま)す(す)。



釜口水門

釜口水門管理棟(かまぐちもんかんりどう)2代目(にだい)に(に)たい(たい)め(め)て(て)現(げん)在(ざい)釜(かま)口(ぐち)水(すい)門(もん)が(が)完(かん)成(せい)し(し)ま(ま)した(した)。太(たい)平(へい)洋(やう)が(が)始(はじ)ま(ま)り(り)ま(ま)す(す)。

諏訪湖アダプト諏訪湖(すわこほ)周(しゅう)辺(へん)16キ(き)ロ(ろ)メ(メ)ートル(トル)を(を)32区(く)画(が)に(に)分(わ)け(け)、各(かく)団(だん)体(たい)が(が)美(み)化(か)活(かつ)動(どう)に(に)取(と)り(り)組(ぐ)み(み)ま(ま)す(す)。

赤(しほ)い(い)の(の)エゴ(エゴ)水(すい)生(せい)植(ち)物(ぶつ)が(が)あ(あ)り(り)ま(ま)す(す)。

諏訪湖(すわこほ)の水(すい)質(しつ)の浄化(じやうか)工(こう)事(じ)に(に)対(たい)し(し)て(て)地(ち)域(いき)の(のみ)努(ゆ)力(りき)が(が)あ(あ)り(り)ま(ま)す(す)。



16kmコースの距離

諏訪湖に関するできごと

西暦	平成	回	神渡り	できごと
1990	2	1		<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖 間欠泉センターオープン。 ・建設省（現国土交通省）から「多自然型川づくり実施要領」が出された
1991	3	2	○	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回「日独環境まちづくりセミナー」開催 ・諏訪湖ジョギングロードが国土交通省「郷土手作り賞」を受賞
1992	4	3		<ul style="list-style-type: none"> ・御柱祭り ・諏訪湖では平成4年までに新釜口水門、及び湖岸堤がほぼ完成し、その貯水能力は飛躍的に向上 ・第2期諏訪湖水質保全計画（平成4年度～平成8年度）
1993	5	4		<ul style="list-style-type: none"> ・第3回「日独環境まちづくりセミナー」開催 ・第2期諏訪湖に係る湖沼水質保全計画（H4～H8）を策定 ・「諏訪湖エコロジーフェスティバル」を開催 ・河川再生事業として高浜、渋崎の人工なぎさ完成
1994	6	5		<ul style="list-style-type: none"> ・釜口水門噴水オープン ・諏訪環境まちづくり懇談会主催で、湖周バス運行開始 ・「水辺整備のマスタープラン」を策定 ・湖沼特定事業場に係る窒素、リンの汚濁負荷量規制基準を設定 ・諏訪湖水域に係る上乘せ排水基準を策定（窒素、リン）
1995	7	6		<ul style="list-style-type: none"> ・「諏訪湖の水辺整備のマスタープラン」を基本に河川再生事業を本格着手 ・下水道高度処理開始平成
1996	8	7		<ul style="list-style-type: none"> ・国、県、市町村で諏訪湖及び天竜川上流部水環境懇談会を設立 ・第1回「マリンスポーツカーニバルin諏訪湖」開催 ・諏訪湖ふれあい渚が「日本の渚百選」に選ばれた
1997	9	8		<ul style="list-style-type: none"> ・第3期諏訪湖水質保全計画（平成9年度～平成13年度）
1998	10	9	○	<ul style="list-style-type: none"> ・御柱祭り 長野冬季オリンピック ・下水道溶融結晶化施設竣工
1999	11	10		<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖の巨大うなぎ～すわ湖太郎を探せ！！～平成11年4月3日～6月30日
2000	12	11		<ul style="list-style-type: none"> ・「よみがえれ諏訪湖」を合言葉に「諏訪湖で泳ごう」イベントを開催→平成17年度まで
2001	13	12		<ul style="list-style-type: none"> ・第4回「日独環境まちづくりセミナー」・第1回「湖沼浄化シンポジウム in 諏訪」開催
2002	14	13		<ul style="list-style-type: none"> ・ブラックバス駆除 33万尾 ・第11回「国際河川湖沼環境シンポジウム」・第2回「湖沼浄化シンポジウム in 諏訪」開催 ・諏訪湖アダプトプログラムが始まる ・第4期諏訪湖水質保全計画（平成14年度～平成18年度） ・第1回 諏訪圏工業メッセ2002開催
2003	15	14	○	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖の浚渫は15年度以降中止
2004	16	15	○	<ul style="list-style-type: none"> ・御柱祭り ・下水道処理場全処理水について高度処理対応となった
2005	17	16		<ul style="list-style-type: none"> ・文化イベント「諏訪の長い夜」開催
2006	18	17	○	<ul style="list-style-type: none"> ・7月19日諏訪湖周辺で土砂災害や浸水被害 諏訪湖周辺では約558ヘクタールが浸水して、2,541棟が床上、床下浸水、JR中央本線や国道20号が約37時間にわたって全面通行止めとなった
2007	19	18		<ul style="list-style-type: none"> ・第5期諏訪湖水質保全計画（平成19年度～平成23年度） ・諏訪湖クラブ発足
2008	20	19	○	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖水陸両用バス試運転 ・諏訪湖浄化等推進協議会発足 八幡諏訪建設事務所会長
2009	21	20		<ul style="list-style-type: none"> ・溶融結晶化炉飛灰より金の回収20kg 売却益4千万円 国土交通省大臣表彰受ける ・下水道供用開始30周年記念式典 ・諏訪湖一周・・・道標16基が設置される
2010	22	21		<ul style="list-style-type: none"> ・御柱祭り ・中央道諏訪湖サービスエリアが昨年「恋人の聖地」に選定 ・諏訪湖漁業協同組合は、諏訪湖でとれた鮒を米の発酵を利用して鮓にし、販売することにした ・「自然の浄化力を活用した新たな水質改善手法」 国土交通省作成 ・武井田川、鴨池川河口に水門完成
2011	23	22		<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖周まちじゅう芸術祭 諏訪湖周に点在する16の美術館・博物館を軸に。 ・諏訪湖水質CODが4.0と目標値4.6を下まわる
2012	24	23	○	<ul style="list-style-type: none"> ・第6期諏訪湖水質保全計画（平成24年度～平成28年度） ・昭和3年（1928）に建てられた諏訪市の片倉館がこのほど重要文化財へ答申された ・冬季期間、諏訪湖ではキレイなイルミネーションが設置 ・諏訪湖環境改善行動会議が発足 ・横河川白鳥橋 L=35.6m W=5.5m 竣工；平成24年12月
2013	25	24	○	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナル フレーム切手「諏訪湖の花火」の販売開始 ・諏訪湖のひし刈り取り船による除去作業を始める ・クリーンレイク諏訪の太陽光発電開始 1,000kw/h
2014	26	25		<ul style="list-style-type: none"> ・元気な地域へ情報発信「すわまちクラブ」胎動

諏訪湖浄化に夢を託して作られた『ブルー諏訪湖』

諏訪湖チャリティーウォークのテーマソングとしている。

作詞：MMM（故藤原 正男、故飯田 実、矢島 恵の三人の名前の頭文字）

曲誕生の経緯：もともと故藤原氏が聞き覚えていたメロディを五味昭人先生が譜面におこした。

藤原氏はハワイアン調でお願いしたいということであった。

ブルー諏訪湖

詞MMM・曲不詳

前奏

1 そよぐかぜに ゆれ ーる やなぎのみずべを
3 やまにかかると ゆうひを はーこぶさざなみ

ふたりであるころ フルスカイ すわこははるのひ
ベンチでかたろう クリンパーク

2 そらにながれる しろい くも うつつあおいみず
4 きたのそらから はくちようが くればゆきはれる

1.
きしまでおいこら シャイニングウエイ(フス) すわこはなつの
みんなで一いこら スワンレイク

間奏

2.
すわこはふゆのひ

「ブルー諏訪湖」

一、そよぐ風にゆれる ヤナギの水辺を
ふたりで 歩こう ブルースカイ
諏訪湖は 春の日

二、空に流れる 白い雲 うつつ 青い水
岸まで泳ごう シャイニングウエイ
諏訪湖は 夏の日

間奏

三、山にかかる夕日を 運ぶ さざ波
ベンチで語ろう クリンパーク
諏訪湖は 秋の日

四、北の空から白鳥が来れば 雪晴れる
みんなで 行こう スワンレイク
諏訪湖は 冬の日



A Memoir of Suwako Charity Walk (あと書きにかえて)

JALT (ジャルト) とは Japan Association for Language Teaching 〈全国語学教育学会〉の頭文字。その信州支部による諏訪湖チャリティーウォーク〈以下チャリティーウォークと略称〉の初開催は1990年5月27日、晴天の下、皆元気よく走ったり歩いたりして湖を一周した。第2回目からは諏訪まちづくり懇談会との共催となり、町懇銀輪部隊も加わった。25回も続くとは思えなかったが、当初はJALT本部からの反対があった。レイチェル・カーソン(Rachel Carson)の“沈黙の春”(Silent Spring)が世に出て25年程は経っていたが。

11回目の年アメリカでの同時多発テロ(2000年)発生、次第に釜口水門でのフォーラムが難しくなった。このチャリティーウォークを継続すべきかどうかの話も出たが“Charity begins at home.”(慈善は足許より)の精神で乗り切った。フォーラムでの講演は小さな参加者にも分かりやすく、ためにもなった。コンサートや合唱団の演奏も楽しく、家族的な雰囲気でも盛り上がった。

25年の間には、長野冬季オリンピック(1998年)、東日本大震災(2011年)もあった。振り返ればあっという間だったが、ミジンコでなくとも湖の内外で大きな変化のあったことがわかる。湖岸は変わったが、どうも水の中が熱い。

このチャリティーウォークは地元自治体、小・中・高校、長野県諏訪建設事務所、信州大学山岳科学総合研究所(旧諏訪臨湖実験所)、諏訪湖クラブ及びマスコミ関係者らの理解・協力を頂いての継続であった。本冊子は八幡義雄氏(現諏訪湖クラブ理事、元諏訪建設事務所長)の資料収集、編集によるもの。みなさん、ありがとう。

僭越ではあるが、湖中周辺生物の総意として菱の花(本冊子 75,76,82,83 ページ参照)を故花里孝幸氏(信州大学理学部教授)に捧げる。

2024年5月3日

Sincerely, 小林 茂 (JALT)



窪田 治平氏 (諏訪市) 撮影

長い間ありがとうございました



新緑の街路樹の影が芸術的に写りました

「諏訪湖チャリティー・ウォーク記念誌」
(非売品)

発行 令和6年6月

JALT 全国語学教育学会諏訪支部

諏訪湖クラブ

編集 八幡 義雄